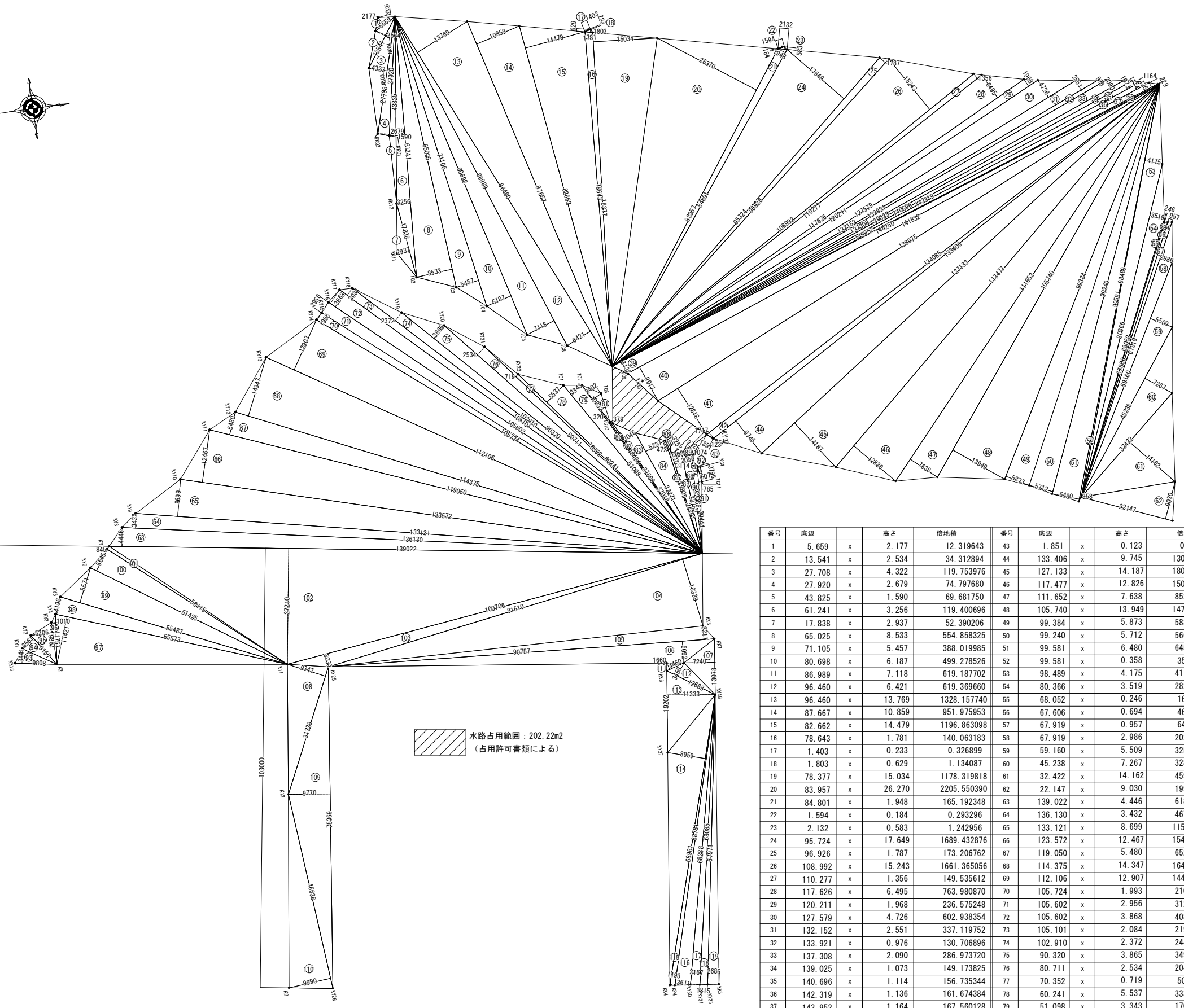
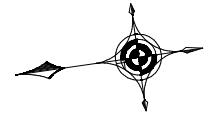


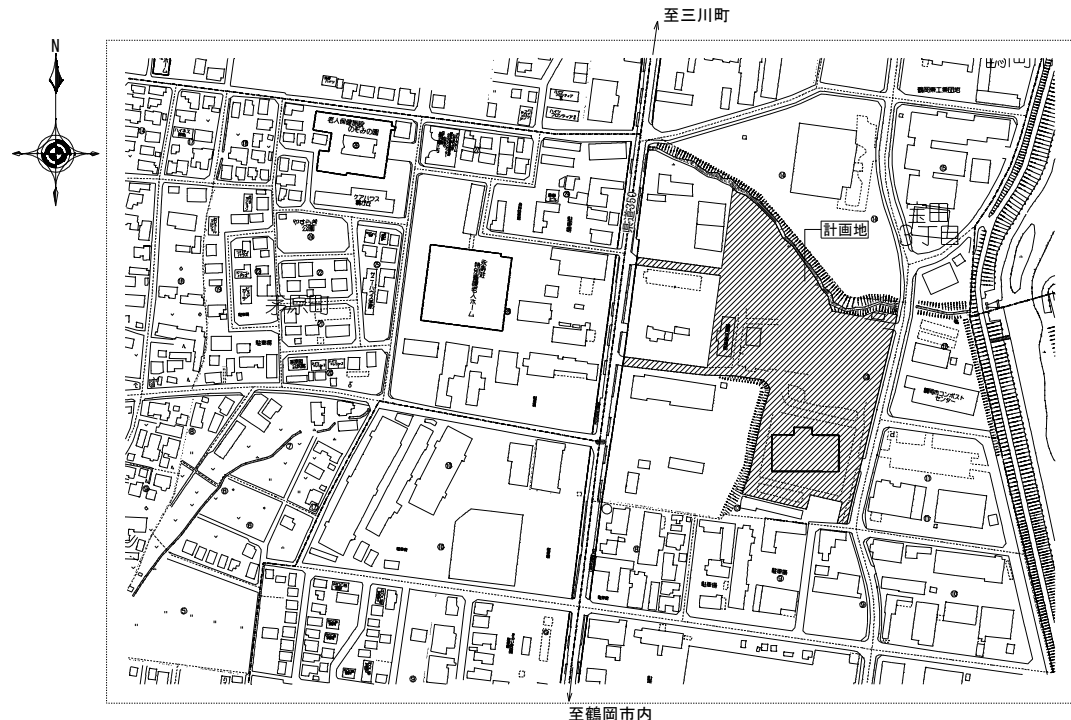
鶴岡市ごみ焼却施設外構整備工事

図 面 リ ス ト											
図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
G-001	図面リスト	No. scale	G-010	外構詳細図3	1/10 (A1) 1/20 (A3)	G-019	雨水排水管渠・側溝縦断面図4 (既設参考図)	横1/100 縦1/20 (A1) 横1/200 縦1/40 (A3)	G-028	24条工事 (現況図)	各図による
G-002	特記仕様書 I	No. scale	G-011	外構詳細図4	各図による	G-020	雨水排水施設詳細図	各図による	G-029	24条工事	各図による
G-003	特記仕様書 II	No. scale	G-012	外構詳細図5 (資源回収小屋詳細図)	各図による	G-021	植栽計画図 (現況図)	1/400 (A1) 1/800 (A3)	G-030	仮設計画図1	1/300 (A1) 1/600 (A3)
G-004	敷地求積図	1/500 (A1) 1/1000 (A3)	G-013	雨水排水計画図 (現況図1)	1/300 (A1) 1/600 (A3)	G-022	植栽計画図	1/300 (A1) 1/600 (A3)	G-031	仮設計画図2	1/300 (A1) 1/600 (A3)
G-005	配置図・案内図	1/500 (A1) 1/1000 (A3)	G-014	雨水排水計画図 (現況図2)	1/300 (A1) 1/600 (A3)	G-023	外構サイン計画図 (現況図)	1/400 (A1) 1/800 (A3)	G-032	案内標識配置図	1/400 (A1) 1/800 (A3)
G-006	外構計画図 (現況図・撤去図)	1/300 (A1) 1/600 (A3)	G-015	雨水排水計画図	1/300 (A1) 1/600 (A3)	G-024	外構サイン計画図	1/400 (A1) 1/800 (A3)	G-033	案内標識詳細図1	1/10 (A1) 1/20 (A3)
G-007	外構計画図	1/300 (A1) 1/600 (A3)	G-016	雨水排水管渠・側溝縦断面図1	横1/100 縦1/20 (A1) 横1/200 縦1/40 (A3)	G-025	外構サイン詳細図1	各図による	G-034	案内標識詳細図2	1/20 (A1) 1/40 (A3)
G-008	外構詳細図1	1/50 (A1) 1/100 (A3)	G-017	雨水排水管渠・側溝縦断面図2	横1/100 縦1/20 (A1) 横1/200 縦1/40 (A3)	G-026	外構サイン詳細図2	各図による	G-035	案内標識詳細図3	1/20 (A1) 1/40 (A3)
G-009	外構詳細図2	1/50 (A1) 1/100 (A3)	G-018	雨水排水管渠・側溝縦断面図3 (既設参考図)	横1/100 縦1/20 (A1) 横1/200 縦1/40 (A3)	G-027	外構サイン詳細図3 (施設看板詳細図)	各図による			

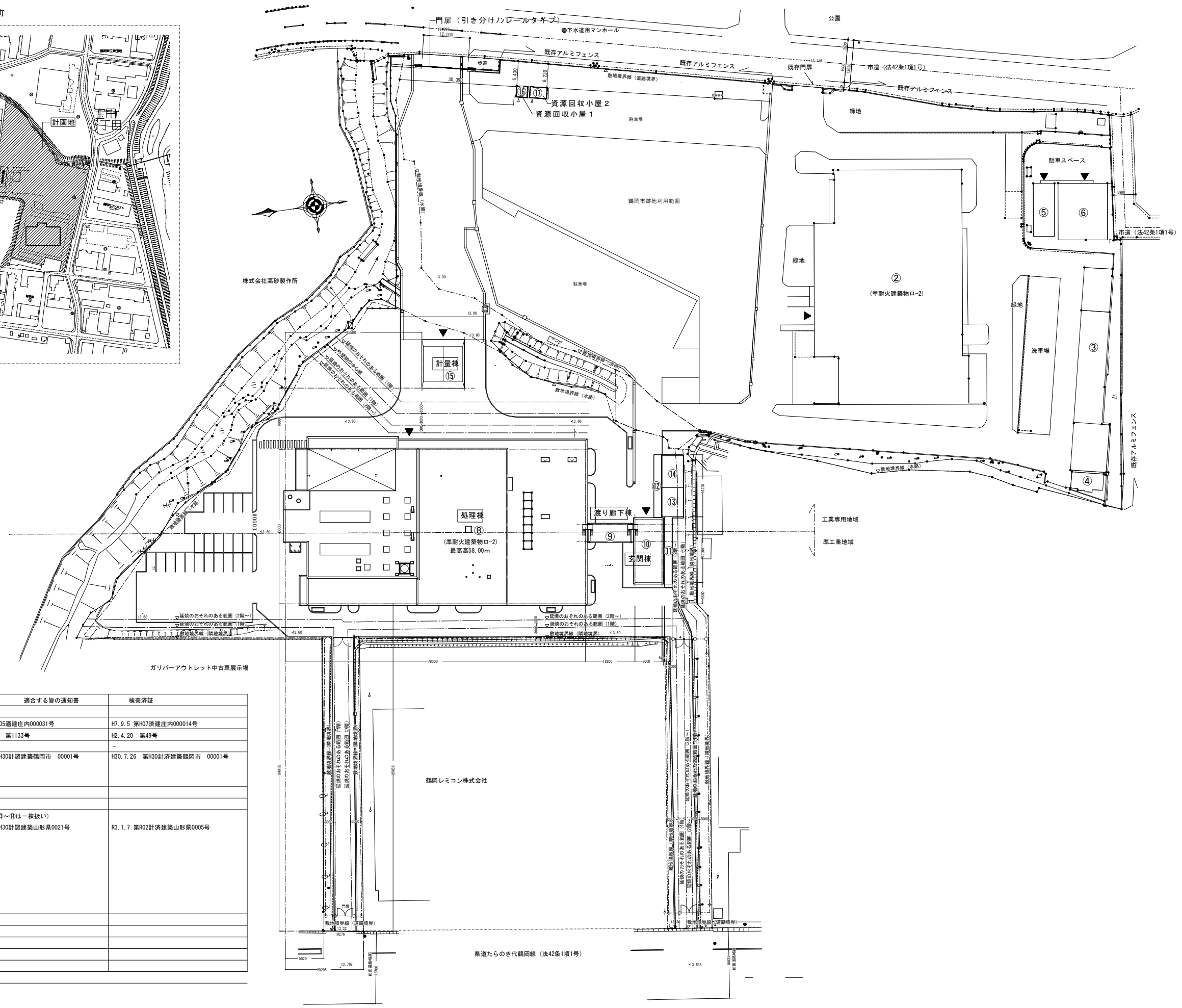
6 コンクリート工事	1 コンクリートの強度	普通コンクリートの設計基準強度 (6.2.2) (表6.2.1) 設計基準強度F _c (N/mm ²) 適用箇所 ○Z1 工作物基礎、看板基礎、集水渠 -18 軽量コンクリートの設計基準強度等 (6.2.2) (表6.2.1) 設計基準強度F _c (N/mm ²) 気乾単位容積質量 (t/m ³) 種別 適用箇所 -21 -2 種別 適用箇所 -1種 -2種 -1種 -2種
	2 レディーミクストコンクリートの類別	類別 ※I類 -II類 (6.2.2) (表6.2.1)
	3 スランプ	スランプ (6.2.4) (表6.2.3) スランプ (cm) 適用箇所 ○18 ○15 工作物基礎、看板基礎、集水渠
	4 コンクリートの仕上り	部材の位置及び断面寸法の許容差 (6.2.5) (表6.2.4) ※標仕表6.2.5による (適用箇所:) 合せ板を用いるコンクリートの打直し仕上り (6.2.5) (表6.2.4) 種別 適用箇所 ○A種 ○B種 門E ○C種
	5 セメント	仕上りの平坦さ (6.2.5) (表6.2.4) (6.6.6) ※標仕表6.2.4による (適用箇所:) セメントの種類 (6.3.1) (表6.3.1) 種類 適用箇所 ※普通ポルトランドセメント 又は混合セメントのA種 高炉セメントB種 [G] フライアッシュセメントB種 [G] 普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210に示された規定のほか、水和熱が7日目で352 J/g以下、かつ、28日目で402 J/g以下のものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。
	6 骨材	細骨材はJIS A 5308の付属書A (規定)の規定 [レディーミクストコンクリート用骨材]の規定による。 細骨材及び混合細骨材 (6.3.1(1)) ・フェロニッケルスラグ細骨材 [G] 使用部位 () ・鋼スラグ細骨材 [G] 使用部位 () ・電気炉酸化スラグ細骨材 [G] 使用部位 () 砂利及び砂のアルカリシリカ反応性による区分 ※A・B (6.3.1(2)) 砕石及び砕砂のアルカリシリカ反応性による区分 ※A・B (6.3.1(2))
	7 混和材料	種類 ※混和剤 -混和材 (6.3.1(4)) 混和材料の使用量 ※標仕6.4.8(a)、(b)、(c)による (6.3.1(4))
	8 無筋コンクリート	設計基準強度等 (6.14.1~3) 種類 設計基準強度 (N/mm ²) スランプ (cm) 粗骨材の最大寸法 (mm) 適用箇所 ※普通コンクリート ※18 ○15 ○8 ※25 捨てコンクリート コンクリート舗装 勾配コンクリート -軽量コンクリート - -20
	9 コンクリート躯体表面の処理	外装タイルあと張り面の躯体表面の処理 MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上り面凹凸状態とする。 (6.9.3.4) 目荒し工法 (高圧水洗)を行う場合は、水圧50N/mm ² 以上、かつ、2.5分/m ² 以上とし、施工計画書を監督に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。 (15.2.4) コンクリートの増打ち厚さ ※20mm ※施工範囲は図示による。
	10 コンクリートの調査	コンクリート調査管理強度は、設計基準強度とする。 (構造体強度補正は行わない。)
7 鉄骨工事	1 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.3) ※建築基準法第77条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(社)全国鉄構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める()グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ○監督職員の承諾する工場
	2 入熱、バス間温度の溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※鉄骨溶接基準図による 適用箇所 ※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部 -図示 ()
	3 施工管理技術者	※適用する -適用しない (7.1.3.4)
	4 鋼材	鋼材の材質等 (7.2.1) (表7.2.1) (7.2.4) 種類の記号 適用箇所 規格等 SS400 鋼板 ※JISによる - SS400 鋼線 ※JISによる - STK400 ※JISによる - STKR400 柱 ※JISによる -
	5 高力ボルト	ボルトの区分 (7.2.2) ※トルシア形高力ボルト -JIS形高力ボルト ボルトの締結距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) (別2-1.1~1.3) ※(別2-1.1~1.3)による - すべり係数試験 (7.4.2) ※行わない -行う (試験方法等:)
	6 溶融亜鉛めっき高力ボルト	ボルトの締結距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.2) (7.3.2) (別2-1.1~1.3) ※(別2-1.1~1.3)による - 摩擦面の処理 (7.12.4) ※プラスト処理 (表面粗度50μmRz以上) -りん酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 ※すべり耐力試験方法等 -図示
	7 普通ボルト	ボルトの締結距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.3) (7.3.2) (別2-1.1~1.3) ※(別2-1.1~1.3)による -
	8 鉄骨工作仮組	-行う -行わない (7.3.10)
	9 溶接接合	開先の形状 ※鉄骨溶接基準図による (7.6.4) (別2-3.1~3.4) 鋼製エンドタブの切除する部分 ※図示 (7.6.7) スカラップの形状 ※鉄骨溶接基準図による (7.6.7)
	10 溶接部の試験	超音波探傷試験 ※行う -行わない (7.6.11) (表7.6.2~4) 工場溶接の場合 ADOL (%) ※4.0 -2.5 検査水準 ※第6水準 - 工事現場溶接の場合 ADOL (%) ※4.0 -2.5 放射線透過試験 ※行わない -行う (7.6.11) マクロ試験 (エンドタブ使用) ※行わない -行う (7.6.11)
11 スタッド	呼び名等 (6.3.1(4)) (取付きスタッド JIS B 1198) 呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所 -16 -19 -22	
12 錆止め塗装	耐火被覆材の接着する面の塗装 (7.8.3) -行う (※JIS K 5622 -) ※行わない ○防錆塗装 溶融亜鉛メッキ処理 HDZ45	
13 耐火被覆	耐火被覆の種類等 (7.9.2~7) 種別 種別 所要性能及び適用箇所 ・耐火材 乾式吹付けロックウール 1時間耐火 (外壁) 吹付け 半乾式吹付けロックウール 湿式吹付けロックウール ・耐火板張り ・耐火材巻付け ・ラテ張りモルタル塗り 耐火被覆面への錆止め塗装 -行わない -行う (適用箇所:)	
14 アンカーボルトの保持及び埋込み工法	種別 (7.10.3) (表7.10.1) 構造用アンカーボルト (※図示 -) 建方用アンカーボルト (・A種 ※B種 ・C種)	
15 柱底均しモルタルの工法	種別 ※A種 -B種 (7.10.3) (表7.10.2) 無収縮モルタルの材料及び調合 (7.2.9) 混和材 セメント系 (酸化カルシウム、カルシウムサルファルミネート等)によって膨張する性質を利用するものとする。 セメント JIS R 5210 (ポルトランドセメント)による普通又は早強ポルトランドセメントとする。 砂 (社)土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 配合比 (各重量比) (セメント+混和材) : 砂=1:1 無収縮モルタルの品質及び試験方法 (表7.2.6) コンスタンシー Jローによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 8±2秒 ブリーディング 練混ぜ2時間後のブリーディング率 2.0%以下 凝結時間 凝結開始時間 1時間以上 終結時間 10時間以内 無収縮性 材齢7日 収縮しないこと 圧縮強度 材齢3日 25.0 N/mm ² 以上 材齢28日 45.0 N/mm ² 以上 付着強度 材齢28日 3.0 N/mm ² 以上 塩化物質 0.30kg/m ² 以下 試験方法 (1)日本道路公団規格 JIS 312-1999 (無収縮モルタル品質管理試験方法)による。 (2)塩化物質は、JIS A 5308 (レディーミクストコンクリート)の9.6塩化物質含有量の試験方法による。	
8 排水工事	1 排水管	排水管用材料 (21.2.1) (表21.2.1) (21.3.3) 材種 管の種類 管形状 (接合方法) ※遠心力鉄筋コンクリート管 ※外圧管 (※1種 -2種) ・B形 (ゴム接合) - ○環状強化ビニル管 ※VP ○WU ・RS-WU [G] ・RF-VP [G]
	2 鋼鉄製ふた	車道部の排水管の敷設 (21.3.1) (21.3.3) ※図示 ・砂基礎 (地業厚さ20cm以上 材料 山砂の類)
	3 グレーチング	(21.2.2) 種類 適用荷重 (安全荷重 (kN)) 鍵 ・水封形 ・T-2用 (5) ・あり ・簡易密閉形 (パッキン式) ・T-6用 (15) ・なし ・密閉形 (テーパ・パッキン式) ・T-20用 (50) ・中ふた付き密閉形 (テーパ・パッキン式) ・
	4 埋戻し土	(21.2.2) 種類 形式 用途 適用荷重 メインバー ビッチ 上面形状 ○鋼製 ※受付付き ・溝ふた (横断用) ・歩行用 ※細目 ※凹凸形 ・ステンレス製 ・溝ふた (側溝用) ・T-2用 ※普通目 ※平形 ボルト固定 ※樹ふた用 ・T-6用 ○細目 ・凹凸形 ※なし ○かさ上げ用 ・T-14用 ・固定 ・U字溝用 ○T-25用
	5 コンクリートL型側溝	L型側溝250B標準型 (21.2.2) 種類 ※B種 (21.2.3) (表3.2.1)
	9 舗装工事	1 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
	10 コンクリート舗装	単強セメント ※使用しない -使用する (22.5.3) 注入目地材料 ※低弾性タイプ -高弾性タイプ -なし (22.5.3) 溶接金網 ※あり -なし (22.5.3.4) 厚さ試験 ※行わない -行う (22.5.6)
	11 透水性アスファルト舗装	アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない -行う (22.6.6) (22.4.6)
	12 排水性アスファルト舗装	アスファルト混合物 (22.7.3) (表22.7.2) 改質アスファルトI型 ※改質アスファルトII型 タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 ※PKR-T (22.7.3) (表22.7.3) アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない -行う (22.7.6)
	13 ブロック舗装	・コンクリート平板舗装 (JIS A 5371による) (22.9.2.3) 種類 寸法 (mm) 厚さ (mm) 目地材 ※普通平板 (N) ※300角 ※60 ※砂 ・透水平板 (P) ・モルタル ・インターロッキングブロック舗装 (JIS A 5371による) (22.9.2.3) 種類 厚さ (mm) 色及び表面加工等 ※普通ブロック (N) 車道部 ※80 ・ ※標準品 ・透水性ブロック (P) 歩道部 ※60 ・ ・誘導、注意喚起用ブロック 誘導、注意喚起用は黄色系とする ・養生用ブロック (V) ※80 ・100 ・舗石舗装 (22.9.2.3) 種類 厚さ (mm) 施工方法 基層 ※小舗石 (花こう岩) ※80~100 ・ ※うろこ張り ※コンクリート舗装 ・ ※コンクリート舗装 ※アスファルト舗装



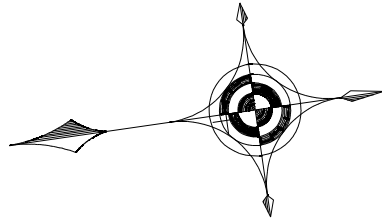
番号	底辺	高さ	倍地積	番号	底辺	高さ	倍地積	番号	底辺	高さ	倍地積	
1	5.659	x	2.177	12.319643	43	1.851	x	0.123	85	27.809	x	0.472
2	13.541	x	2.534	34.312894	44	133.406	x	9.745	86	3.257	x	0.588
3	27.708	x	4.322	119.753976	45	127.133	x	14.187	87	24.591	x	2.308
4	27.920	x	2.679	74.797680	46	117.477	x	12.826	88	23.752	x	2.053
5	43.825	x	1.590	69.681750	47	111.652	x	7.638	89	2.725	x	1.074
6	61.241	x	3.256	119.400696	48	105.740	x	13.949	90	22.056	x	1.143
7	17.838	x	2.937	52.390206	49	99.384	x	5.873	91	20.444	x	0.785
8	65.025	x	8.533	554.858325	50	99.240	x	5.712	92	3.796	x	0.607
9	71.105	x	5.457	388.019985	51	99.581	x	6.480	合計			42493.978103
10	80.698	x	6.187	499.278526	52	99.581	x	0.358	x0.5			21247.715945
11	86.989	x	7.118	619.187702	53	98.489	x	4.175	面積 (工業専用地域) (ア)			21247.71
12	96.460	x	6.421	619.369660	54	80.366	x	3.519	93	9.808	x	3.441
13	96.460	x	13.769	1328.157740	55	68.052	x	0.246	94	16.740792	x	3.561
14	87.667	x	10.859	951.975953	56	67.606	x	0.694	95	9.862	x	5.206
15	82.662	x	14.479	1196.863098	57	67.919	x	0.957	96	11.757	x	1.010
16	78.643	x	1.781	140.063183	58	67.919	x	2.986	97	55.573	x	11.421
17	1.403	x	0.233	0.326899	59	59.160	x	5.509	98	55.573	x	4.196
18	1.803	x	0.629	1.134087	60	45.238	x	7.267	99	55.487	x	8.571
19	78.377	x	15.034	1178.319818	61	32.422	x	14.162	100	51.425	x	5.645
20	83.957	x	26.270	2205.550390	62	22.147	x	9.030	101	50.115	x	0.845
21	84.801	x	1.948	165.192348	63	139.022	x	4.446	102	139.022	x	27.210
22	1.594	x	0.184	0.293296	64	136.130	x	3.432	103	100.706	x	3.030
23	2.132	x	0.583	1.242956	65	133.121	x	8.699	104	91.610	x	16.339
24	95.724	x	17.649	1689.432876	66	123.572	x	12.467	105	90.757	x	3.217
25	96.926	x	1.787	173.206762	67	119.050	x	5.480	106	90.757	x	5.092
26	108.992	x	15.243	1661.365056	68	114.375	x	14.347	107	13.078	x	7.240
27	110.277	x	1.356	149.535612	69	112.106	x	12.907	108	31.328	x	9.347
28	117.626	x	6.495	763.980870	70	105.724	x	1.993	109	75.369	x	9.770
29	120.211	x	1.968	236.575248	71	105.602	x	2.956	110	46.638	x	9.990
30	127.579	x	4.726	602.938354	72	105.602	x	3.868	111	4.460	x	1.660
31	132.152	x	2.551	337.119752	73	105.101	x	2.084	112	12.683	x	3.458
32	133.921	x	0.976	130.706896	74	102.910	x	2.372	113	19.202	x	11.333
33	137.308	x	2.090	286.973720	75	90.320	x	3.865	114	68.961	x	8.959
34	139.025	x	1.073	149.173825	76	80.711	x	2.534	115	68.961	x	1.193
35	140.696	x	1.114	156.735344	77	70.352	x	0.719	116	68.781	x	3.611
36	142.319	x	1.136	161.674384	78	60.241	x	5.537	117	68.288	x	2.167
37	143.952	x	1.164	167.560128	79	51.098	x	3.343	118	68.085	x	1.815
38	144.250	x	0.229	33.033250	80	48.434	x	0.320	119	67.971	x	2.686
39	144.250	x	3.132	451.791000	81	10.832	x	2.402	合計			11405.759674
40	141.832	x	9.017	1278.899144	82	37.608	x	0.379	x0.5			5702.879887
41	138.975	x	12.818	1781.381550	83	37.018	x	3.046	面積 (準工業地域) (イ)			5702.87
42	134.085	x	1.717	230.223945	84	32.271	x	5.227	敷地面積 (ア+イ)			26950.58



至三川町
至鶴岡市内
案内図

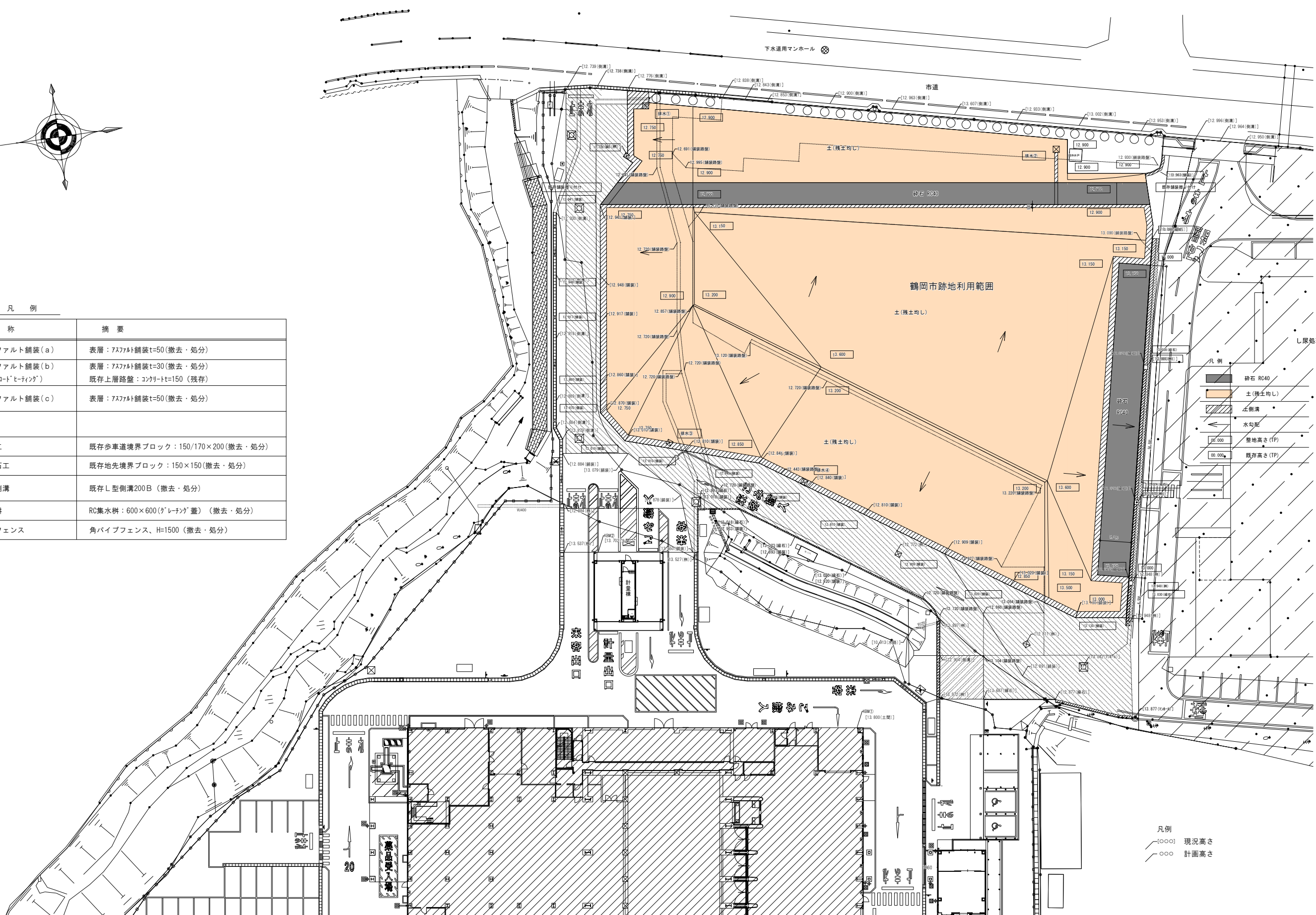


番号	用途	構造	階数	建築面積 m ²	延床面積 m ²	適合する旨の通知書	検査済証
②	し原処理施設	RC造	2F、B1F	2194.78	3944.86	H5.12.1 第H05適建庄内000031号	H7.9.5 第H07済建庄内000014号
③	車庫棟	S造	1F	391.50	391.50	H2.2.22 庄 第1133号	H2.4.20 第49号
④	作業場	W造	1F	35.64	35.64	-	-
⑤	仮設ごみ収集袋引渡棟A	プレファブ造	1F	75.96	75.96	H30.5.8 第H30計認建築鶴岡市 00001号	H30.7.26 第H30計済建築鶴岡市 00001号
⑥	仮設ごみ収集袋引渡棟B	プレファブ造	1F	188.50	188.50		
計1				2886.38	4636.46		
⑧	処理棟	S造 一部RC造、SRC造	5F、B2F	3296.01	7477.68	(⑧~⑪)、⑬~⑭は一棟扱い)	
⑨	渡り廊下棟	S造	3F	57.91	57.91	H31.1.21 第H30計認建築山形県0021号	R3.1.7 第R02計済建築山形県0005号
⑩	玄関棟	S造	3F	128.00	291.10		
⑪	駐車場渡り廊下1	アルミ造	1F	36.97	0.00		
⑫	駐車場渡り廊下2	S造	1F	17.34	0.00		
⑬	駐車場上層1	アルミ造	1F	44.90	44.90		
⑭	駐車場上層2	アルミ造	1F	47.10	47.10		
⑮	計量棟	S造	1F	137.50	137.50		
計2				3765.73	8056.19		
⑯	資源回収小屋1	鋼製物置	1F	8.49	8.49		
⑰	資源回収小屋2	カラーガルバリウム鋼板	1F	12.90	12.90		
計3				21.39	21.39		
合計	計1+計2+計3			6673.50	12,714.04		



凡例

記号	名称	摘要
	アスファルト舗装(a)	表層:アスファルト舗装t=50(撤去・処分)
	アスファルト舗装(b)	表層:アスファルト舗装t=30(撤去・処分) 既存上層路盤:コンクリートt=150(残存)
	アスファルト舗装(c)	表層:アスファルト舗装t=50(撤去・処分)
	縁石工	既存歩車道境界ブロック:150/170×200(撤去・処分)
	境界石工	既存地先境界ブロック:150×150(撤去・処分)
	L型側溝	既存L型側溝200B(撤去・処分)
	集水桝	RC集水桝:600×600(ケレング蓋)(撤去・処分)
	格子フェンス	角パイプフェンス、H=1500(撤去・処分)

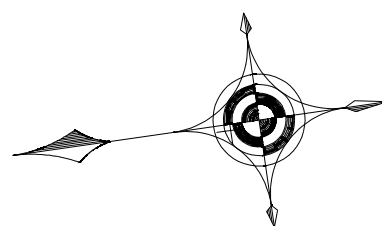


し尿処理施設

凡例	説明
	砂石 RC40
	土(残土均し)
	土側溝
	水勾配
	整地高さ(TP)
	既存高さ(TP)

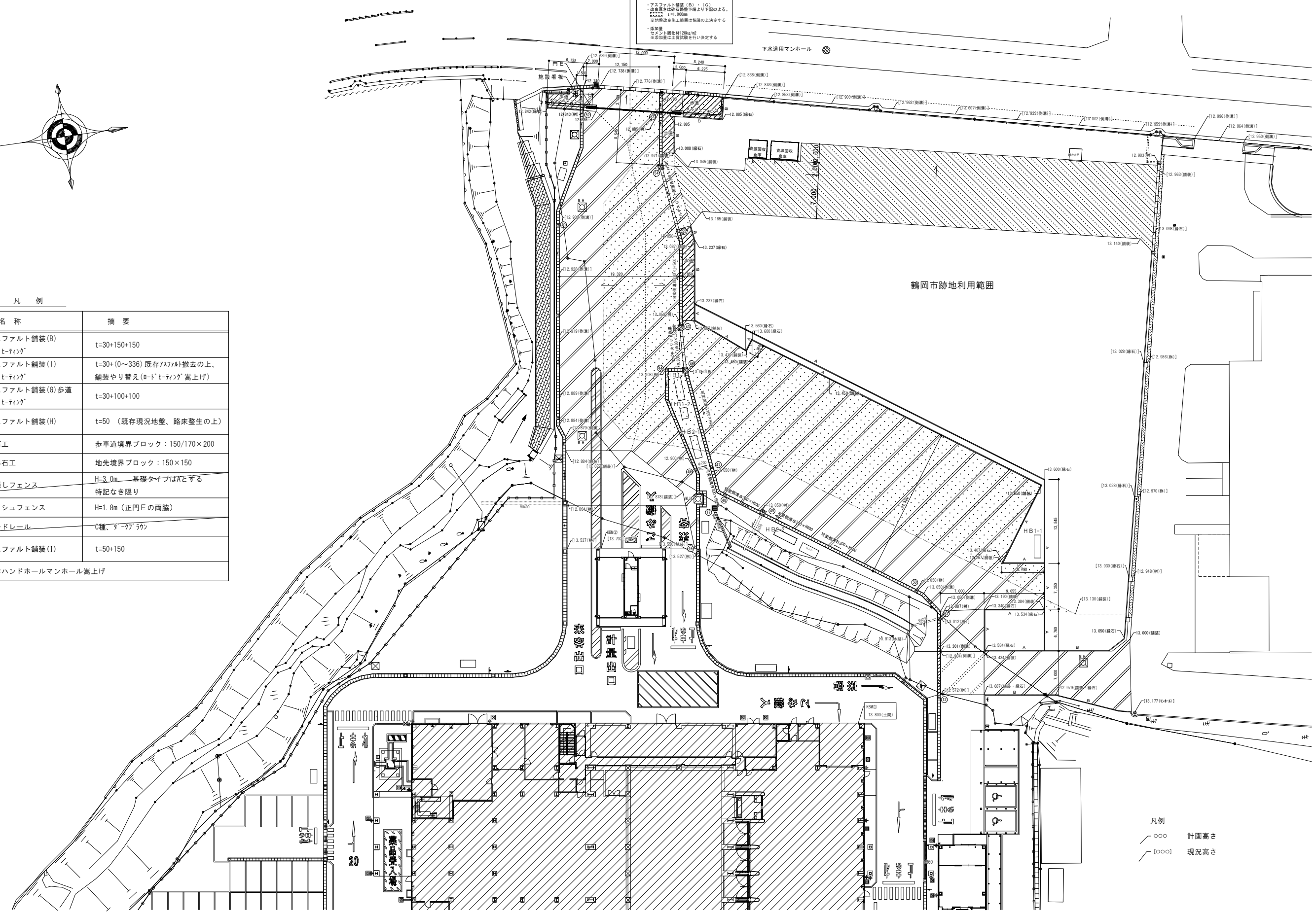
凡例

	現況高さ
	計画高さ



特記なき限り下記による。
 1. 基礎埋設位置については下記による。
 ・アスファルト舗装 (B)・(G)
 ・改良層は砕石路盤下層より下記による。
 ※土質改良層は協議の上決定する
 ・追加層
 ・セメント固化材12%添加
 ※追加層は土質試験を行い決定する

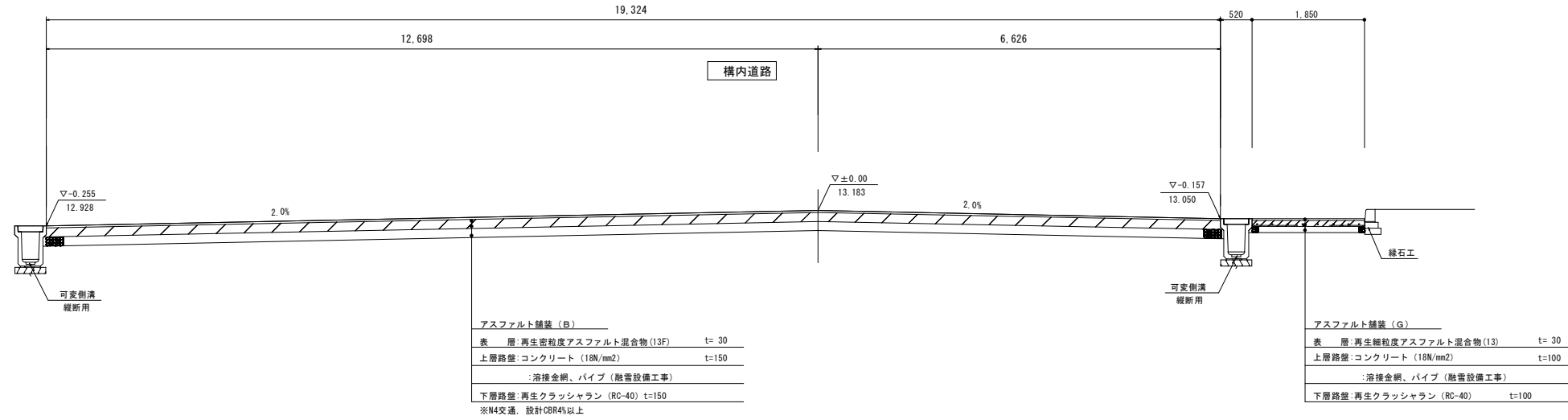
凡例		
記号	名称	摘要
	アスファルト舗装 (B) ロードヒーティング	t=30+150+150
	アスファルト舗装 (I) ロードヒーティング	t=30+(0~336) 既存737mm撤去の上、 舗装やり替え(ロードヒーティング)嵩上げ
	アスファルト舗装 (G) 歩道 ロードヒーティング	t=30+100+100
	アスファルト舗装 (H)	t=50 (既存現況地盤、路床養生の上)
	縁石工	歩車道境界ブロック：150/170×200
	境界石工	地先境界ブロック：150×150
	目隠しフェンス	H=3.0m 基礎タイプはAとする 特記なき限り
	メッシュフェンス	H=1.8m (正門Eの両脇)
	ガードレール	C種、タープタイプ
	アスファルト舗装 (I)	t=50+150
	既存ハンドホールマンホール嵩上げ	



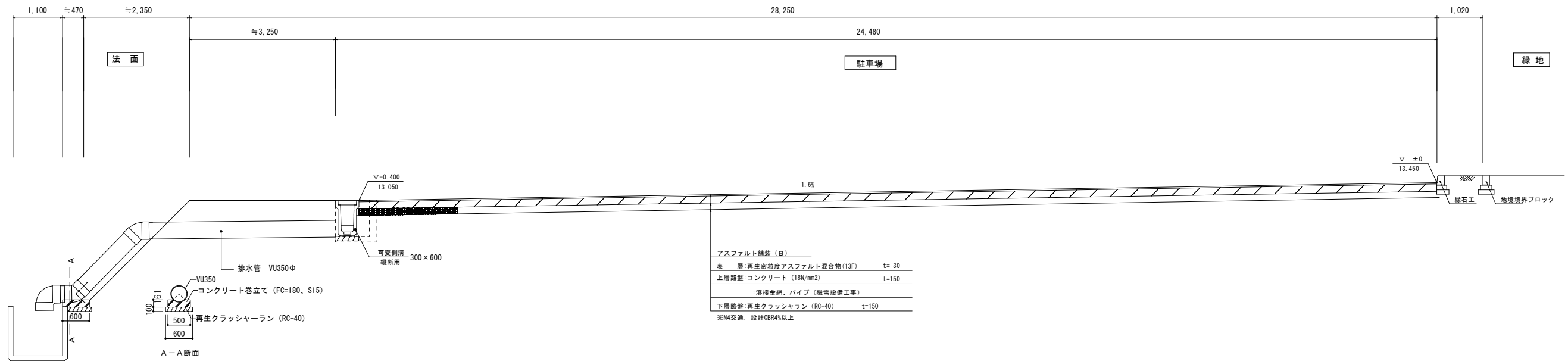
凡例
 ○○○ 計画高さ
 [○○○] 現況高さ

道路標準断面図

a - a

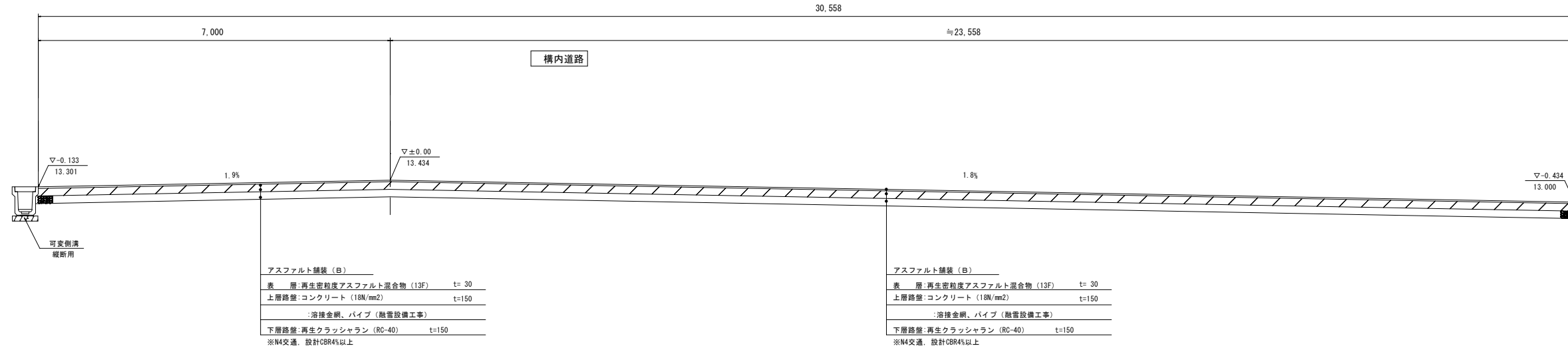


b - b

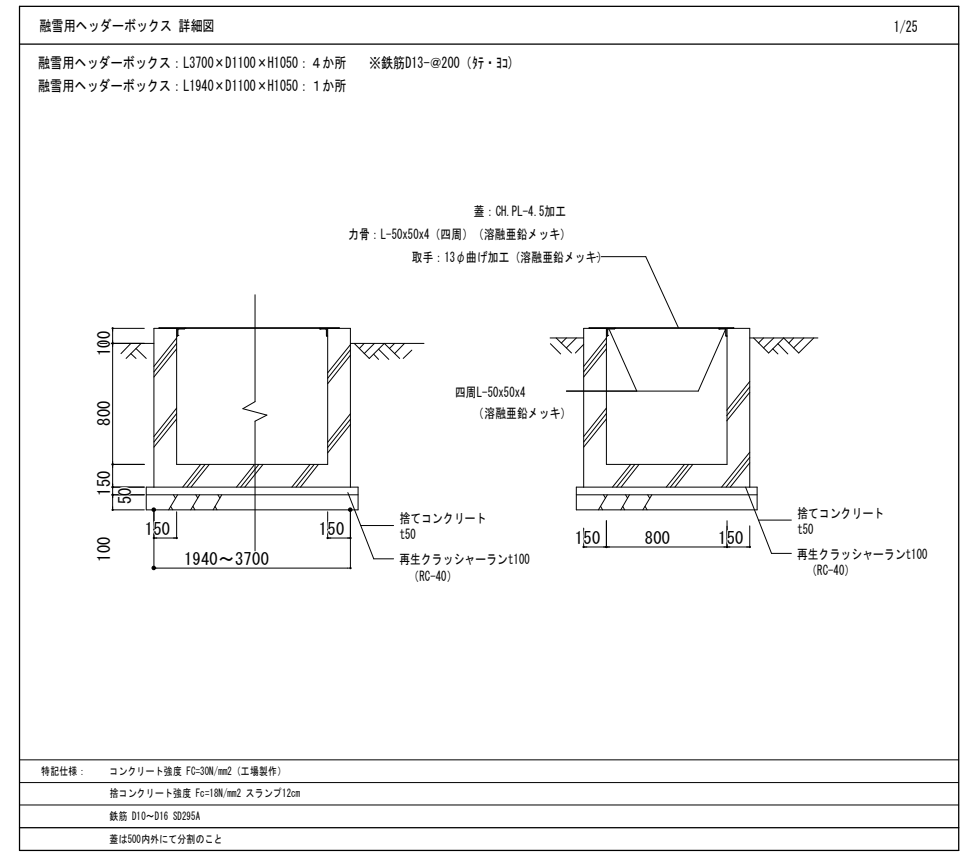
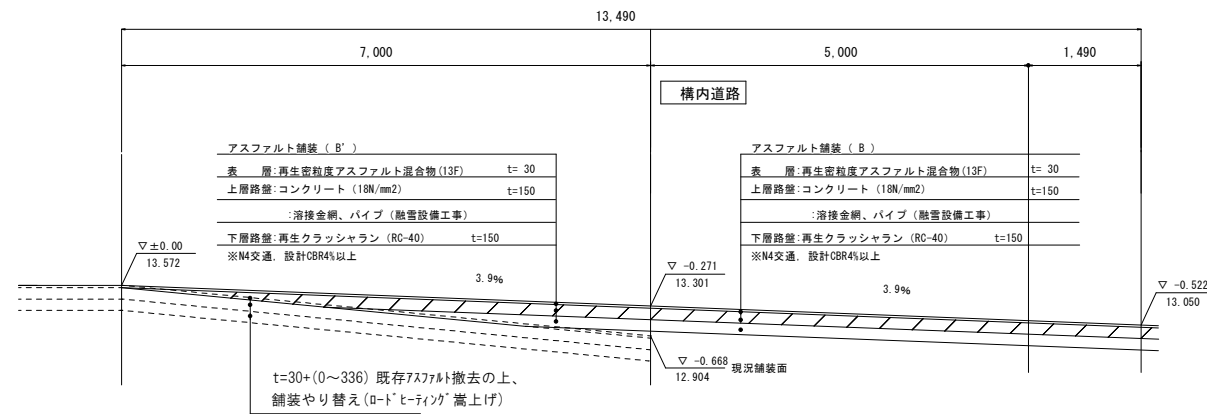


道路標準断面図

C-C



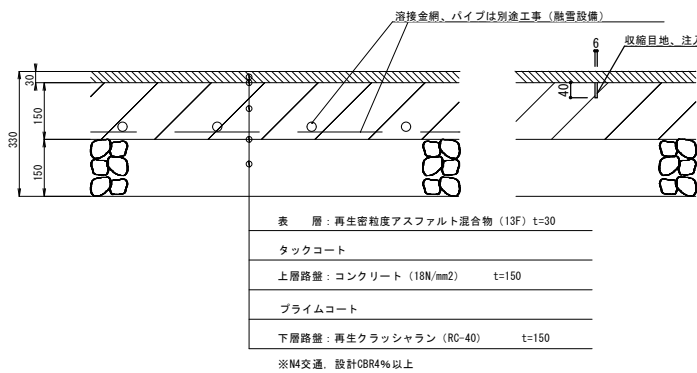
d-d



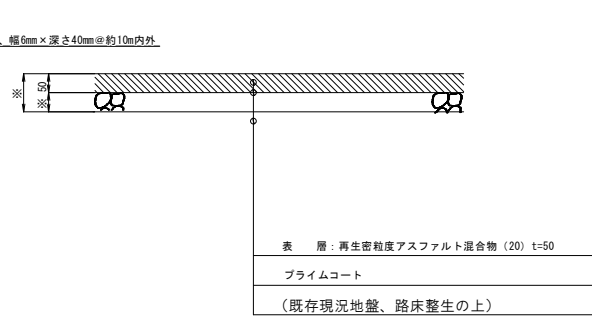
道路施設構造図

I T V 装置架台基礎図

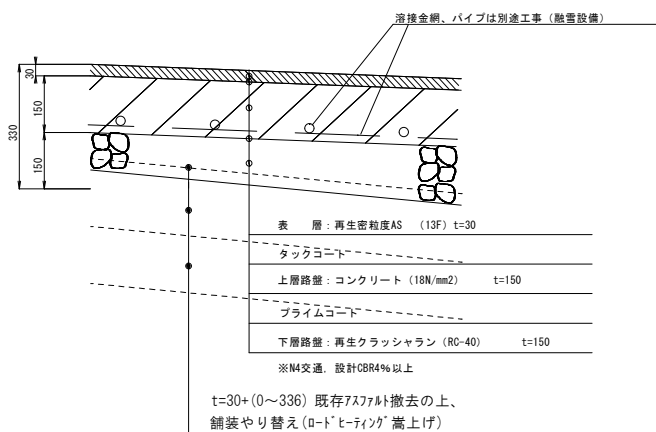
アスファルト舗装(B) S=1:10
(再生密粒度アスファルト混合物：R-D'ヒートン[®])



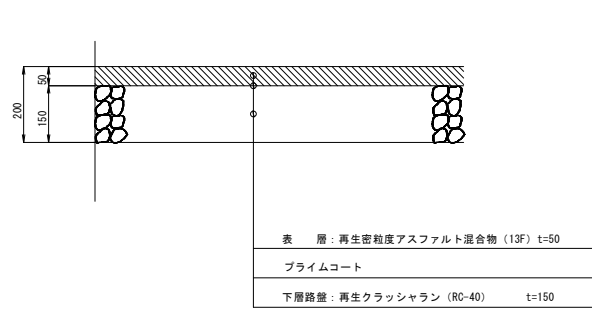
アスファルト舗装(H) S=1:10
(再生密粒度アスファルト混合物 (20))



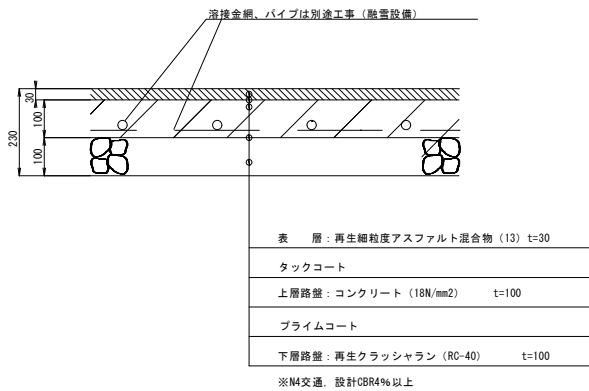
アスファルト舗装(I) S=1:10
(再生密粒度AS：R-D'ヒートン[®])



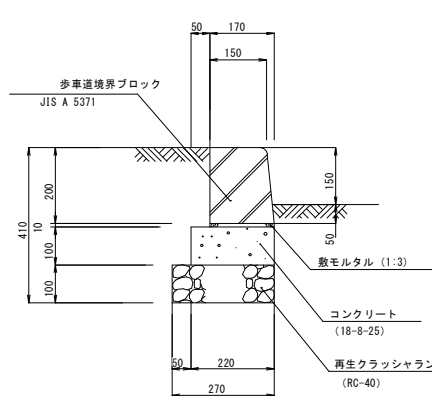
アスファルト舗装(1) S=1:10
(再生密粒度アスファルト混合物)



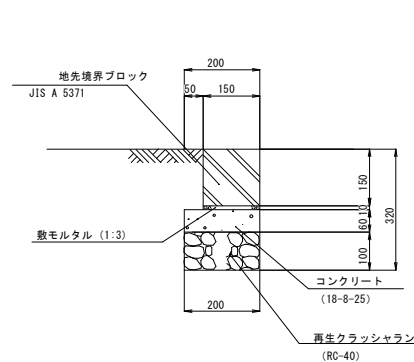
アスファルト舗装(G) S=1:10
(再生細粒度アスファルト混合物 (13)：R-D'ヒートン[®])



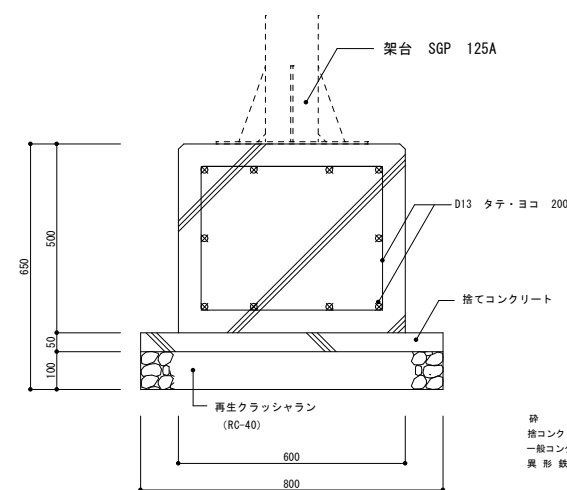
縁石工 S=1:10
(歩車道境界ブロック)



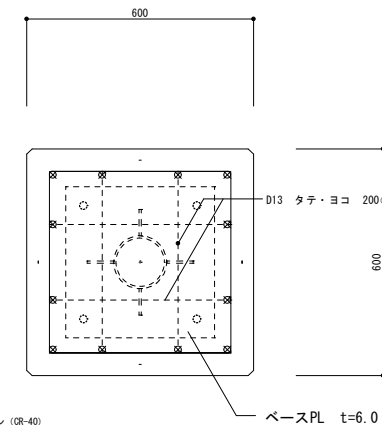
境界石工 S=1:10
(地先境界ブロック)



断面図 S=1:10



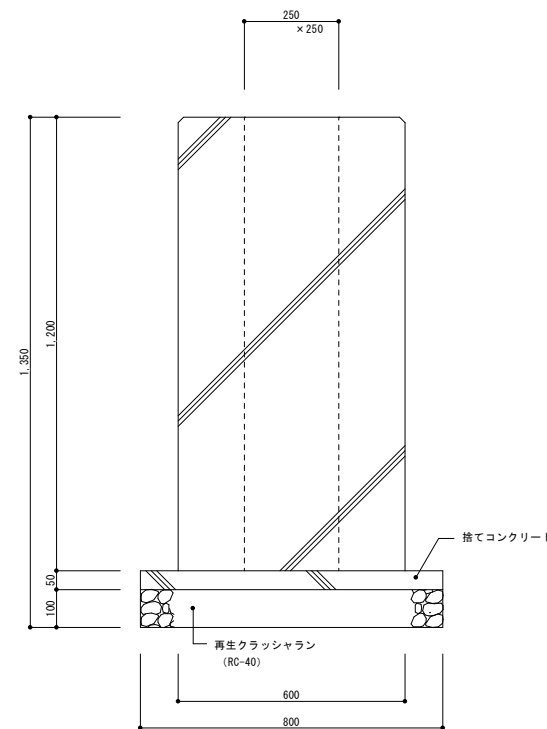
平面図 S=1:10



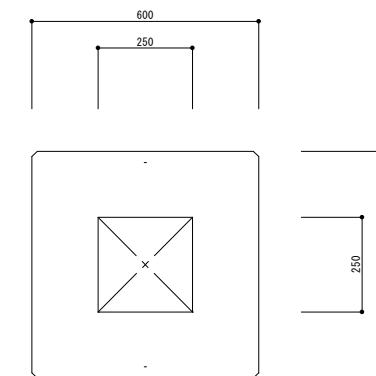
砕石 再生クラッシャーラン (RC-40)
 捨コンクリート 設計基準強度 Fc=18N/mm²、スランプ15cm
 一般コンクリート 設計基準強度 Fc=21N/mm²、スランプ15cm
 異形鉄筋 S2095A (JIS規格品)

OK式照明灯用ポール基礎図

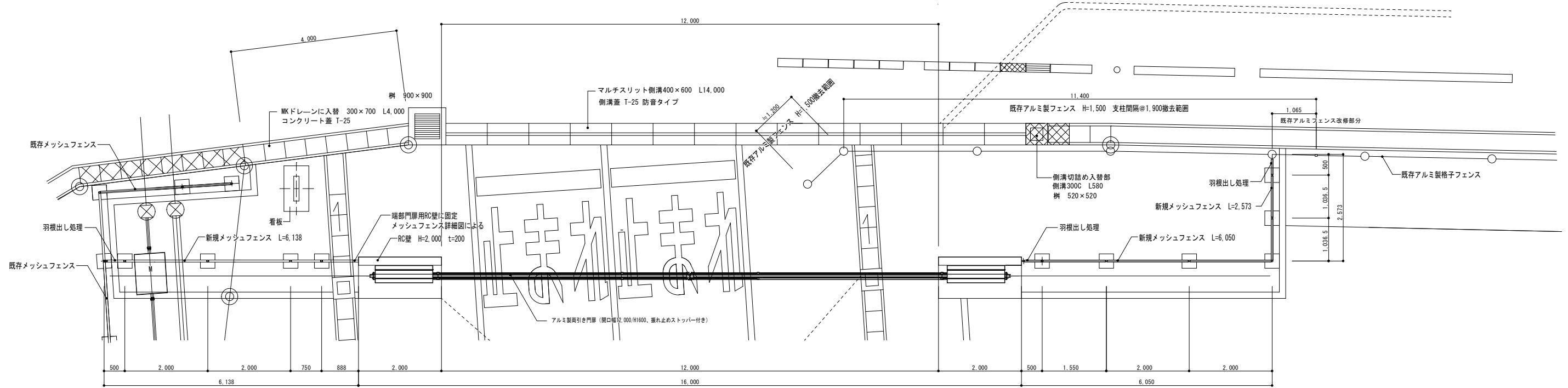
断面図 S=1:10



平面図 S=1:10



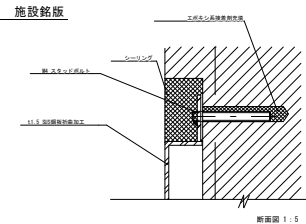
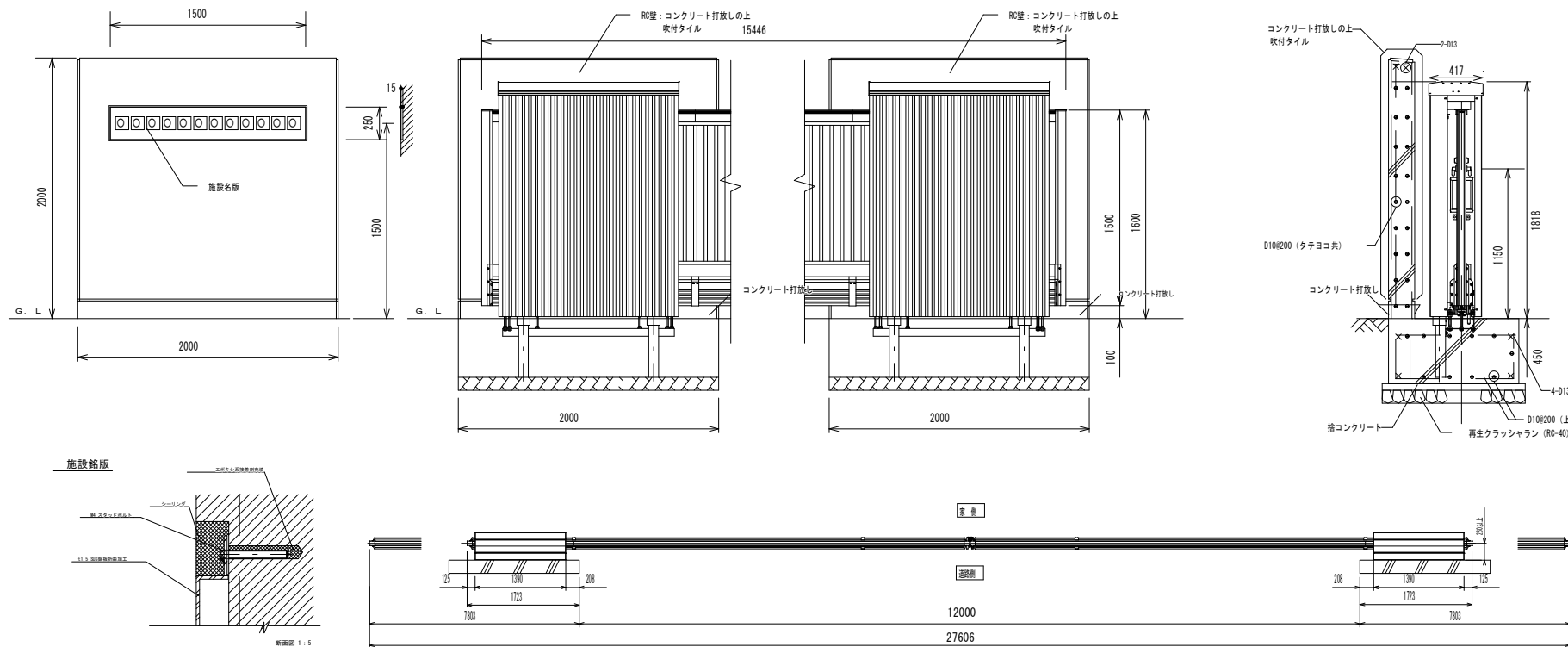
砕石 再生クラッシャーラン (RC-40)
 捨コンクリート 設計基準強度 Fc=18N/mm²、スランプ15cm
 一般コンクリート 設計基準強度 Fc=21N/mm²、スランプ15cm



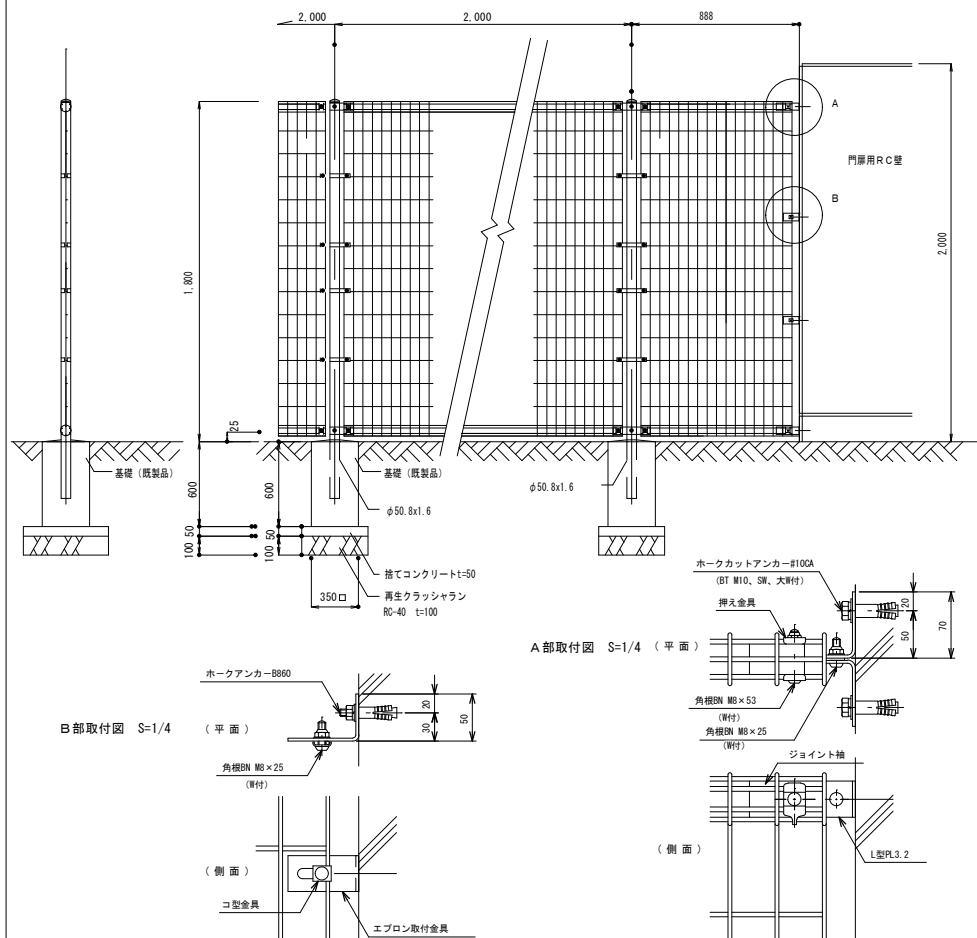
特記仕様: ワイヤメッシュ: 亜鉛めっきの上PVC樹脂静電粉体塗装 柱: 亜鉛・アルミ合金めっきの上アクリル樹脂粉体塗装
 コンクリート強度F_c=18N/mm² スラブ厚18cm
 網目フェンス "U"フェンス (積雪地用) UN-S31800"

門扉 詳細図 (複合施設)

メッシュフェンス 詳細図

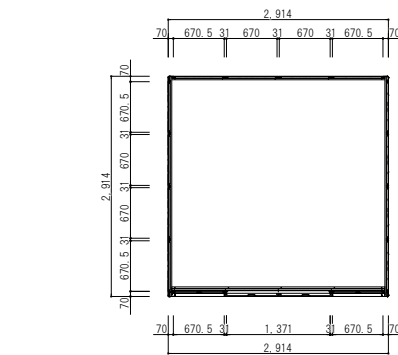


本体: t1.5 SUS鋼板別曲加工品 (SUS 304)、エッチング処理 (色差し)
 ※表示内容・文字書体・大きさ等は取極限とする。

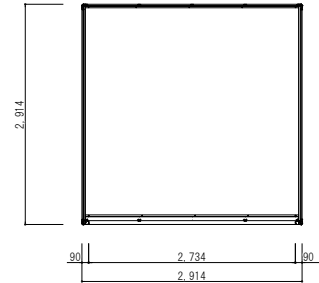


特記仕様: ワイヤメッシュ: 亜鉛めっきの上PVC樹脂静電粉体塗装 柱: 亜鉛・アルミ合金めっきの上アクリル樹脂粉体塗装
 コンクリート強度F_c=18N/mm² スラブ厚15cm
 網目フェンス "U"フェンス (積雪地用) UN-S31800"

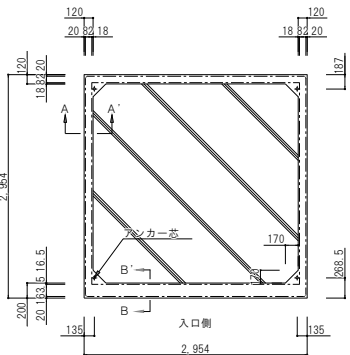
資源回収小屋1 (ヨド物置 エルモ LMD (S) -2929H型)



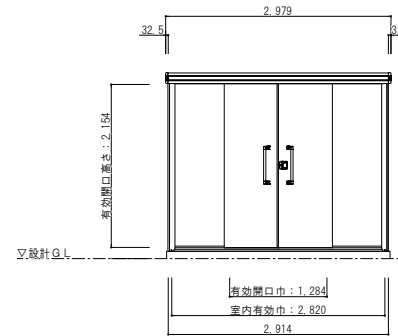
平面図 S=1:50



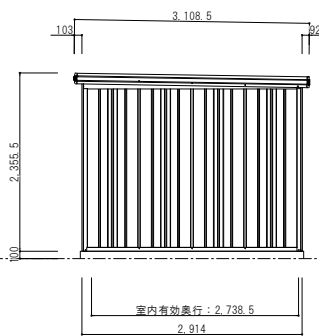
床伏図 S=1:50



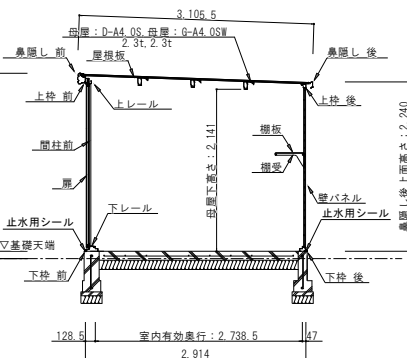
基礎伏図 S=1:50



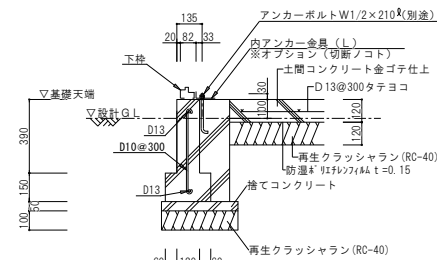
正面立面図 S=1:50



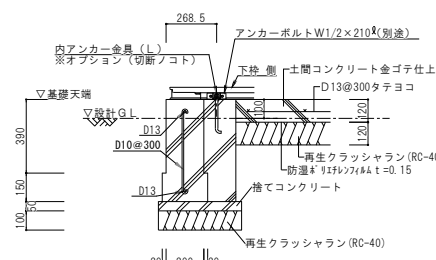
側面立面図 S=1:50



積雪型矩計図 S=1:50



基礎断面図 (A~A') S=1:20



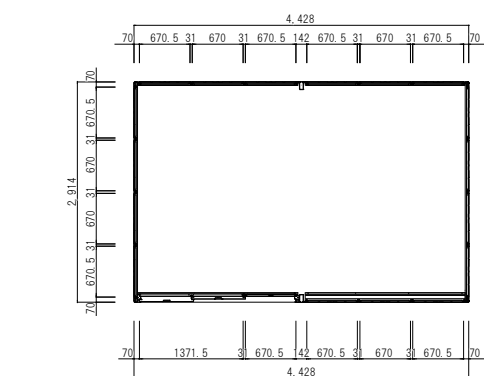
基礎断面図 (B~B') S=1:20

部材名	厚さ(m/m)	材質
屋根板	0.4	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
床補強	1.2	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 SLC
(一般型)母屋: D-A4.0	2.3	JIS G3312 塗装済亜鉛めっき鋼板 GOC
(積雪型)母屋: D-A4.0S	2.3	JIS G3312 塗装済亜鉛めっき鋼板 GOC
(積雪型)母屋: G-A4.0SW	2.3	JIS G3312 塗装済亜鉛めっき鋼板 GOC
下枠前(側・後)	1.2(1.0)	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
上枠前(後)	1.0(0.8)	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
上枠左・右	0.8	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC(1+1+1)
上枠補強(積雪型のみ)	1.6	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 GOC
上レール	1.2	アルミニウム合金押出型材
下レール	0.8	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
鼻隠し前	0.5	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC(1+1+1)
鼻隠し後	0.5	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
柱	0.8	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
扉	0.8	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
壁パネル	0.5	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
袖壁	0.5	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
間柱	1.0	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
床板	0.6	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
アンカープレート(L)	2.3	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 GOC (後塗装仕上げ)

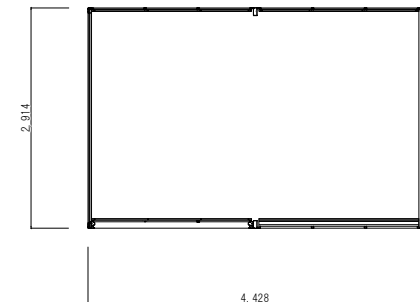
部材名	サイズ(巾×高さ)
扉右: H-A	716 × 2178
扉左: H-A	716 × 2178
壁パネル: H-A	670 × 2110
袖壁: H-A	670 × 2149

特記仕様
コンクリート強度: FC=21N/cm ² , スランプ15cm
捨てコンクリート強度: FC=18N/cm ² , スランプ15cm
鉄筋: D10~D16 SD295A, 3本鋼筋はSD333

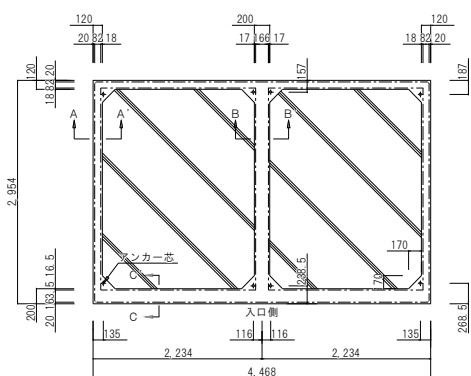
資源回収小屋2 (ヨド物置 エルモ LMD (S) -4429HL型)



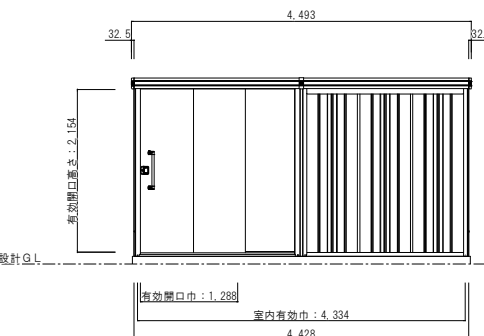
平面図 S=1:50



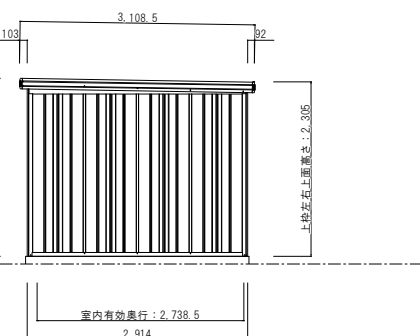
床伏図 S=1:50



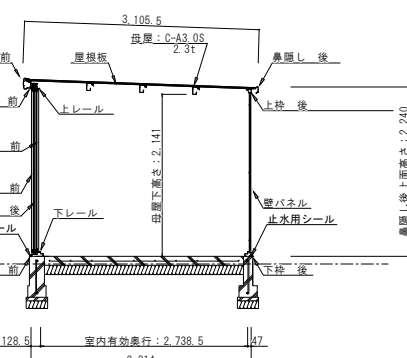
基礎伏図 S=1:50



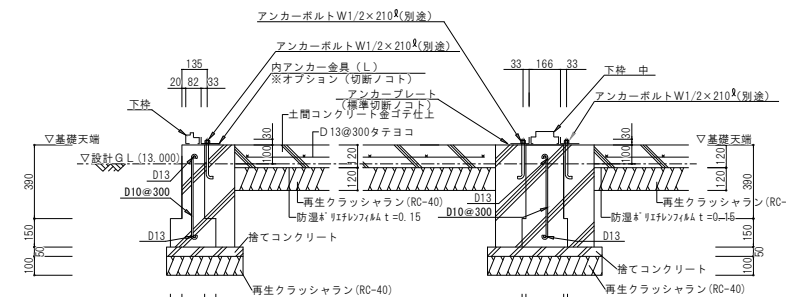
正面立面図 S=1:50



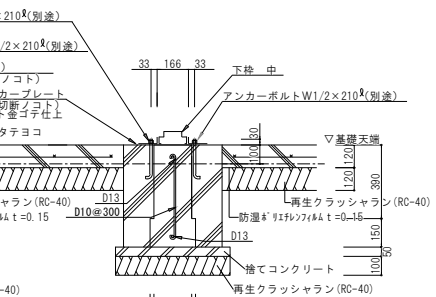
側面立面図 S=1:50



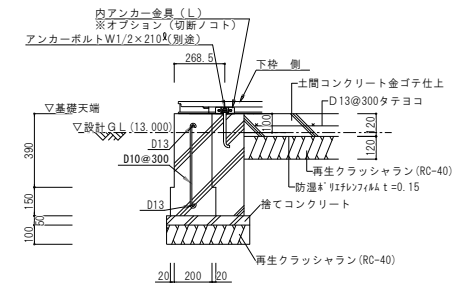
積雪型矩計図 S=1:50



基礎断面図 (A~A') S=1:20



基礎断面図 (B~B') S=1:20

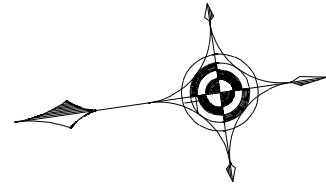


基礎断面図 (C~C') S=1:20

部材名	厚さ(m/m)	材質
屋根板	0.4	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
床補強	1.2	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 SLC
(一般型)母屋: D-A4.0	2.3	JIS G3312 塗装済亜鉛めっき鋼板 GOC
(積雪型)母屋: D-A4.0S	2.3	JIS G3312 塗装済亜鉛めっき鋼板 GOC
下枠前(側・後・中)	1.2(1.0)	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 GOC
土台前	1.0	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
前	1.0	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
上枠前(後)	1.0(0.8)	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
上枠左・右	0.8	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC(1+1+1)
(一般型)上枠中	1.2	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
(積雪型)上枠中S	1.6	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 GOC
上レール	1.2	アルミニウム合金押出型材
下レール	0.8	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
鼻隠し前	0.5	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC(1+1+1)
鼻隠し後	0.5	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
柱	0.8	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
中柱	0.8	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
扉	0.8	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
壁パネル	0.5	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
袖壁	0.5	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
間柱	1.0	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
床板	0.6	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 QLC
アンカープレート(L)	2.3	JIS G3332 塗装済アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 GOC (後塗装仕上げ)

部材名	サイズ(巾×高さ)
扉前: H-A	716 × 2178
扉後: H-A	716 × 2178
壁パネル: H-A	670 × 2110
袖壁: H-A	670 × 2149

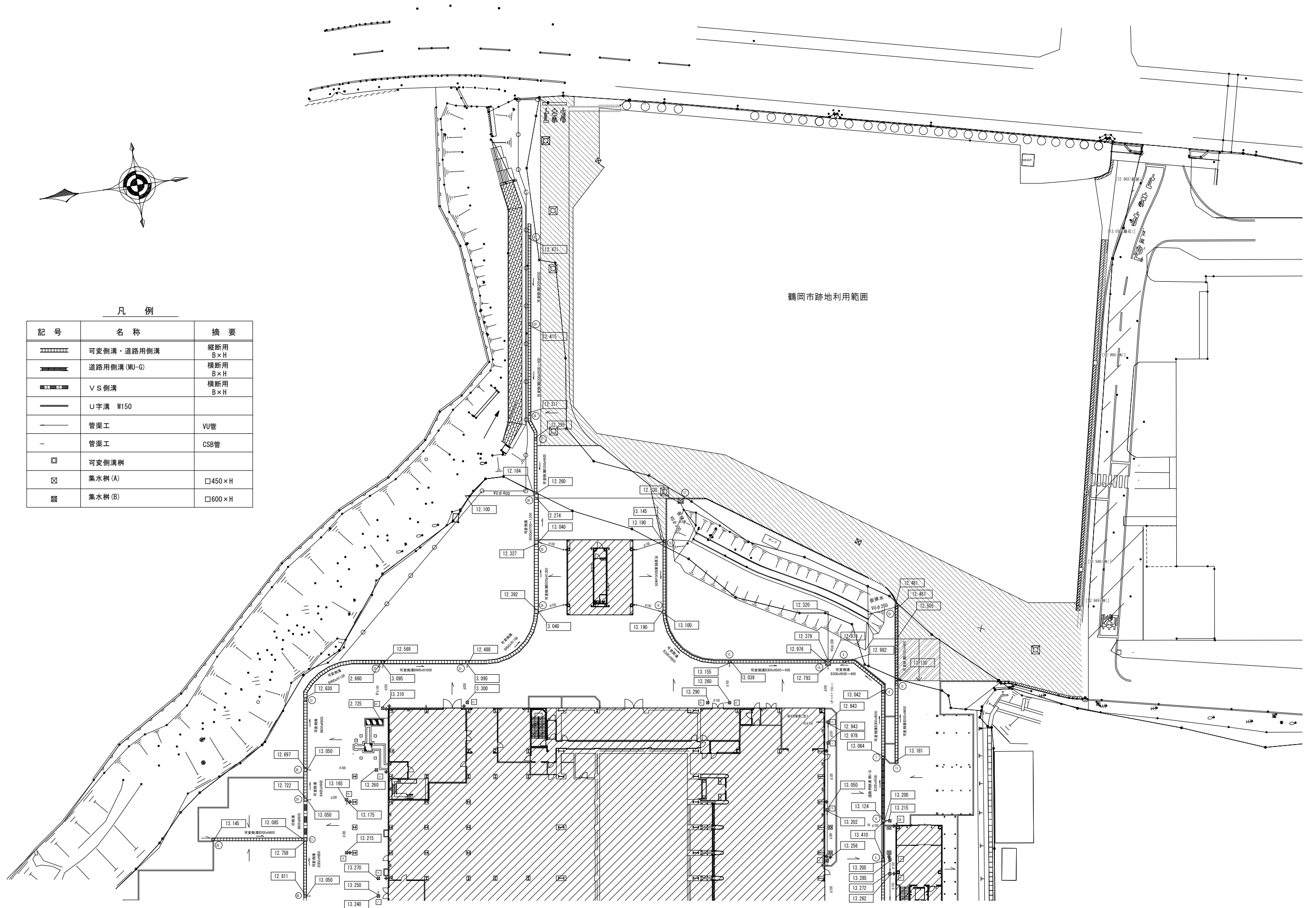
特記仕様
コンクリート強度: FC=21N/cm ² , スランプ15cm
捨てコンクリート強度: FC=18N/cm ² , スランプ15cm
鉄筋: D10~D16 SD295A, 3本鋼筋はSD333

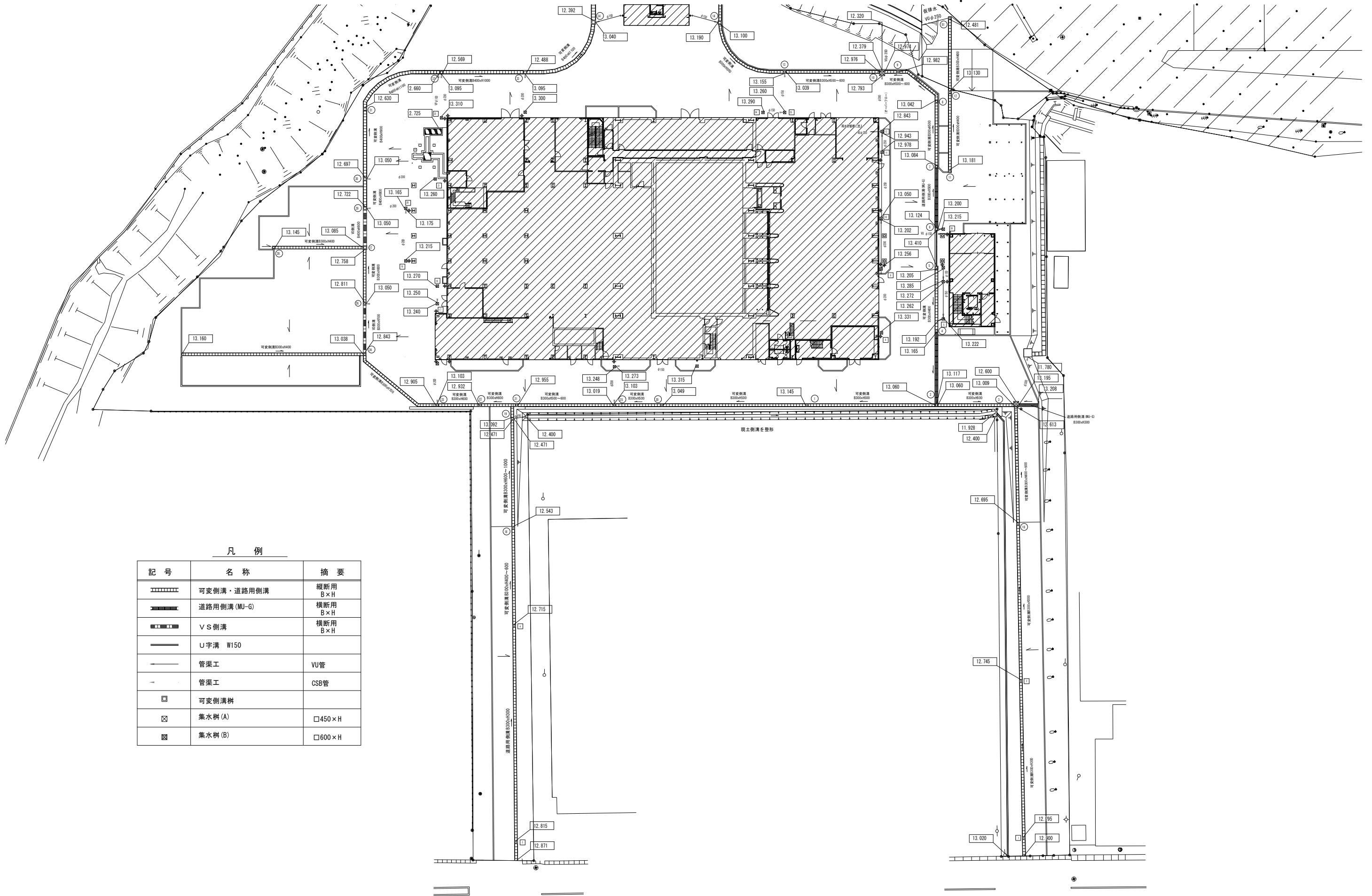


凡例

記号	名称	摘要
	可変側溝・道路用側溝	縦断用 B×H
	道路用側溝 (MU-G)	横断用 B×H
	V S側溝	横断用 B×H
	U字溝 W150	
	管渠工	VU管
	管渠工	CSB管
	可変側溝樹	
	集水樹 (A)	□450×H
	集水樹 (B)	□600×H

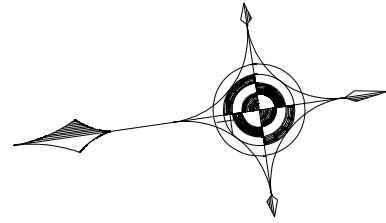
鶴岡市跡地利用範囲





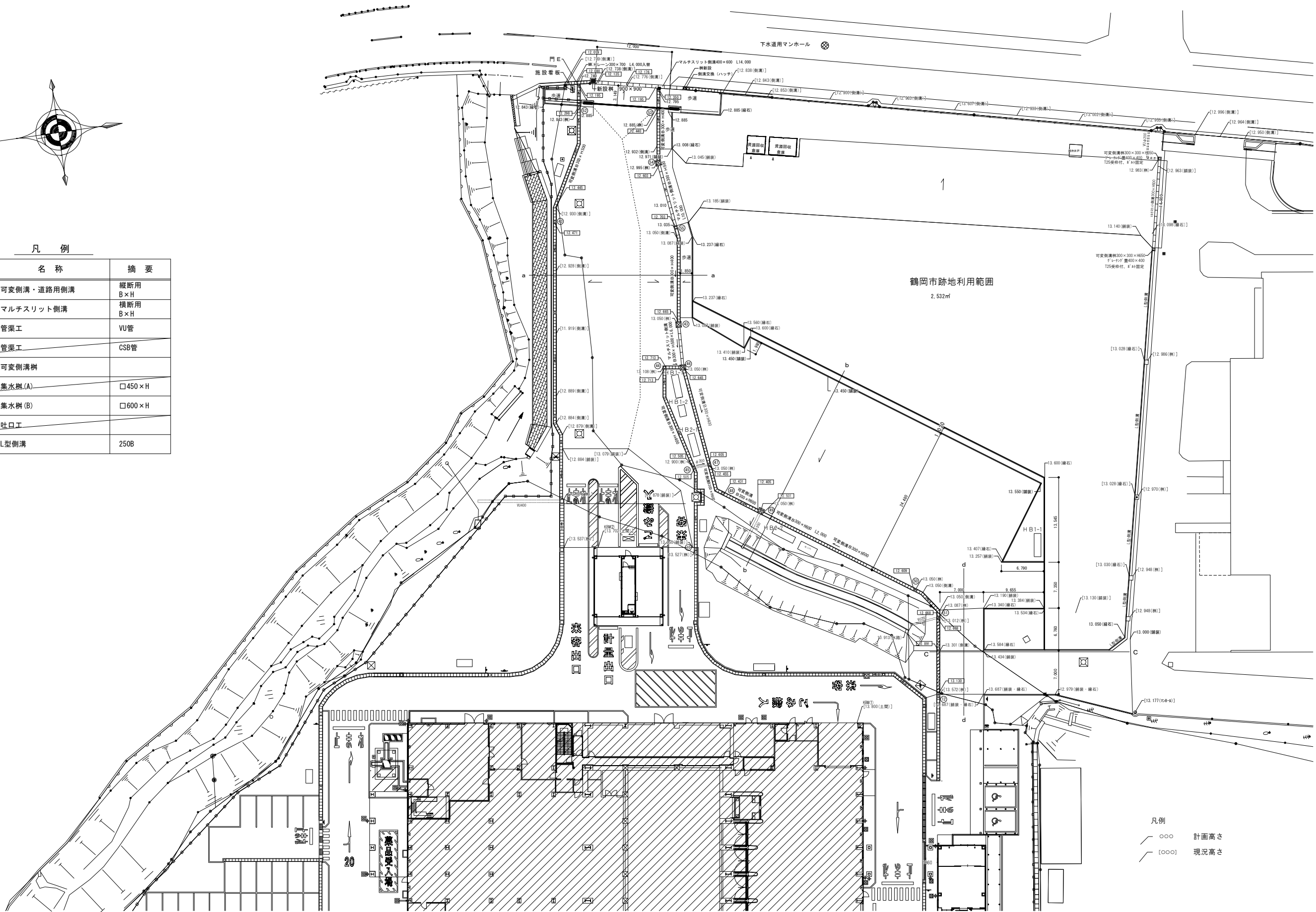
凡例

記号	名称	摘要
	可変側溝・道路用側溝	縦断用 B×H
	道路用側溝 (MU-G)	横断用 B×H
	V S側溝	横断用 B×H
	U字溝 W150	
	管渠工	VU管
	管渠工	CSB管
	可変側溝柵	
	集水柵 (A)	□450×H
	集水柵 (B)	□600×H



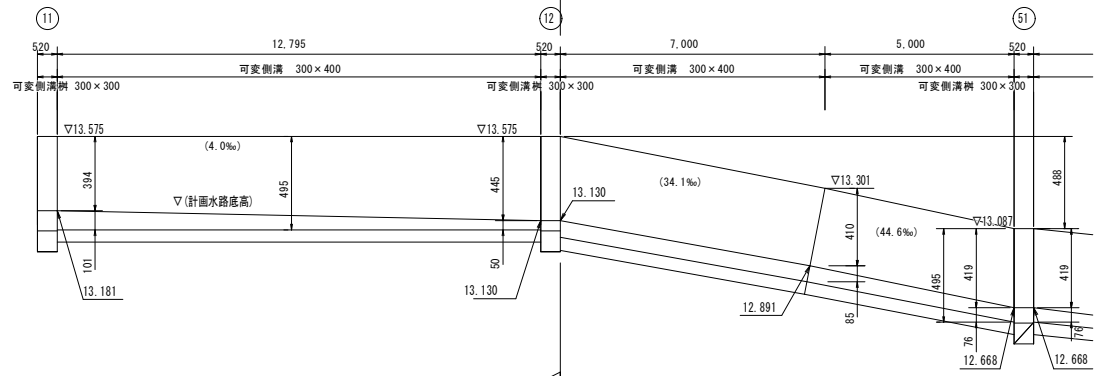
凡例

記号	名称	摘要
	可変側溝・道路用側溝	縦断用 B×H
	マルチスリット側溝	横断用 B×H
	管渠工	VU管
	管渠工	CSB管
	可変側溝柵	
	集水柵(A)	□450×H
	集水柵(B)	□600×H
	吐口工	
	L型側溝	250B

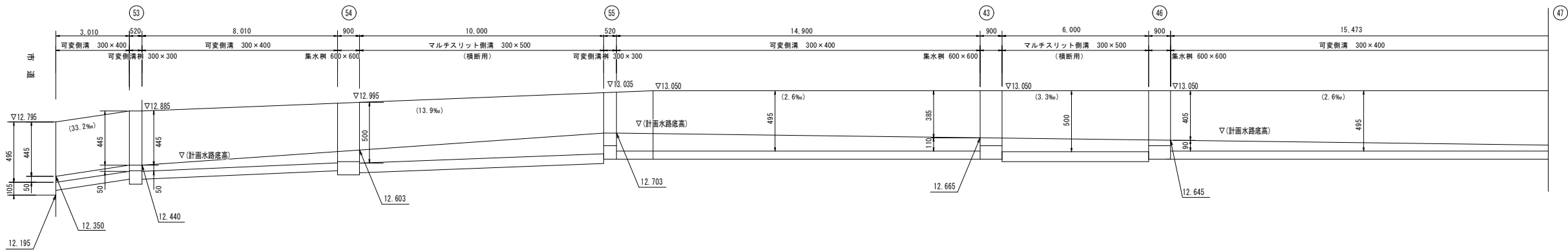


凡例
 ○○○ 計画高さ
 [○○○] 現況高さ

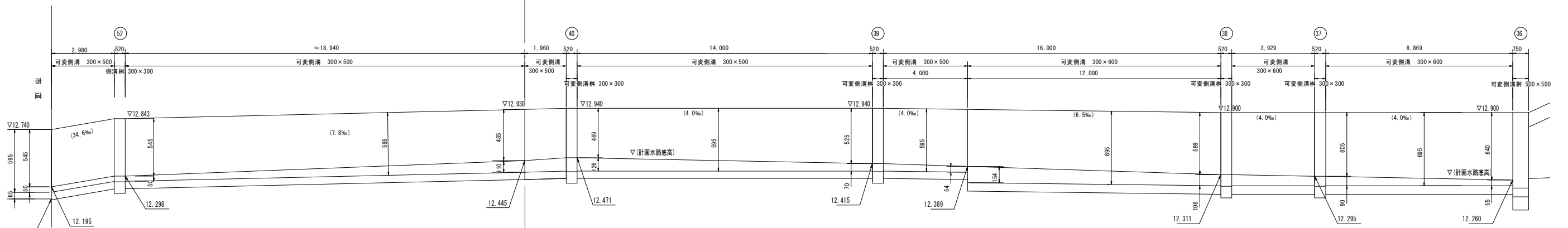
既存敷設排水樹・側溝



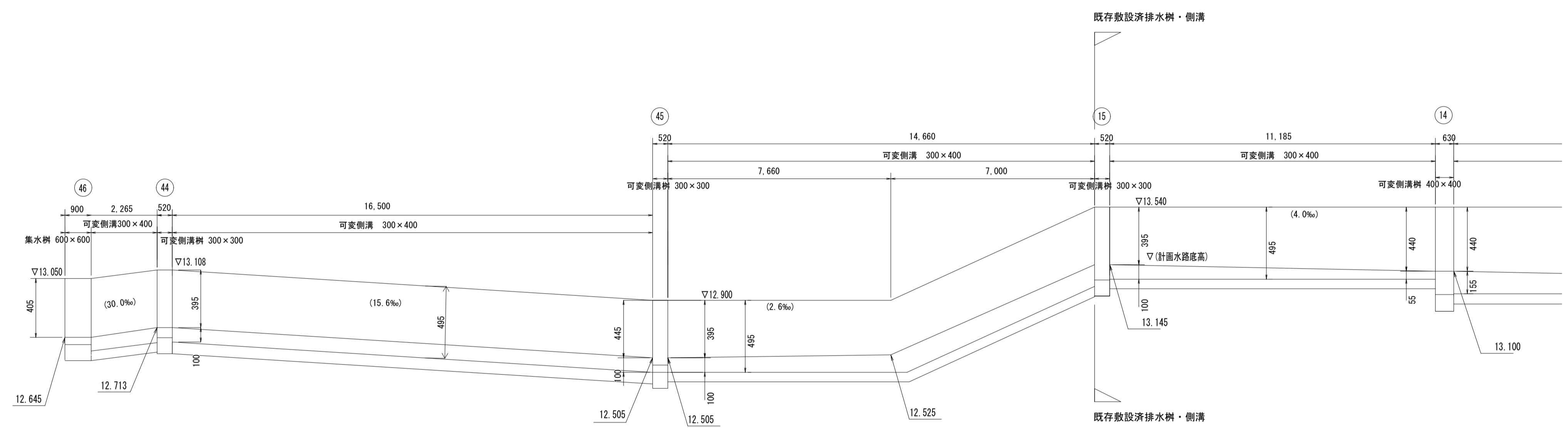
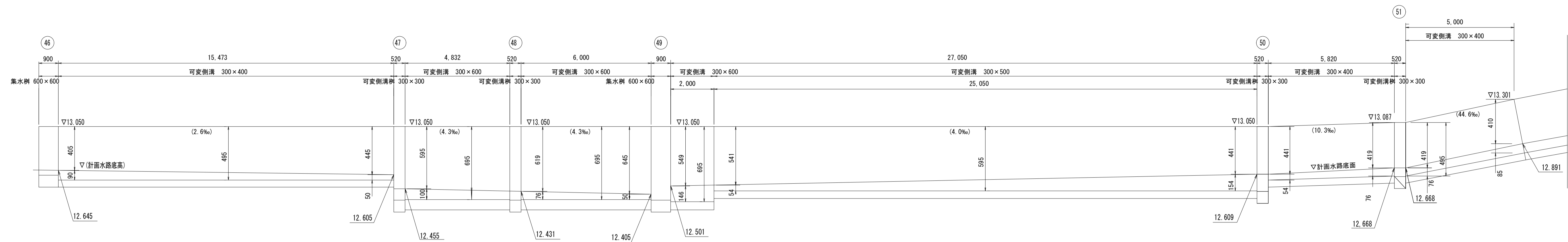
既存敷設排水樹・側溝

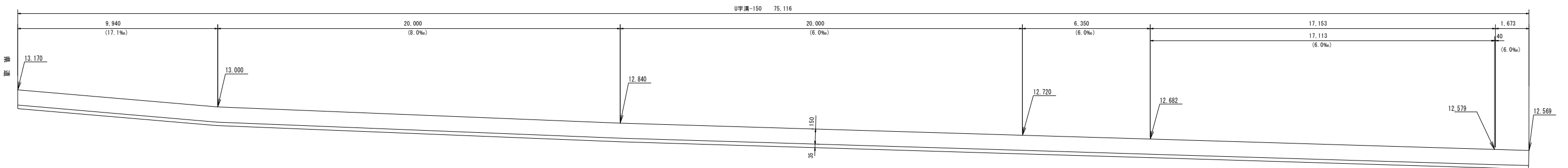
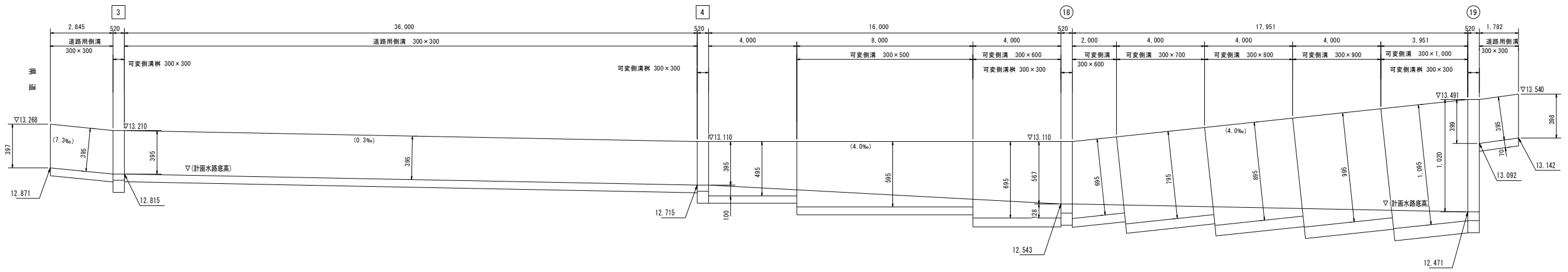
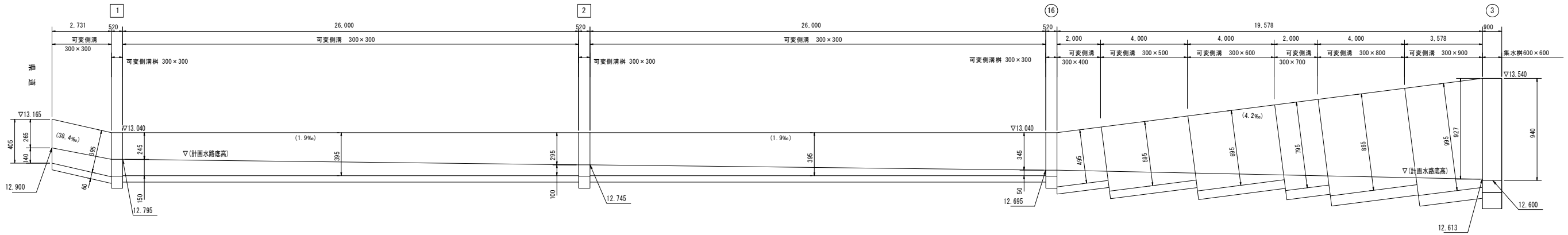


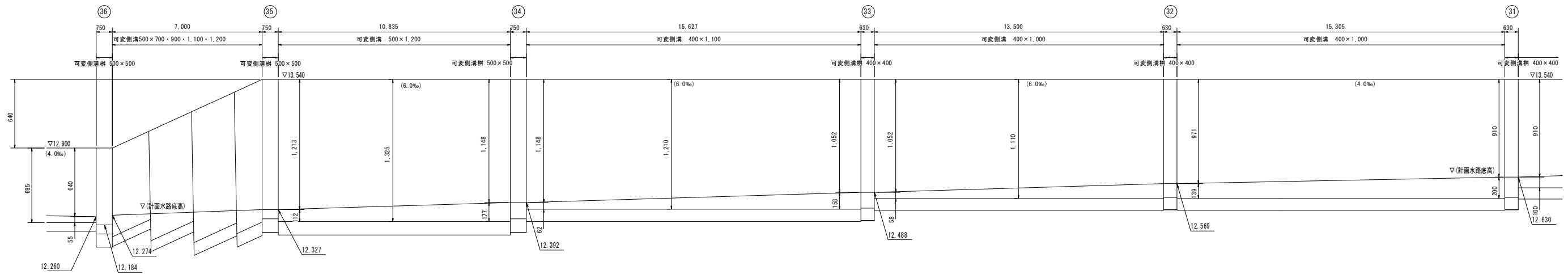
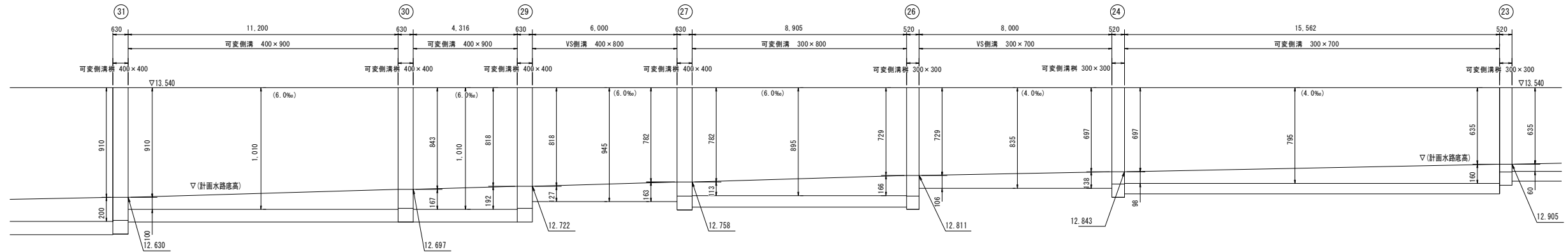
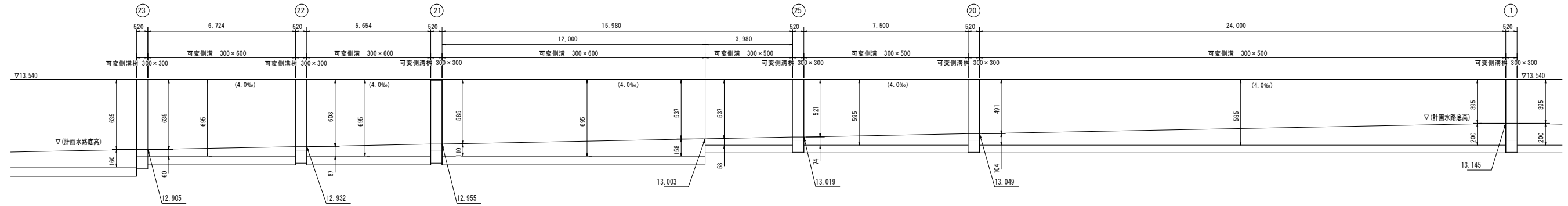
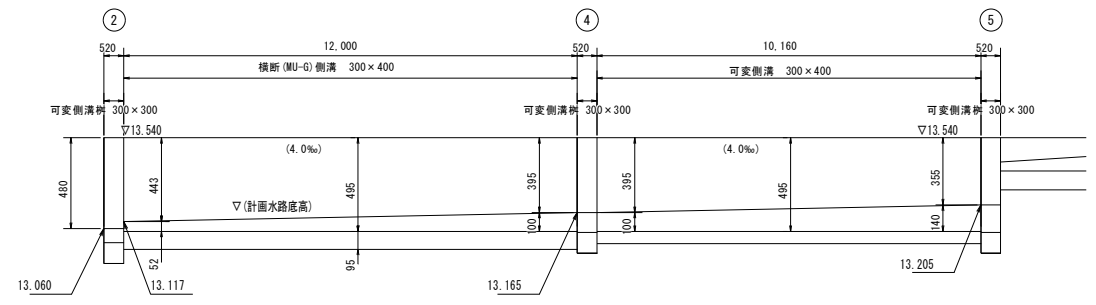
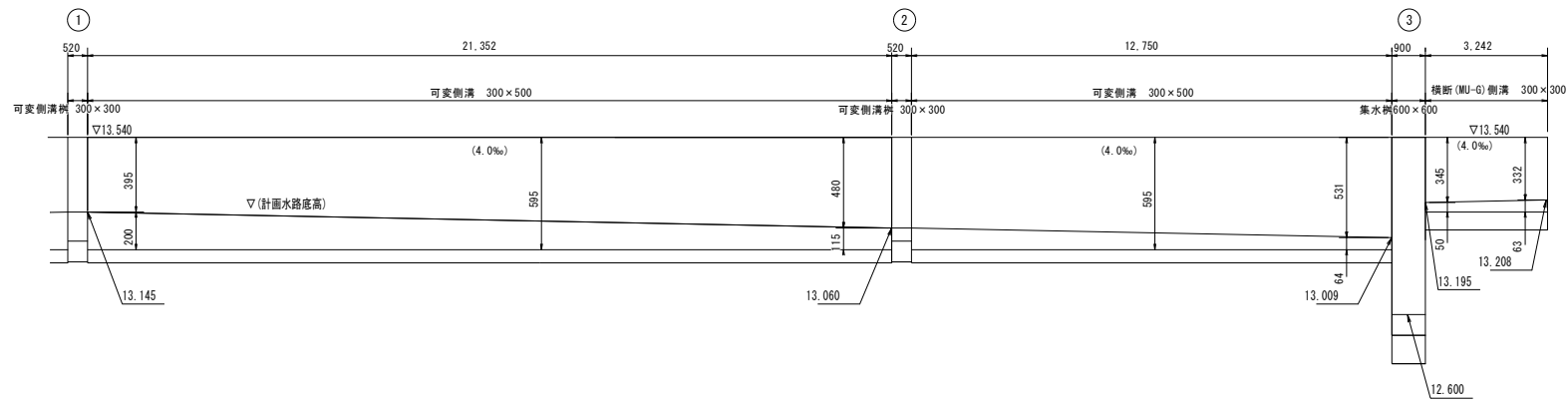
既存敷設排水樹・側溝

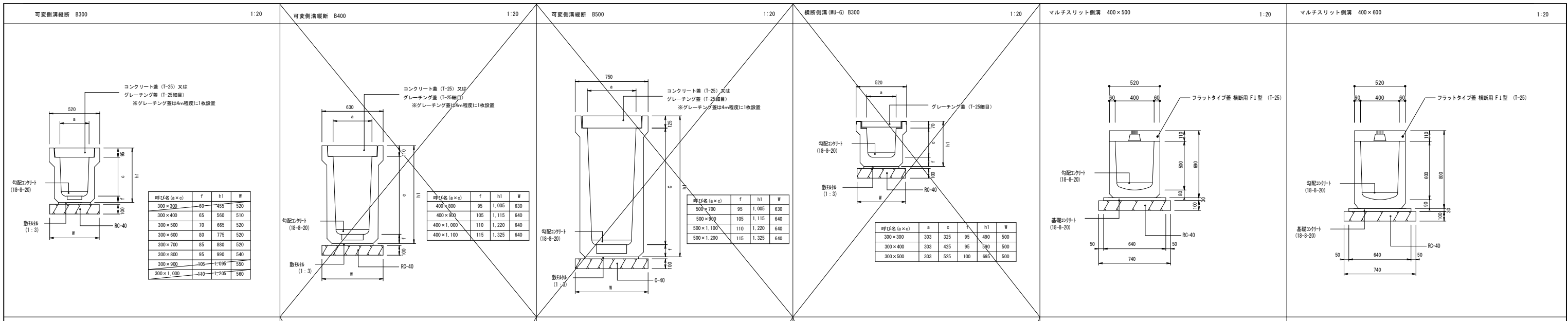


既存敷設排水樹・側溝







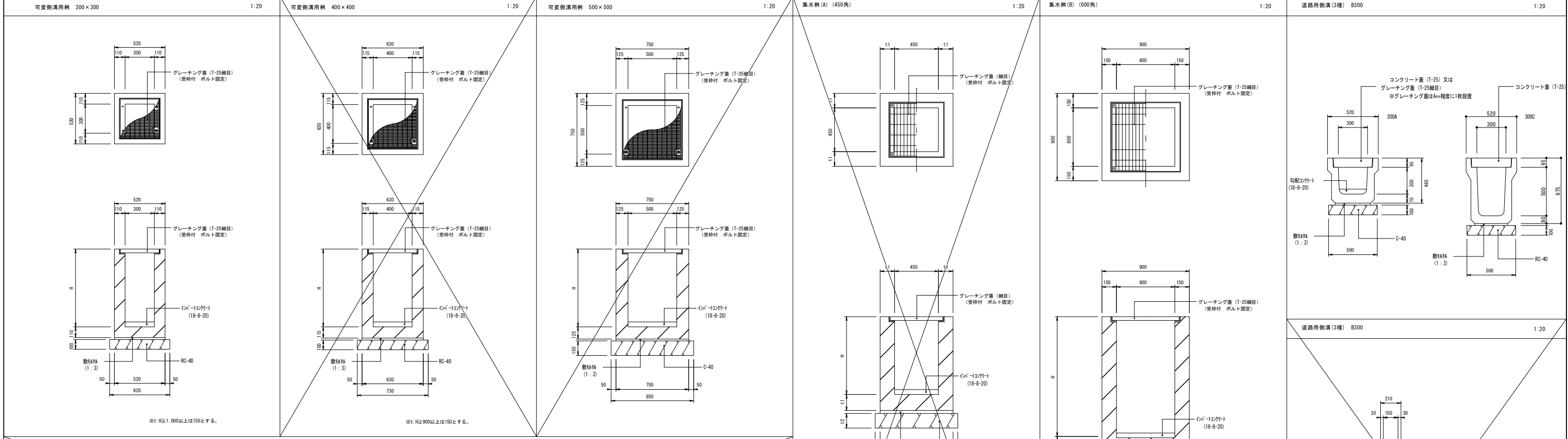


呼び名 (a×c)	f	h1	W
300×300	60	450	520
300×400	65	560	510
300×500	70	665	520
300×600	80	775	520
300×700	85	880	520
300×800	95	990	540
300×900	105	1,095	550
300×1,000	110	1,205	560

呼び名 (a×c)	f	h1	W
400×800	95	1,005	630
400×900	105	1,115	640
400×1,000	110	1,220	640
400×1,100	115	1,325	640

呼び名 (a×c)	f	h1	W
500×700	95	1,005	630
500×900	105	1,115	640
500×1,100	110	1,220	640
500×1,200	115	1,325	640

呼び名 (a×c)	a	c	f	h1	W
300×300	303	325	95	490	500
300×400	303	425	95	590	500
300×500	303	525	100	690	500

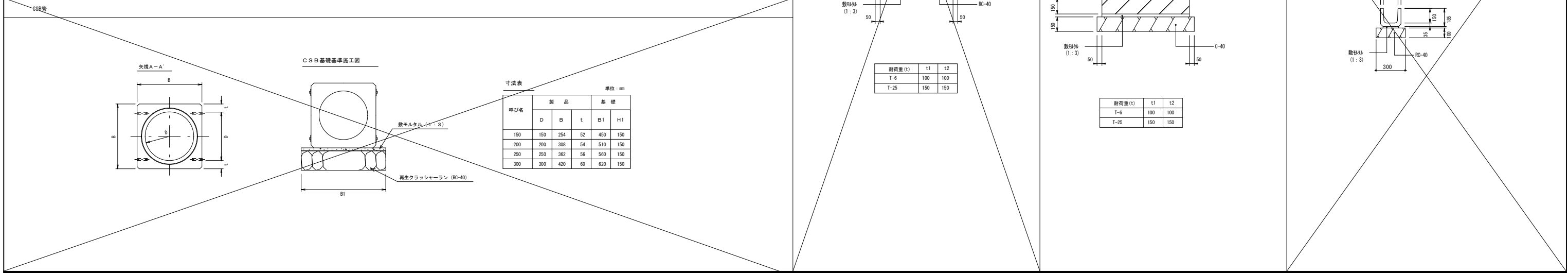


※t: H₂1,000以上は150とする。

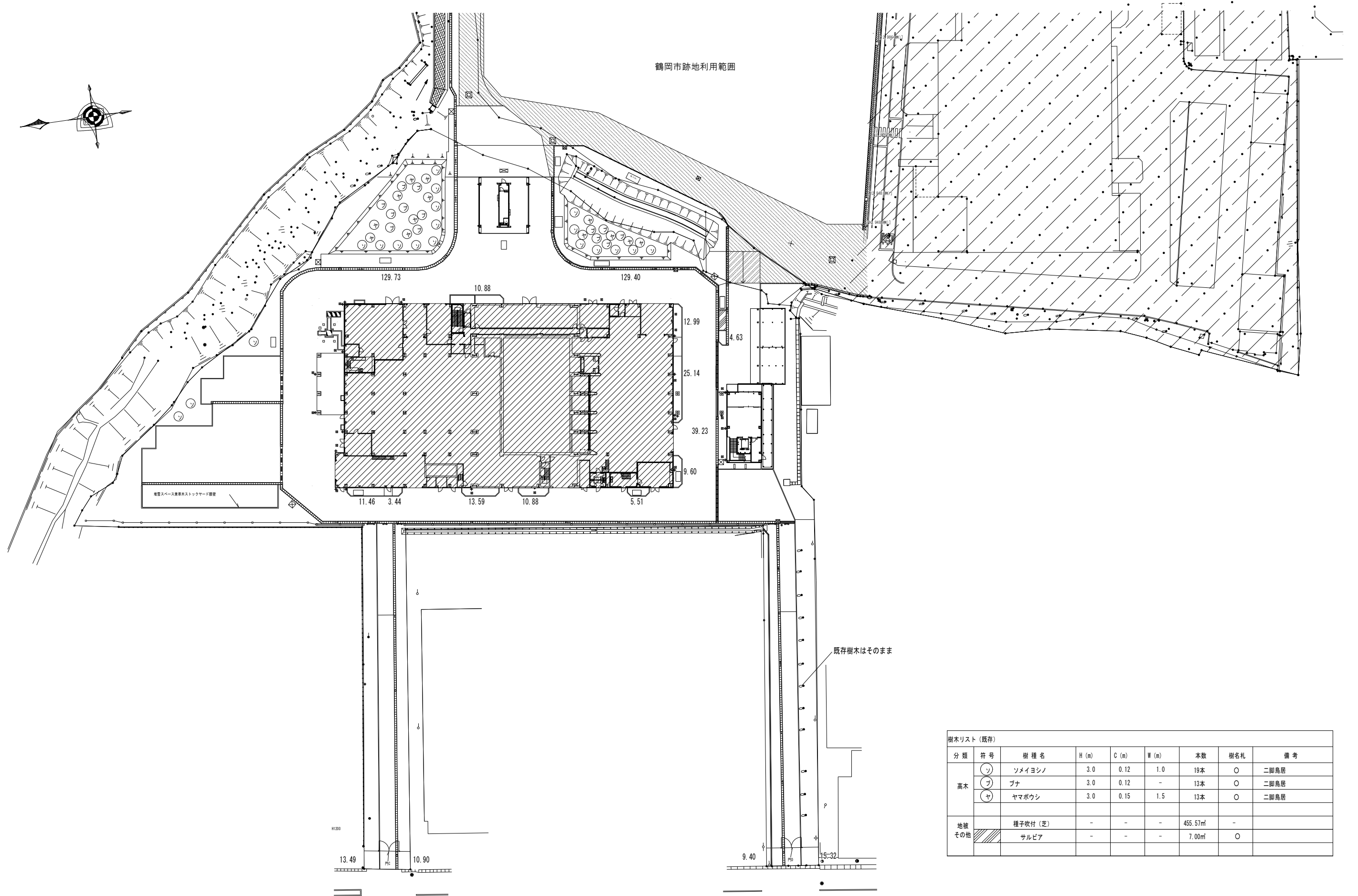
※t: H₂900以上は150とする。

耐荷重 (t)	t1	t2
T-6	100	100
T-25	150	150

耐荷重 (t)	t1	t2
T-6	100	100
T-25	150	150

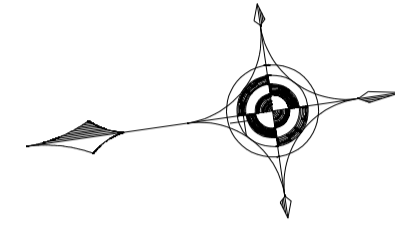


鶴岡市跡地利用範囲



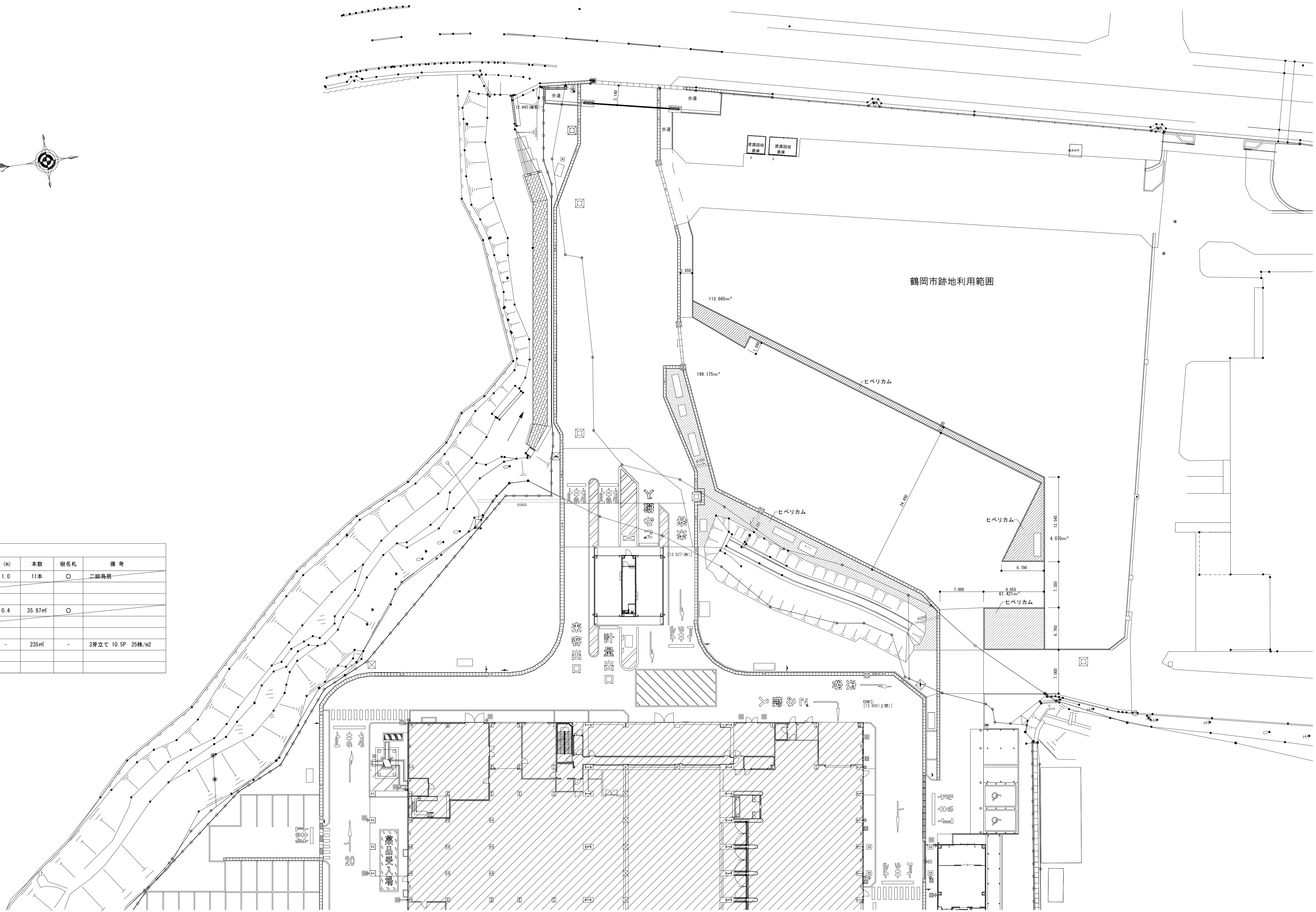
樹木リスト (既存)

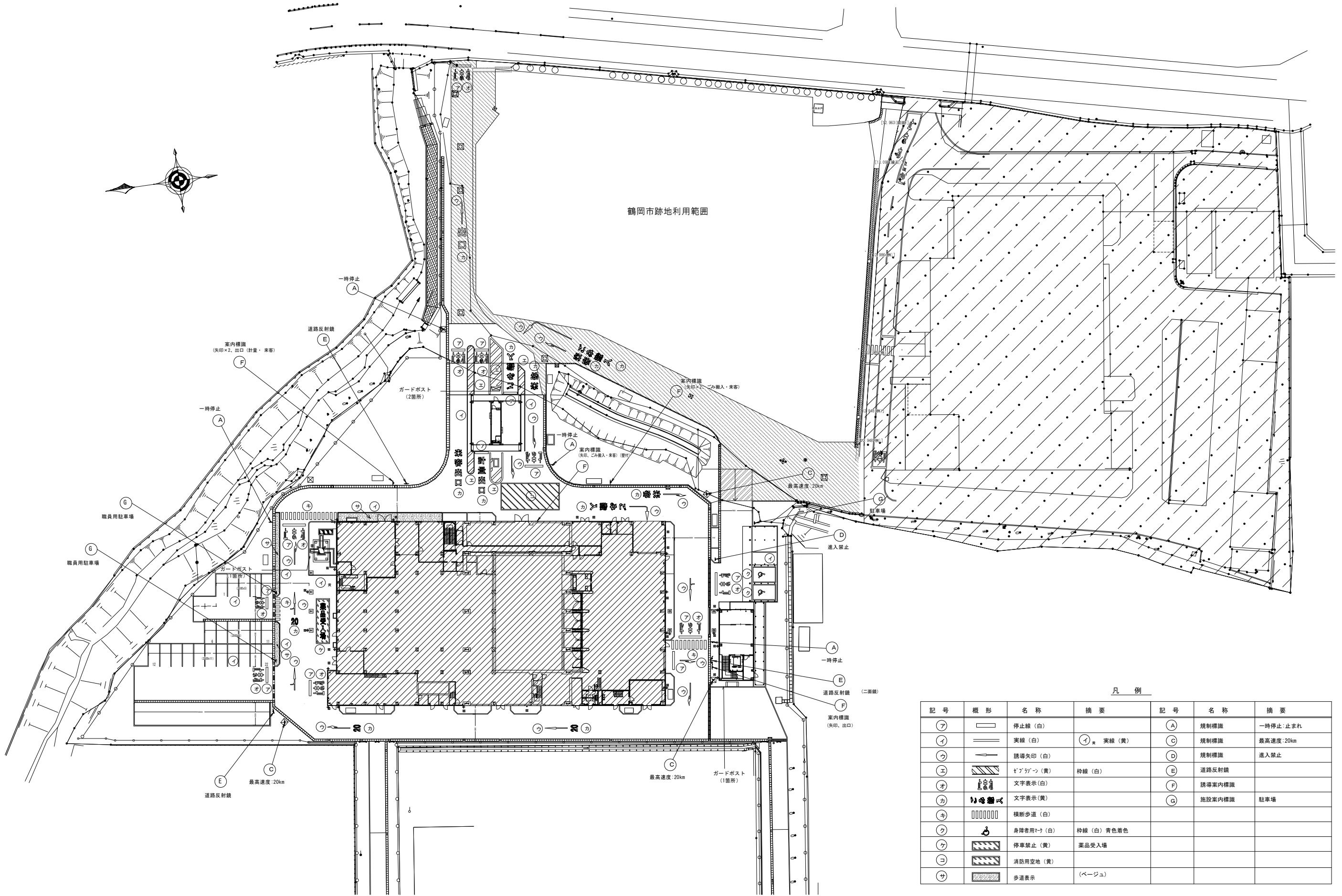
分類	符号	樹種名	H (m)	C (m)	W (m)	本数	樹名札	備考
高木	ソ	ソメイヨシノ	3.0	0.12	1.0	19本	○	二脚鳥居
	フ	フナ	3.0	0.12	-	13本	○	二脚鳥居
	ヤ	ヤマボウシ	3.0	0.15	1.5	13本	○	二脚鳥居
地被 その他		種子吹付 (芝)	-	-	-	455.57㎡	-	
		サルビア	-	-	-	7.00㎡	○	



樹木リスト

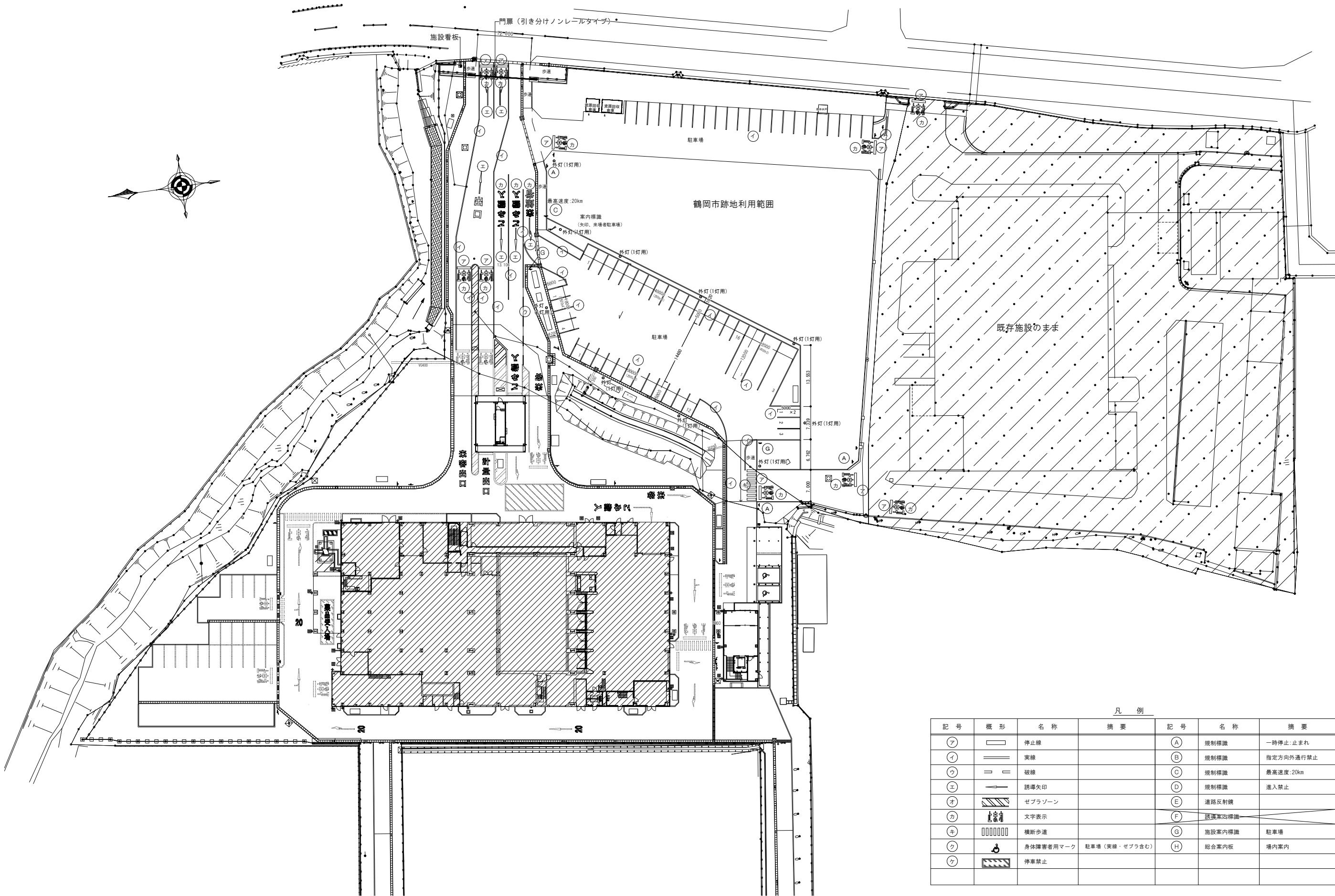
分類	符号	樹種名	H (m)	C (m)	W (m)	本数	樹名札	備考
高木	ソ	ソメイヨシノ	3.0	0.12	1.0	11本	○	二脚鳥居
低木	サツキツツジ	サツキツツジ	0.3	-	0.4	35.97㎡	○	
地被 その他	ファイリヤラン	ファイリヤラン	-	-	-	235㎡	-	3芽立て 10.5P 25株/㎡





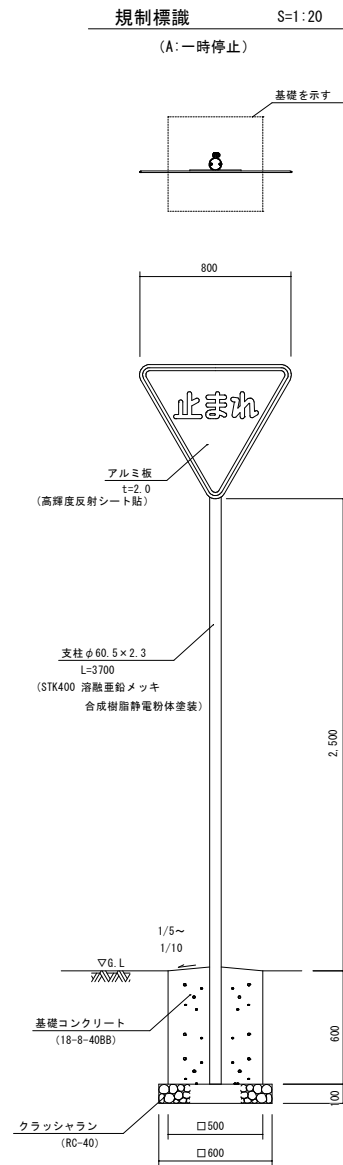
凡例

記号	概形	名称	摘要	記号	名称	摘要
ア	—	停止線 (白)		A	規制標識	一時停止: 止まれ
イ	—	実線 (白)	イ 実線 (黄)	C	規制標識	最高速度: 20km
ウ	→	誘導矢印 (白)		D	規制標識	進入禁止
エ	—	びょうびょう (黄)	枠線 (白)	E	道路反射鏡	
オ	—	文字表示 (白)		F	誘導案内標識	
カ	—	文字表示 (黄)		G	施設案内標識	駐車場
キ	〇〇〇〇〇〇	横断歩道 (白)				
ク	♿	身障者用マ- (白)	枠線 (白) 青色着色			
ケ	—	停車禁止 (黄)	薬品受入場			
コ	—	消防用空地 (黄)				
サ	—	歩道表示	(ベージュ)			

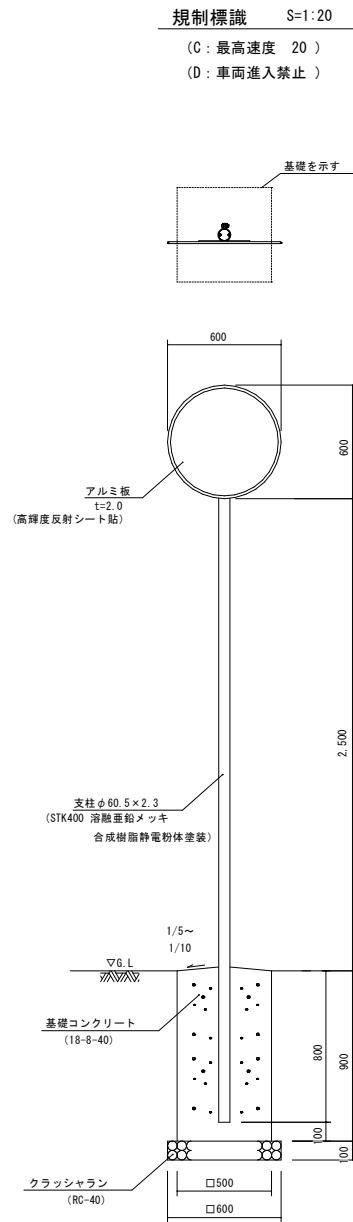


凡例

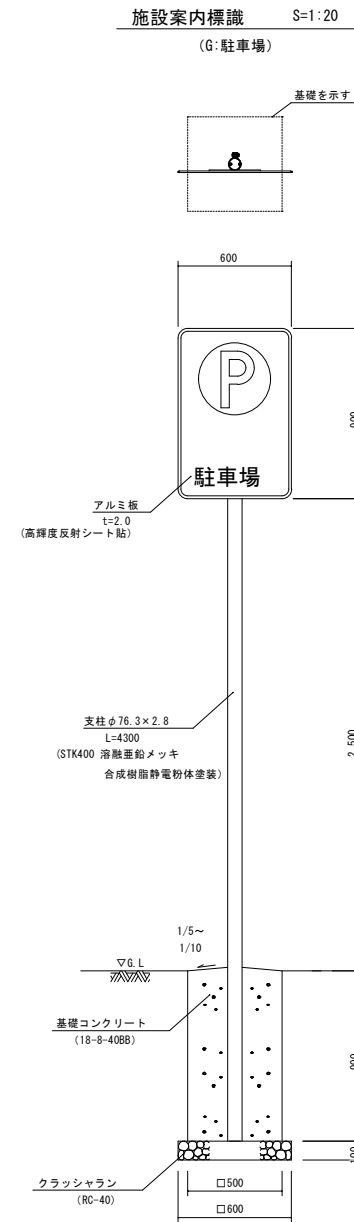
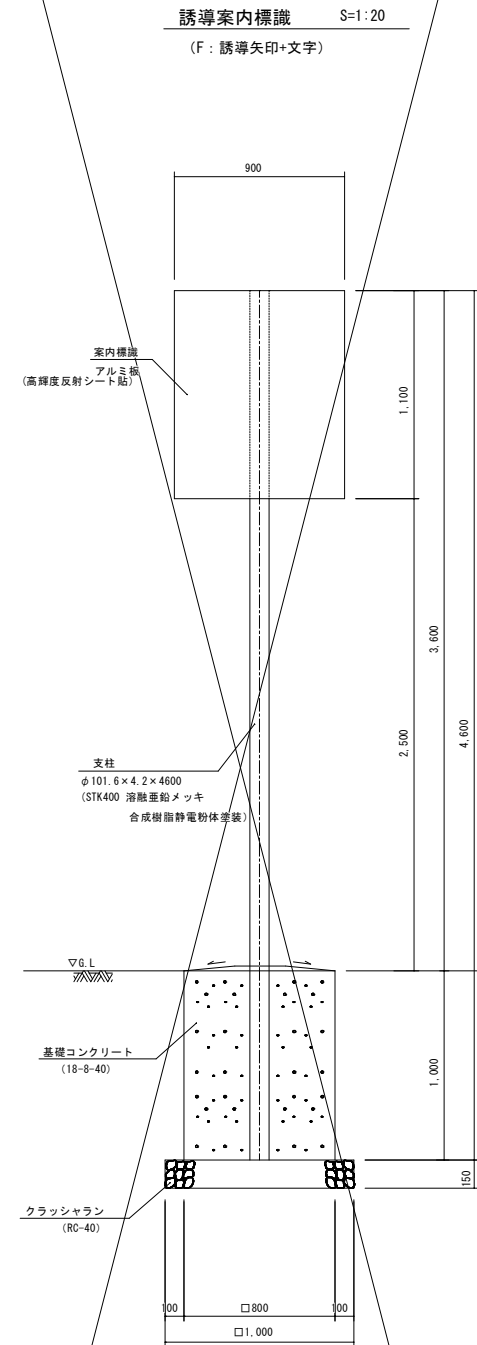
記号	概形	名称	摘要	記号	名称	摘要
ア	—	停止線		A	規制標識	一時停止・止まれ
イ	—	実線		B	規制標識	指定方向外通行禁止
ウ	—	破線		C	規制標識	最高速度:20km
エ	—	誘導矢印		D	規制標識	進入禁止
オ	—	ゼブラゾーン		E	道路反射鏡	
カ	—	文字表示		F	誘導案内標識	
キ	—	横断歩道		G	施設案内標識	駐車場
ク	—	身体障害者用マーク	駐車場(実線・ゼブラ含む)	H	総合案内板	場内案内
ケ	—	停車禁止				



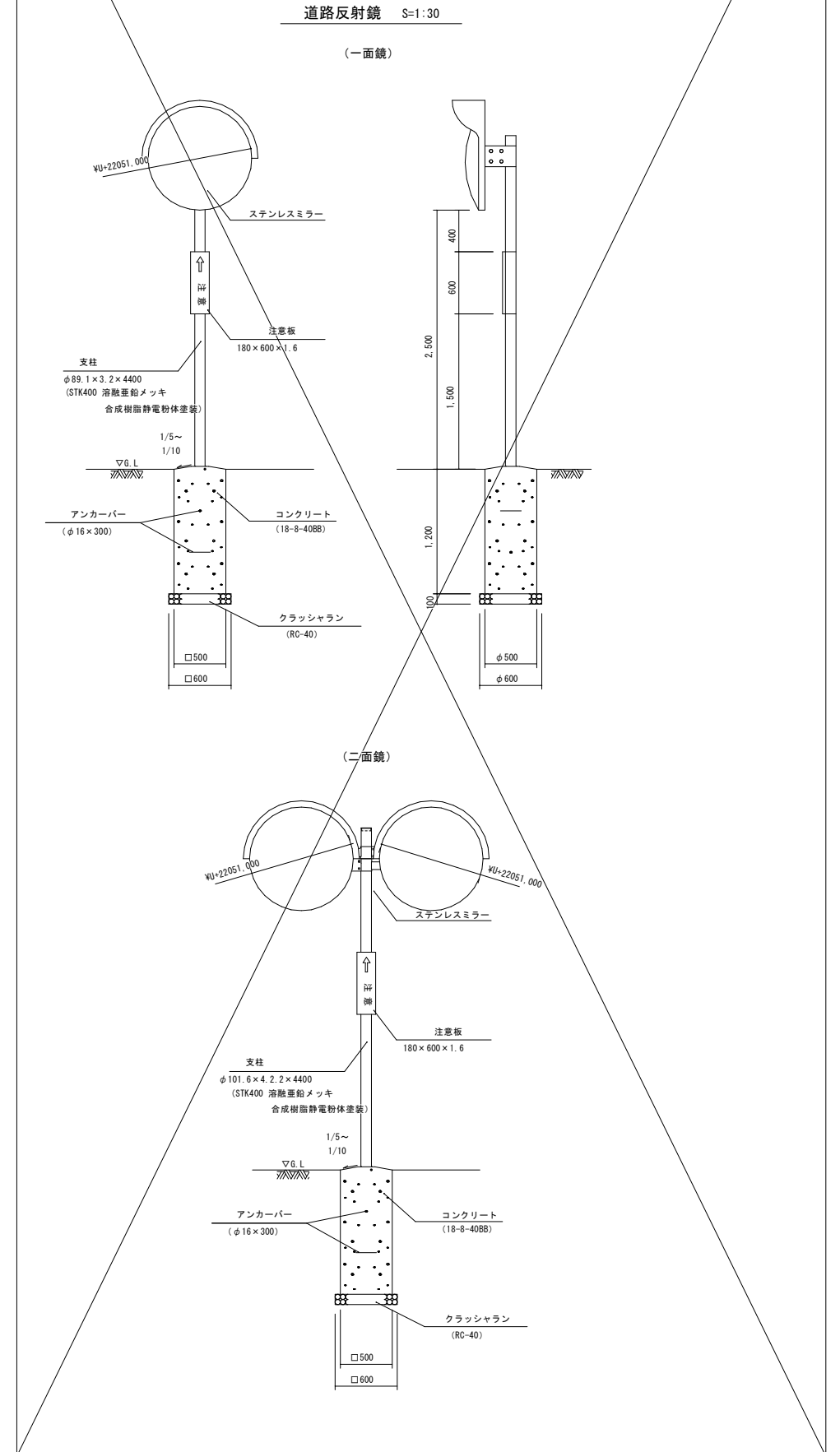
※ITVカメラの支柱(φ89.1)に取付箇所有り



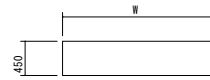
※ITVカメラの支柱(φ89.1)に取付箇所有り



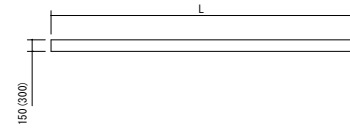
※職員用駐車場は「駐車場」を「職員用」と記載する。



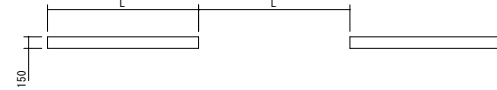
停止線 S=1:50



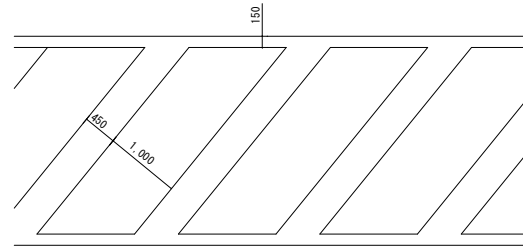
実線 S=1:50



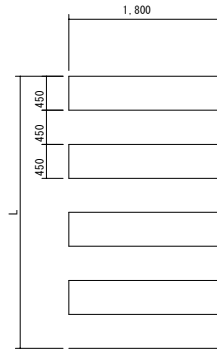
破線 S=1:50



ゼブラ S=1:50

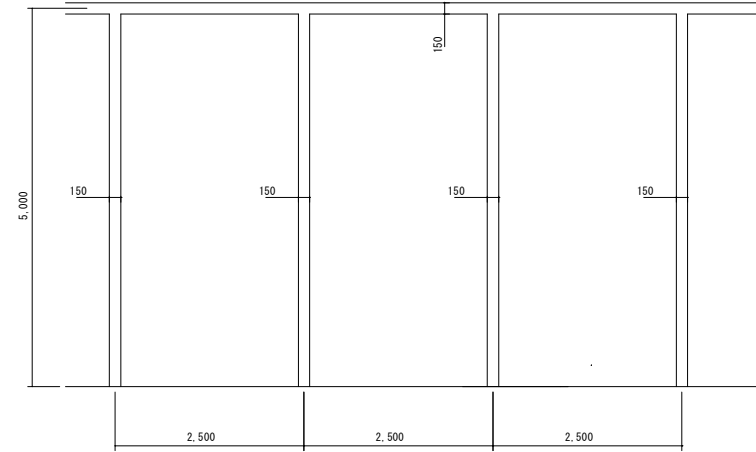


横断歩道 S=1:50



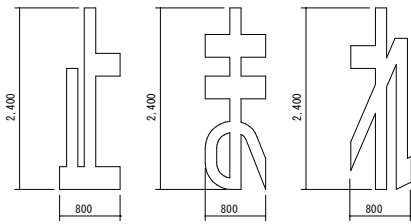
駐車場表示 S=1:50

標準部 (As舗装)

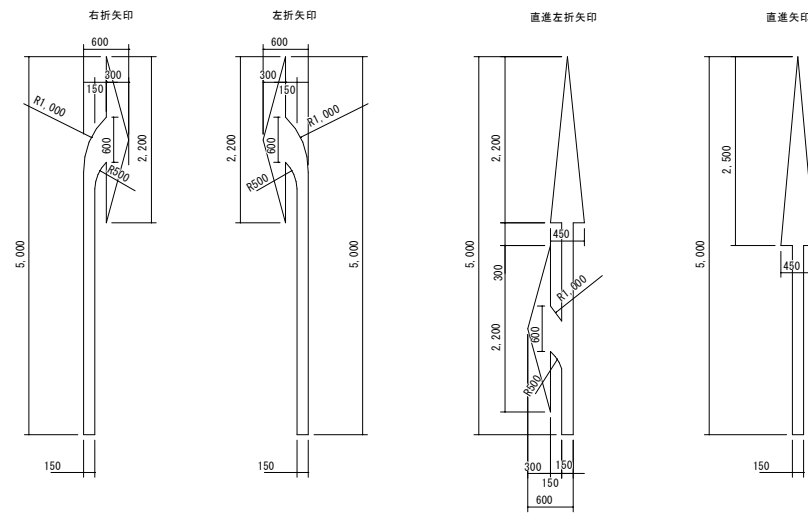


文字表示 S=1:50

一時停止



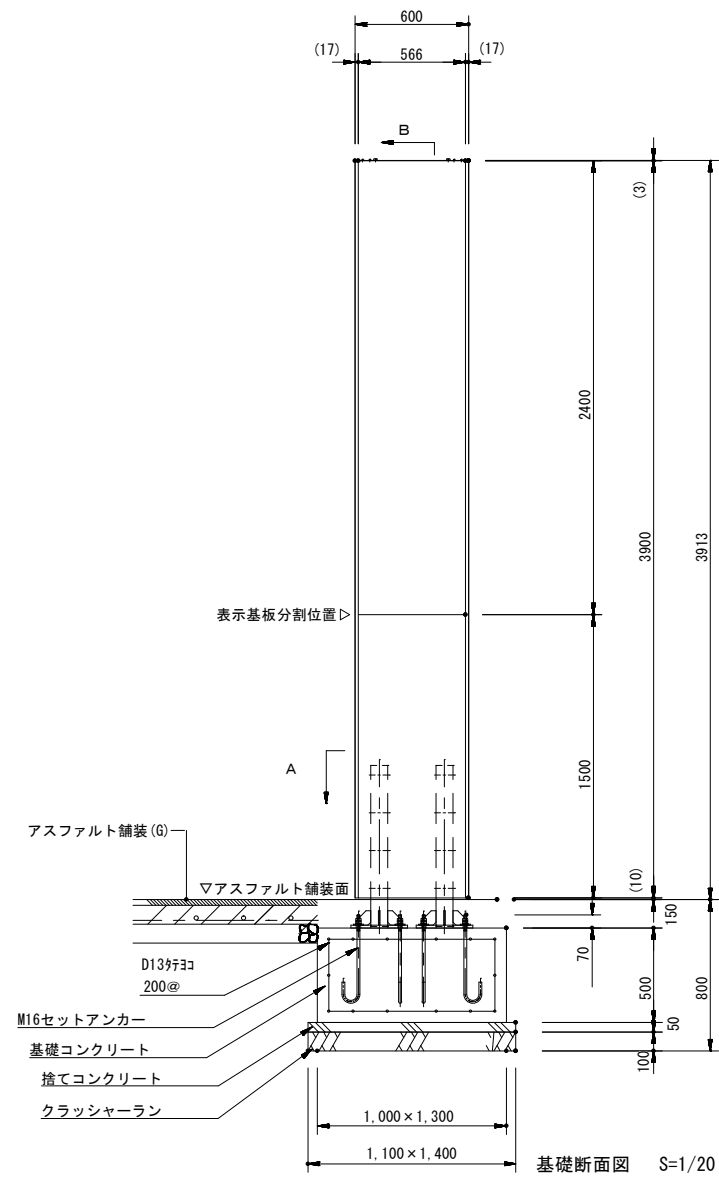
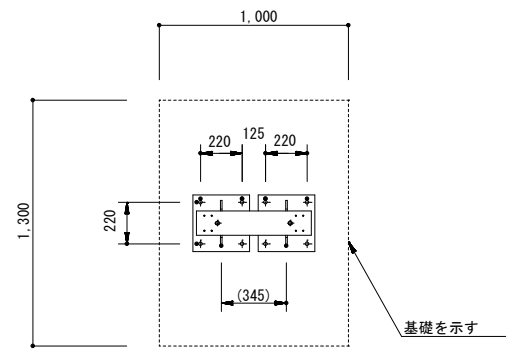
誘導矢印 S=1:50



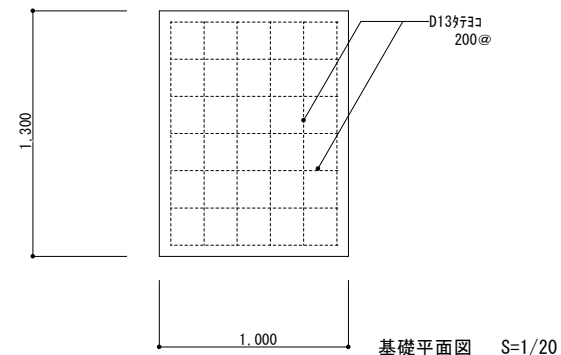
※注記

路面表示用塗料は、JIS K 5665 3種 1号 (トラフィックペイント溶融)
塗料に使用するガラスビーズは、JIS R 3301 1号とする。

平面図 S=1/20

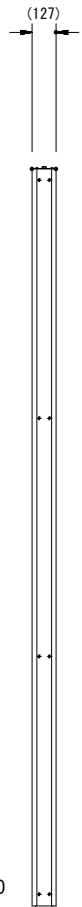


基礎断面図 S=1/20

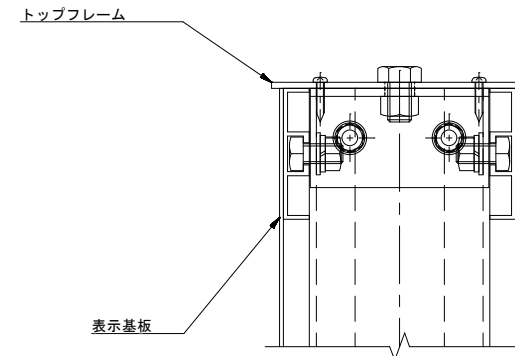


基礎平面図 S=1/20

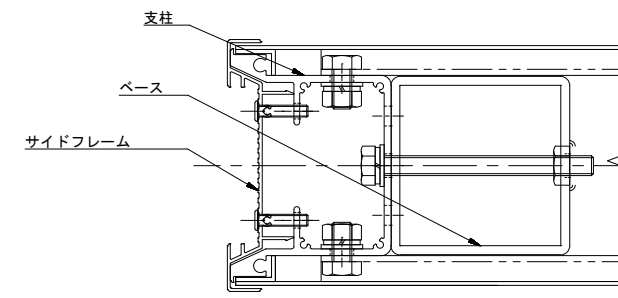
外観図 S=1/20



砕石 再生クラッシャーラン (RC-40)
 捨てコンクリート 設計基準強度 $F_c=18N/mm^2$ 、スランプ15cm
 一般コンクリート 設計基準強度 $F_c=21N/mm^2$ 、スランプ15cm
 異形鉄筋 SD295A (JIS規格品)



B部断面部分詳細図 S=1/2



A部断面詳細図 S=1/2

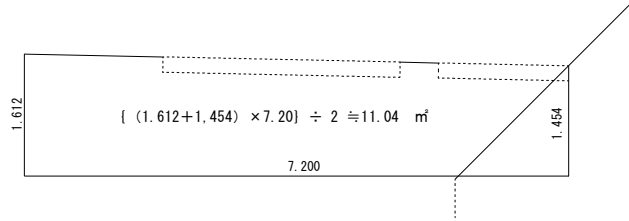
表示基板 : t2.0 アルミ板、合成樹脂焼付塗装 (ダークグレー)
 裏パネル : t2.0 アルミ板、合成樹脂焼付塗装 (ダークグレー)
 支柱 : アルミ押出型材、アルマイト (シルバー) クリア塗装
 サイドフレーム : アルミ押出型材、アルマイト (シルバー) クリア塗装
 トップフレーム : t3.0アルミ板、アルマイト (シルバー)
 ベース : 鋼材加工品、溶融亜鉛メッキ仕上
 ※アンカー以外のビス類は全てステンレスとする。
 ※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
 ※(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

表示内容
 駐車場案内として: ⊕と →
 施設名称: 9文字 250角
 愛称: 10文字 200角

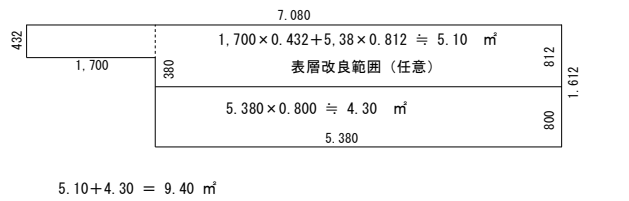
出入口 撤去面積求積図 : ① 11.04 m² s=1/50

道路法24条申請 (現況図)

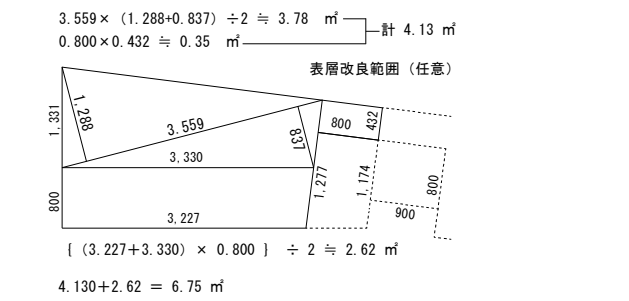
s=1/100



出入口 撤去面積求積図 : ② 9.40 m² s=1/50



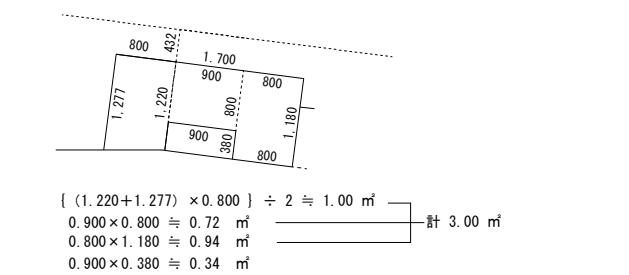
出入口 撤去面積求積図 : ③ 6.75 m² s=1/50



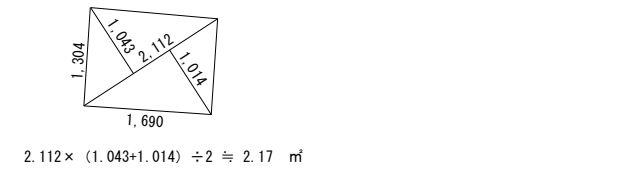
出入口 撤去面積求積図 : ④ 3.00 m² (樹設置部) s=1/50

道路法24条申請 (現況断面図)

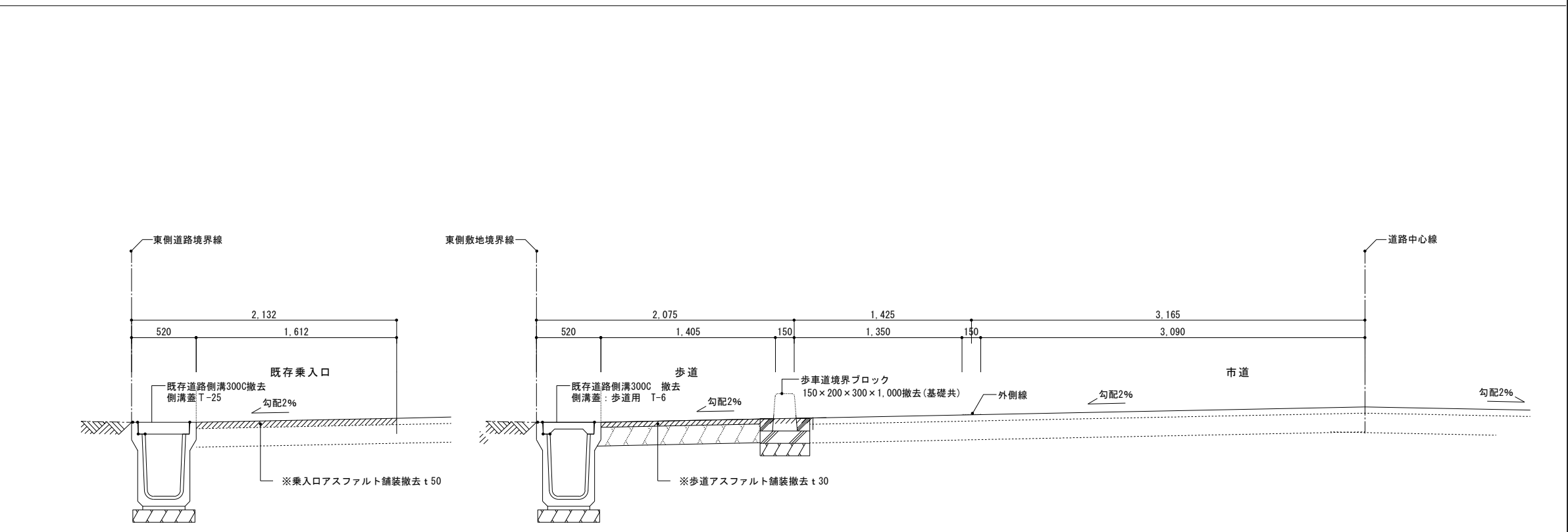
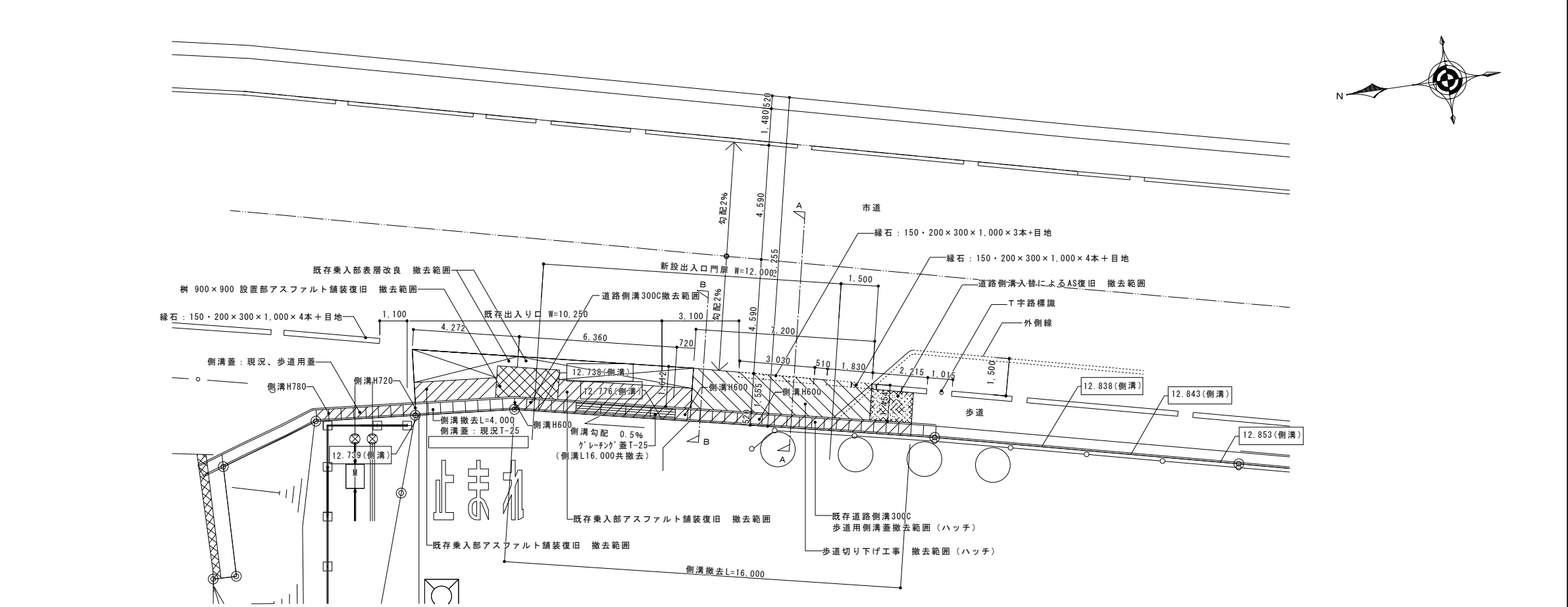
s=1/20



歩道 撤去面積求積図 : ⑤ 2.17 m² s=1/50



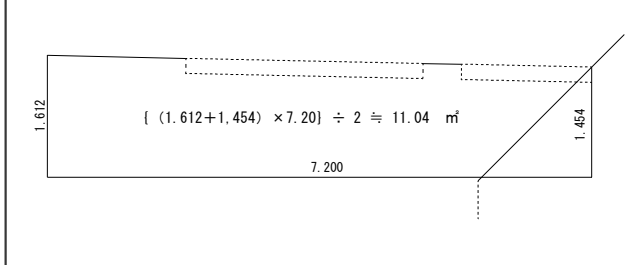
AS撤去面積: 求積図①+②+③+④+⑤ = 32.36 m²



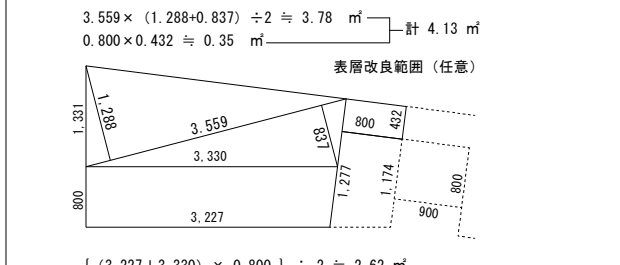
B-B断面図

A-A断面図

出入口 アスファルト舗装復旧面積積算図：①	S=1/50	出入口 アスファルト舗装復旧面積積算図：③	S=1/50
-----------------------	--------	-----------------------	--------

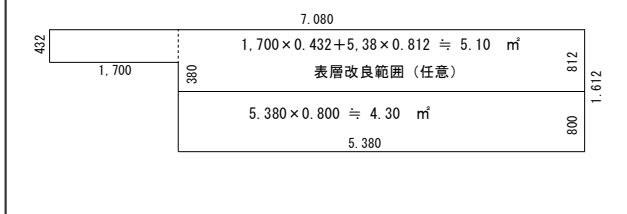


側溝～歩車道境界ブロック間 (歩道)		出入口
		11.04 m²
舗装構成 (通路区分: 第1種通路) (通路の形状: A型)		
名称	構造	第1種通路
(1) 表層	再生密粒度As(13)	5cm
(2) 基層	再生粗粒度As(20)	10cm
(3) 下層路盤	再生切込砕石(RC-40)	30cm



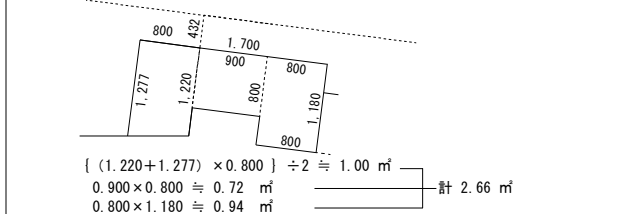
既存乗入部 (出入口)		出入口
アスファルト舗装復旧		2.62 m²
舗装構成 (通路区分: 第1種通路) (通路の形状: A型)		
名称	構造	第1種通路
(1) 表層	再生密粒度As(13)	5cm
(2) 基層	再生粗粒度As(20)	10cm
(3) 下層路盤	再生切込砕石(RC-40)	30cm

出入口 AS復旧面積積算図：②	S=1/50
-----------------	--------



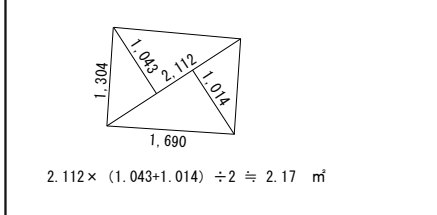
既存乗入部 (出入口)		出入口
アスファルト舗装復旧		4.30 m²
舗装構成 (通路区分: 第1種通路) (通路の形状: A型)		
名称	構造	第1種通路
(1) 表層	再生密粒度As(13)	5cm
(2) 基層	再生粗粒度As(20)	10cm
(3) 下層路盤	再生切込砕石(RC-40)	30cm

出入口 アスファルト舗装復旧面積積算図：④	S=1/50
-----------------------	--------



既存乗入部 (出入口) AS復旧		出入口
アスファルト舗装復旧		2.66 m²
舗装構成 (通路区分: 第1種通路) (通路の形状: A型)		
名称	構造	第1種通路
(1) 表層	再生密粒度As(13)	5cm
(2) 基層	再生粗粒度As(20)	10cm
(3) 下層路盤	再生切込砕石(RC-40)	30cm

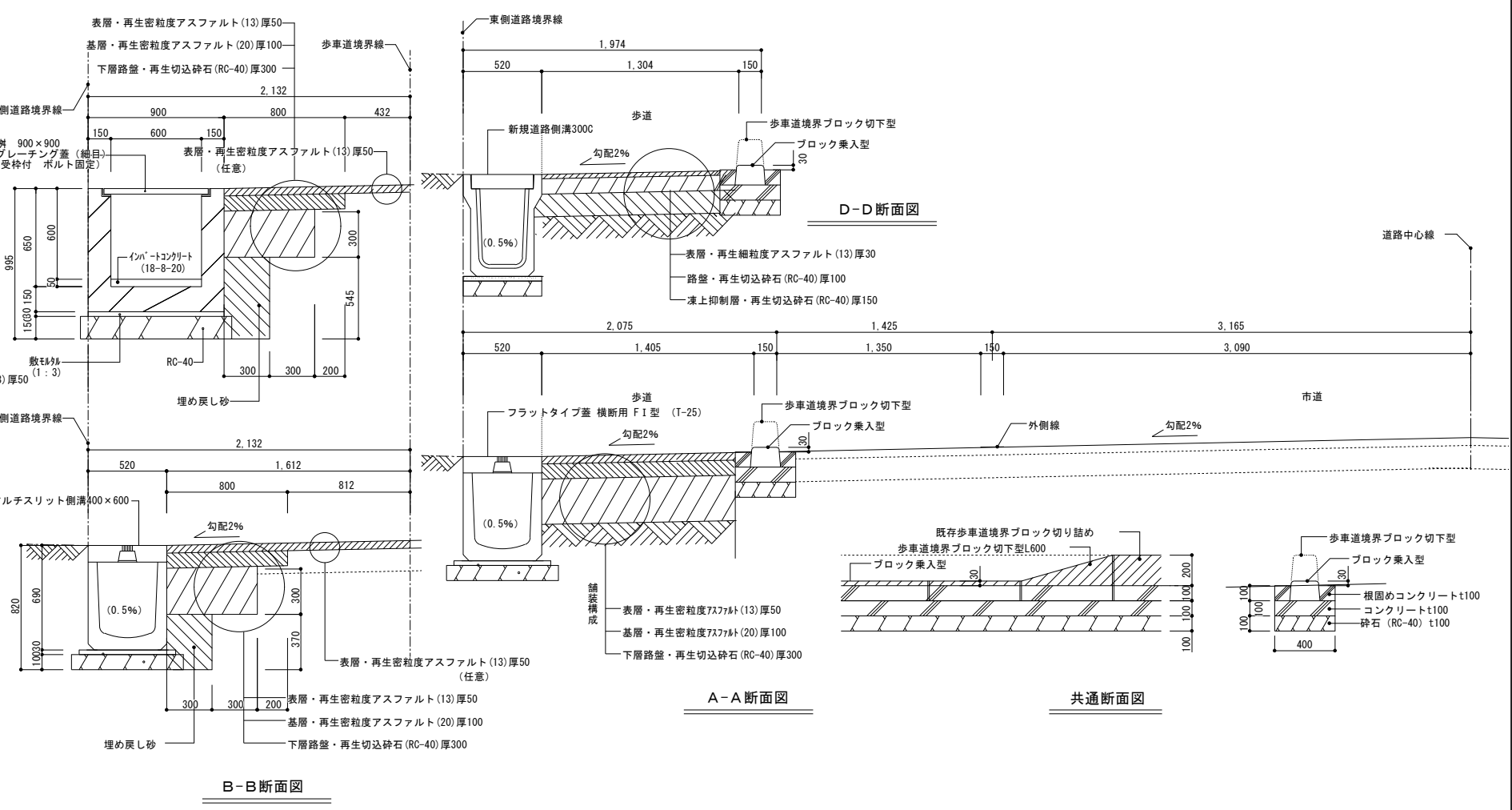
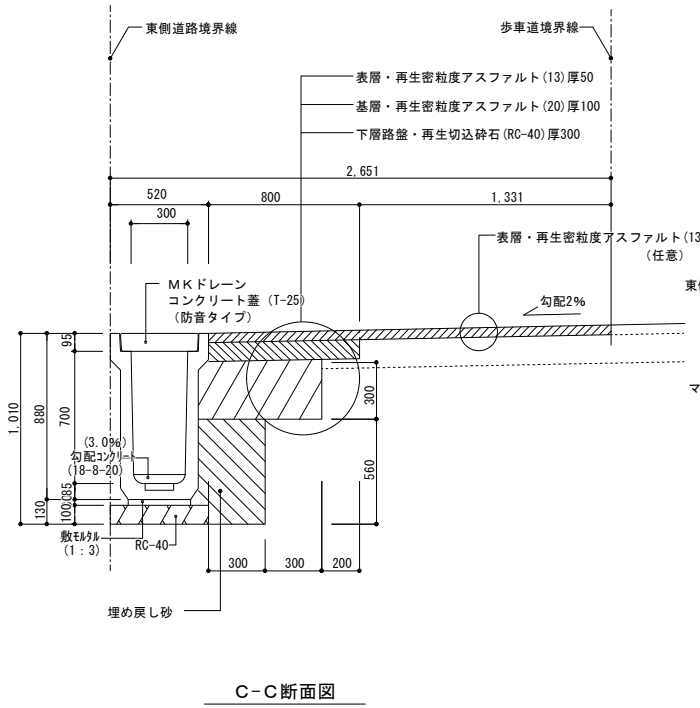
歩道 AS復旧面積積算図：⑤	S=1/50
----------------	--------



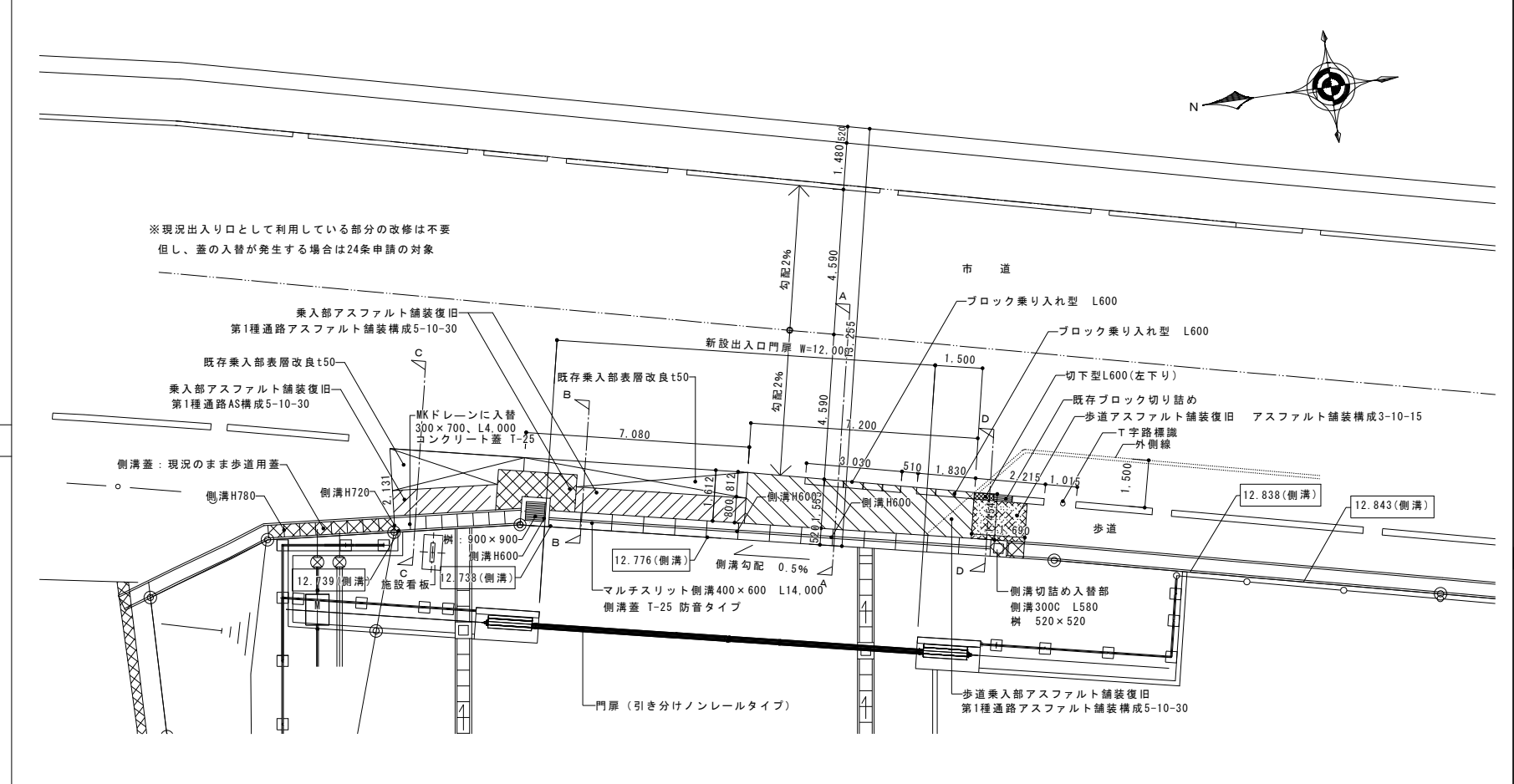
既存歩道部 アスファルト舗装復旧		歩道
		2.17 m²
舗装構成 (通路区分: 歩道)		
名称	構造	一般部
(1) 表層	再生細粒度As(13)	3cm
(2) 路盤	再生切込砕石(RC-40)	10cm
(3) 凍上抑制層	再生切込砕石(RC-40)	15cm

出入口
AS復旧面積: 求積図①+②+③+④ = 20.71 m²
表層改良面積: 求積図②+③ = 9.23 m²

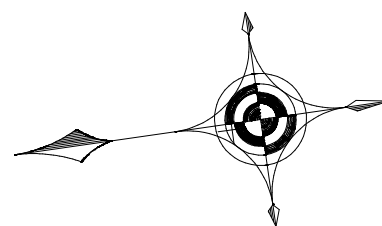
歩道 一般部
AS復旧面積: 求積図⑤ = 2.17 m²



道路法24条申請 平面図	S=1/100
--------------	---------

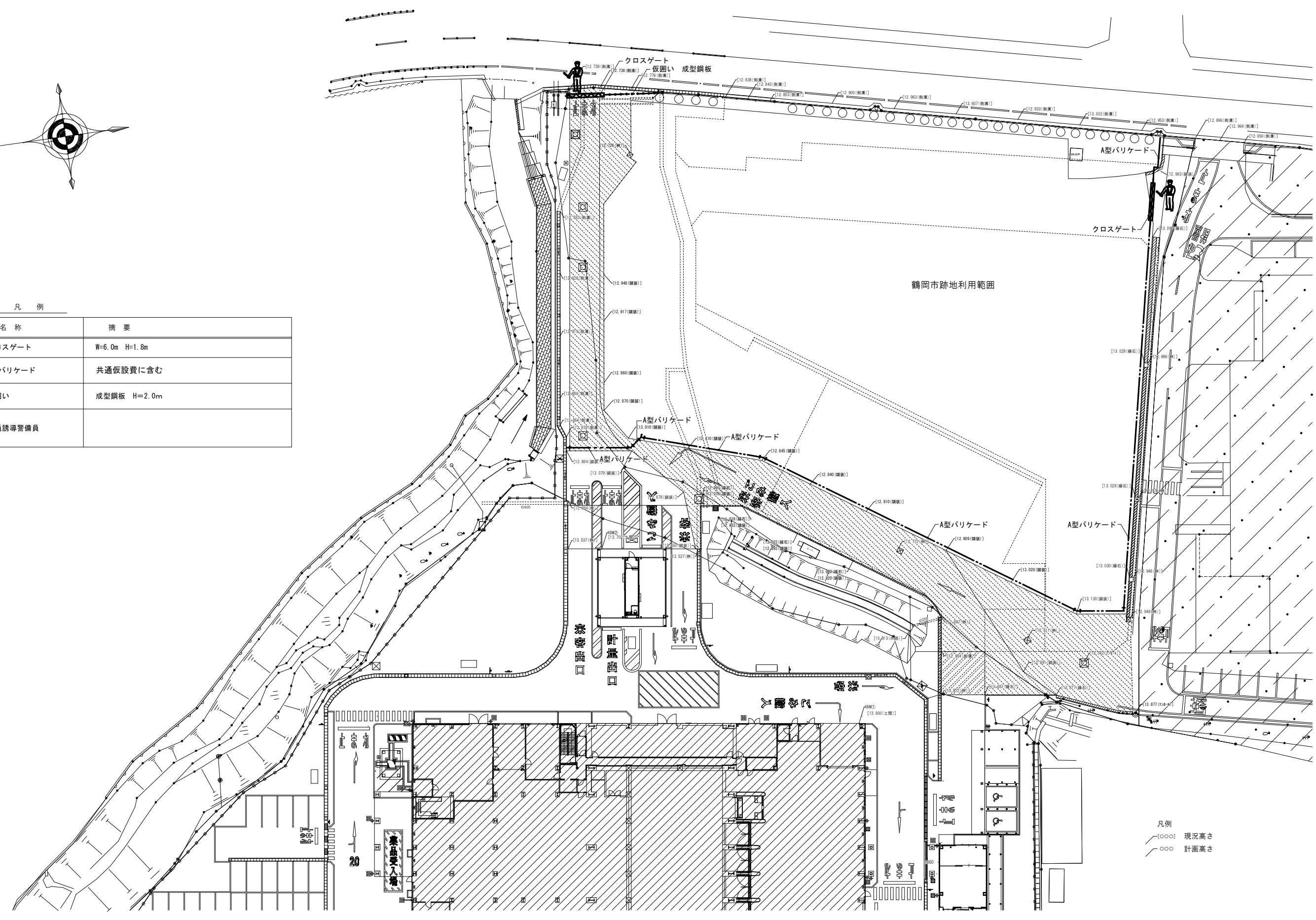


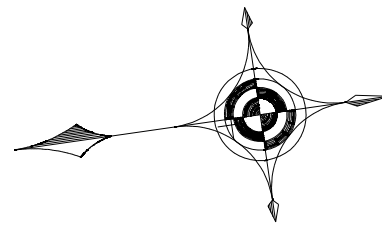
道路法24条申請 断面詳細図	S=1/20
----------------	--------



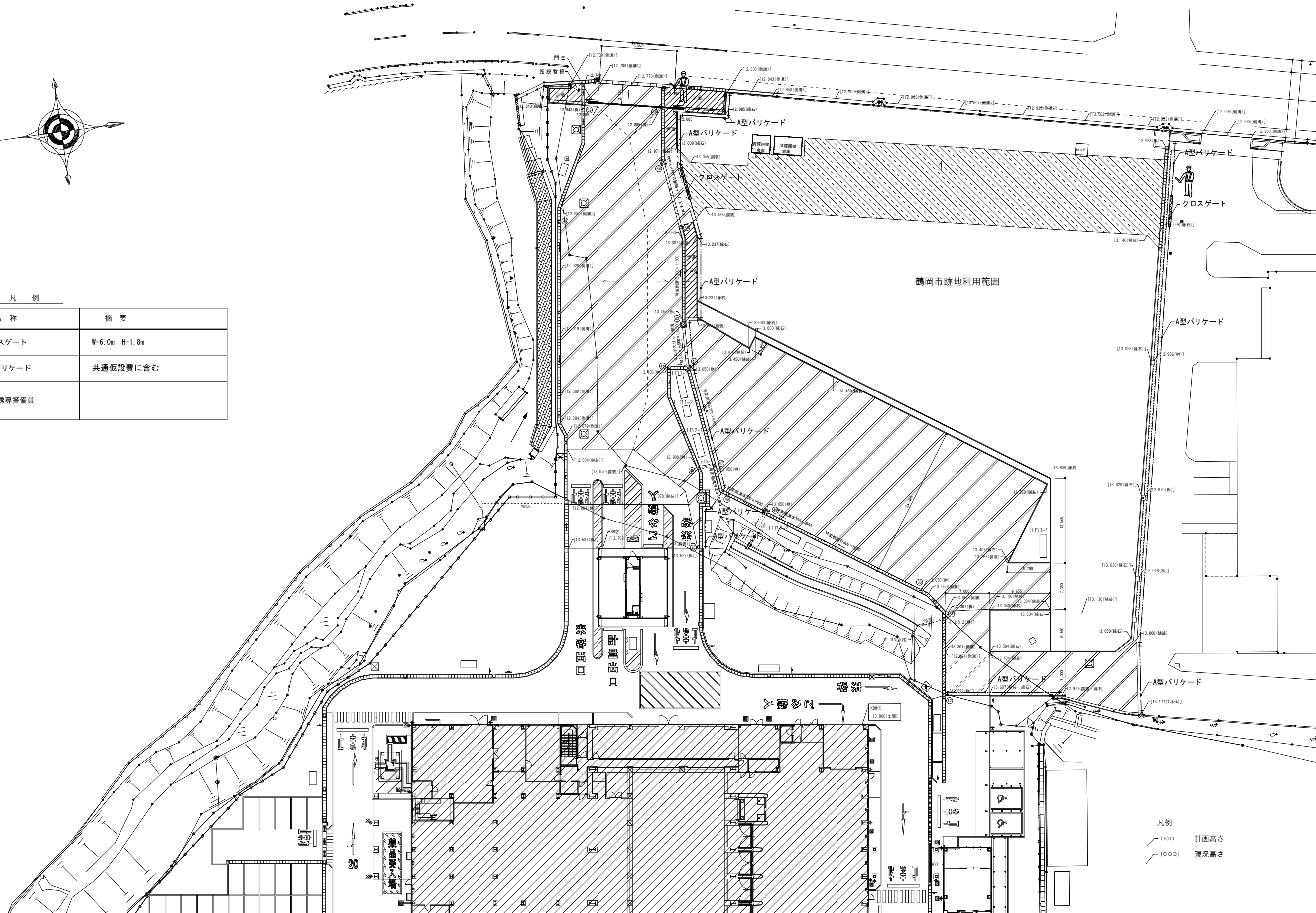
凡例

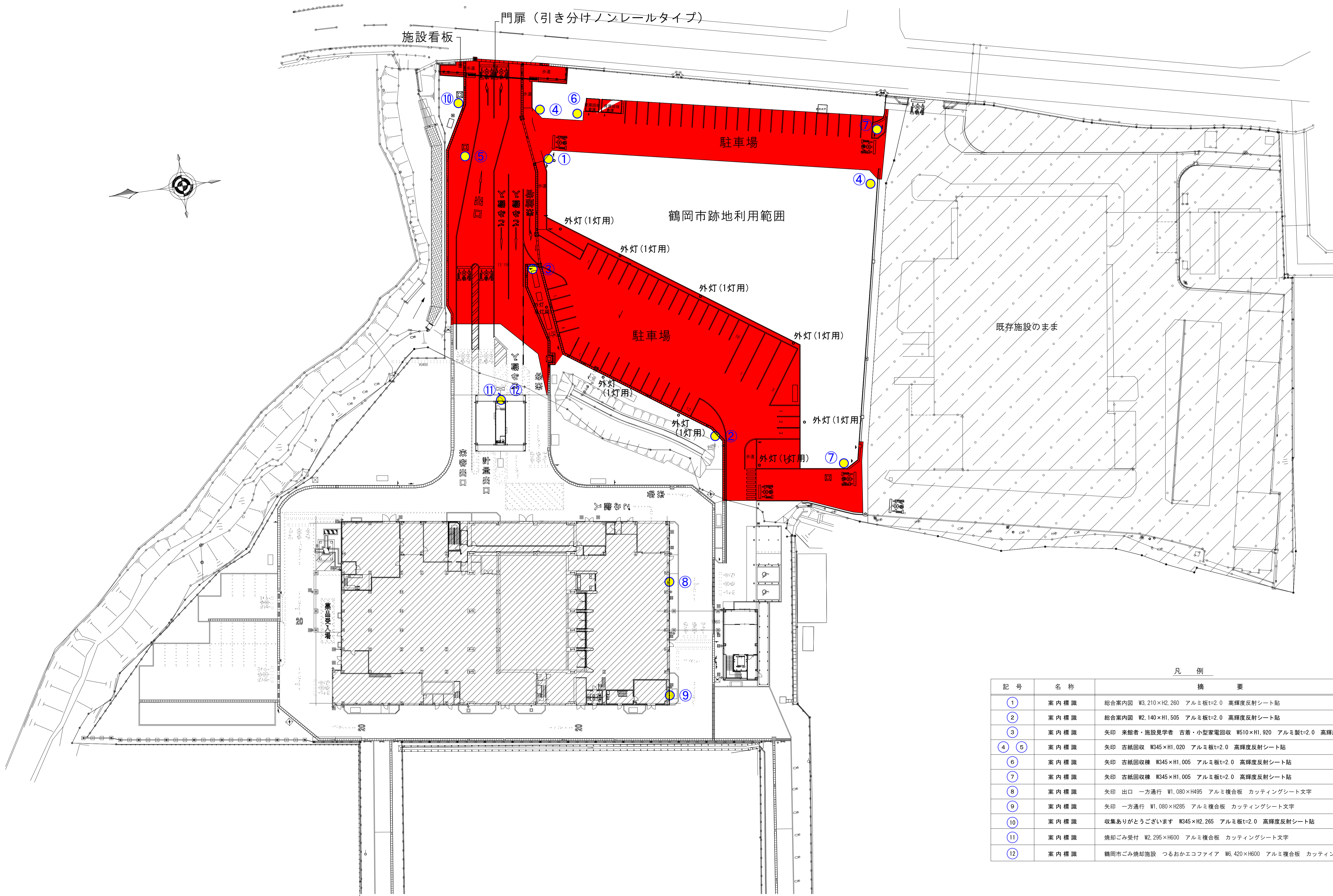
記号	名称	摘要
	クロスゲート	W=6.0m H=1.8m
	A型バリケード	共通仮設費に含む
	仮囲い	成型鋼板 H=2.0m
	交通誘導警備員	





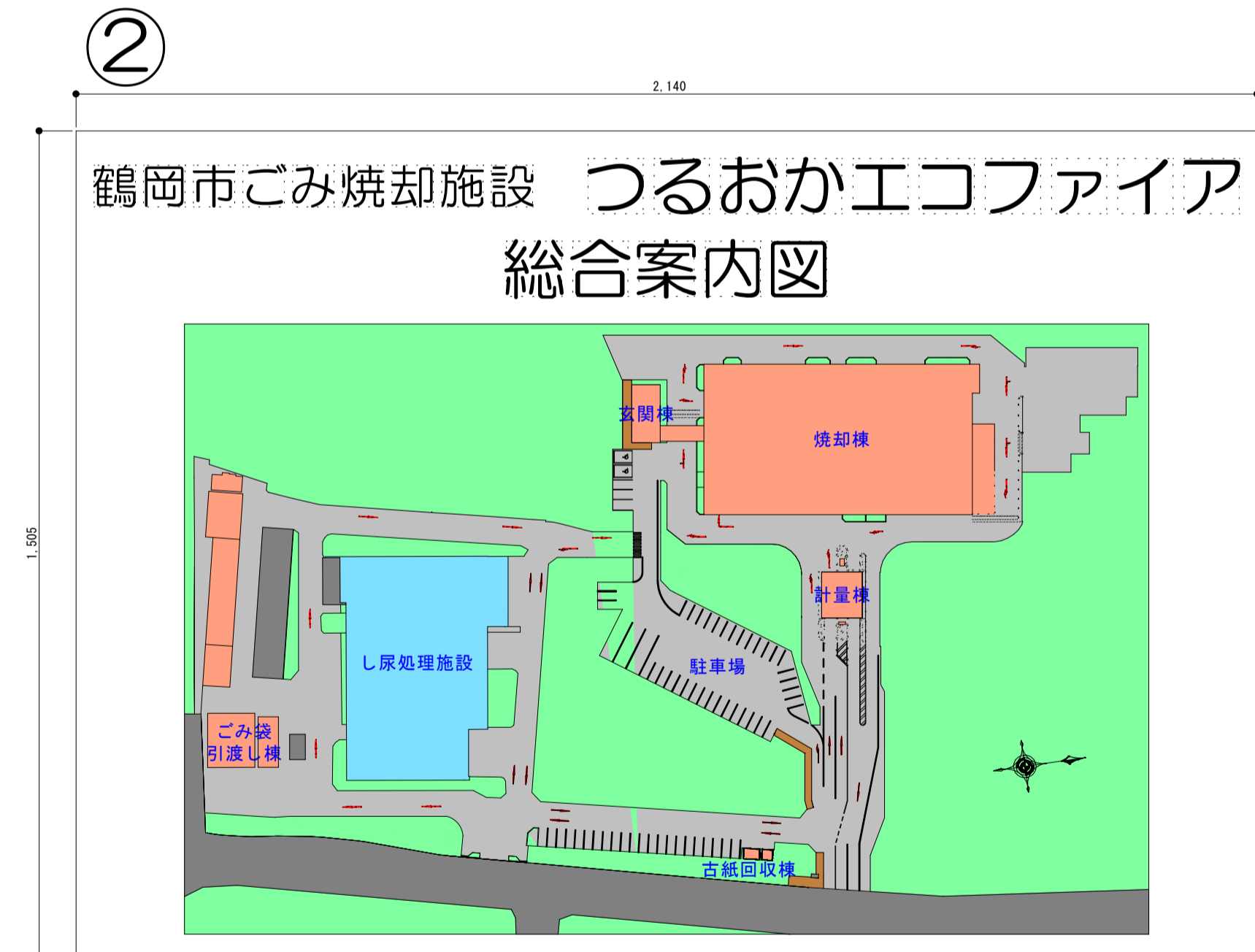
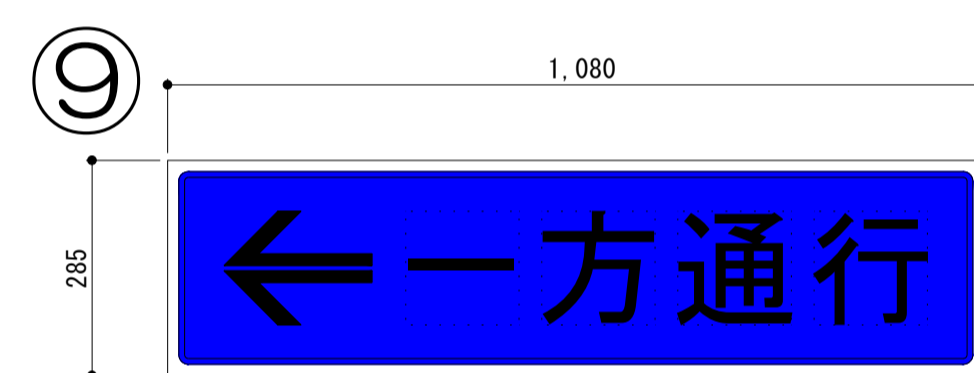
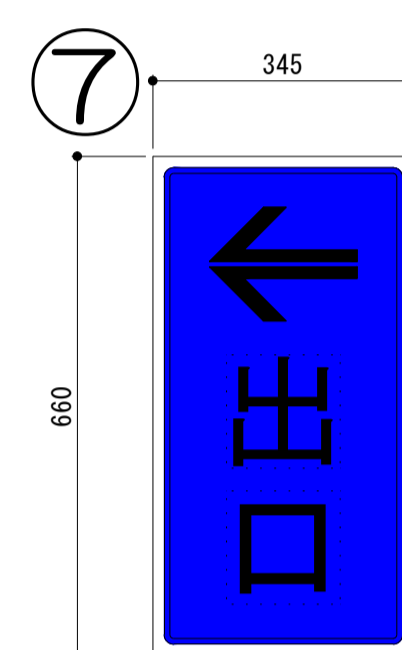
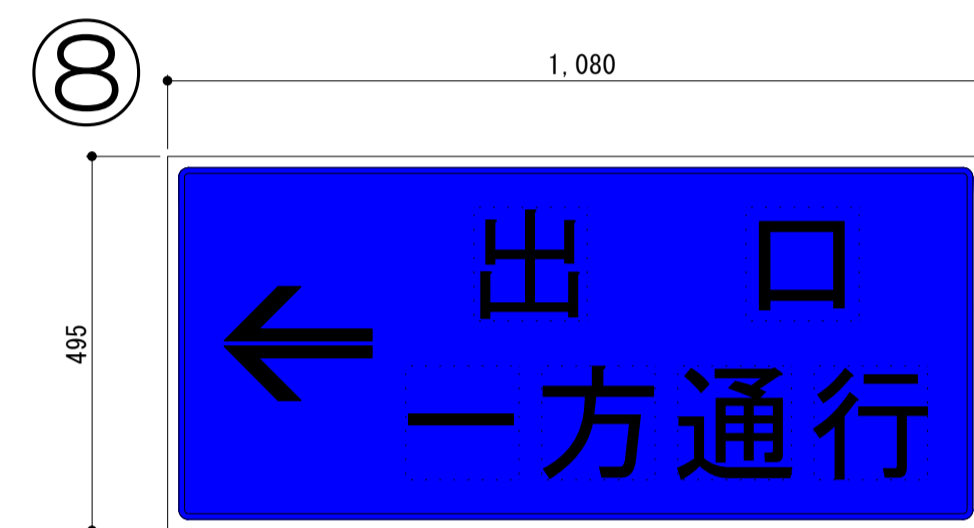
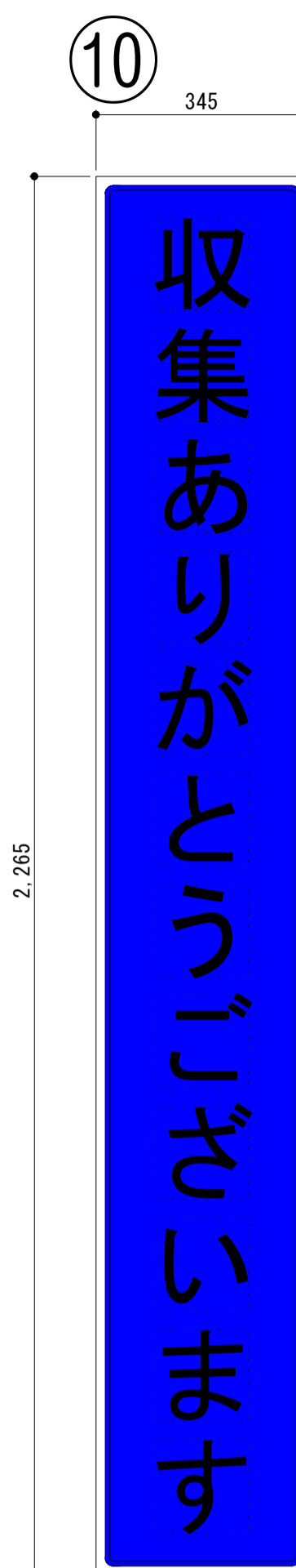
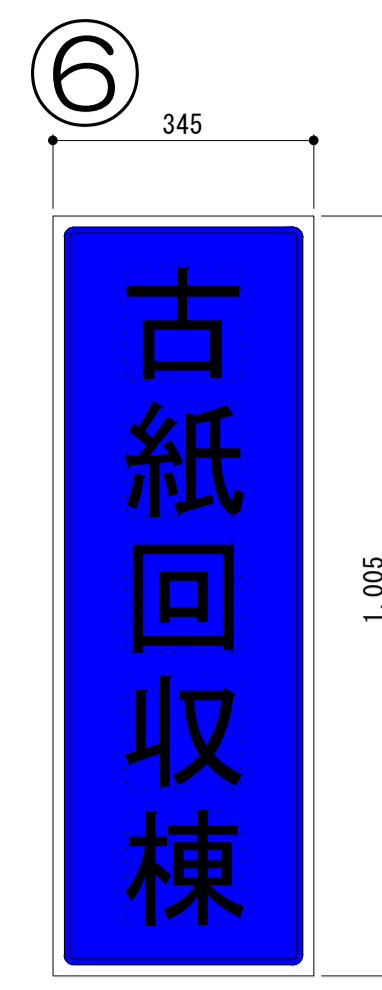
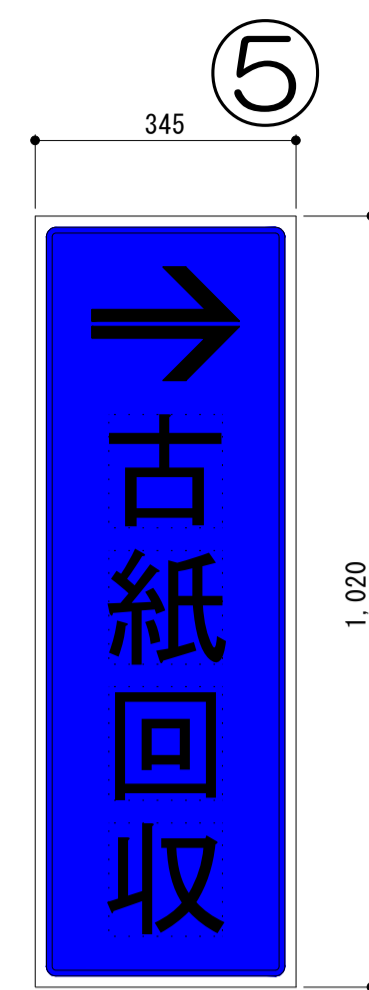
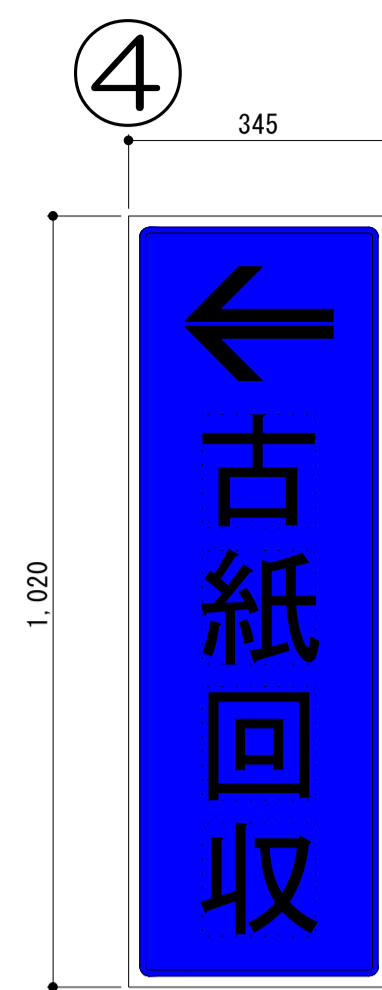
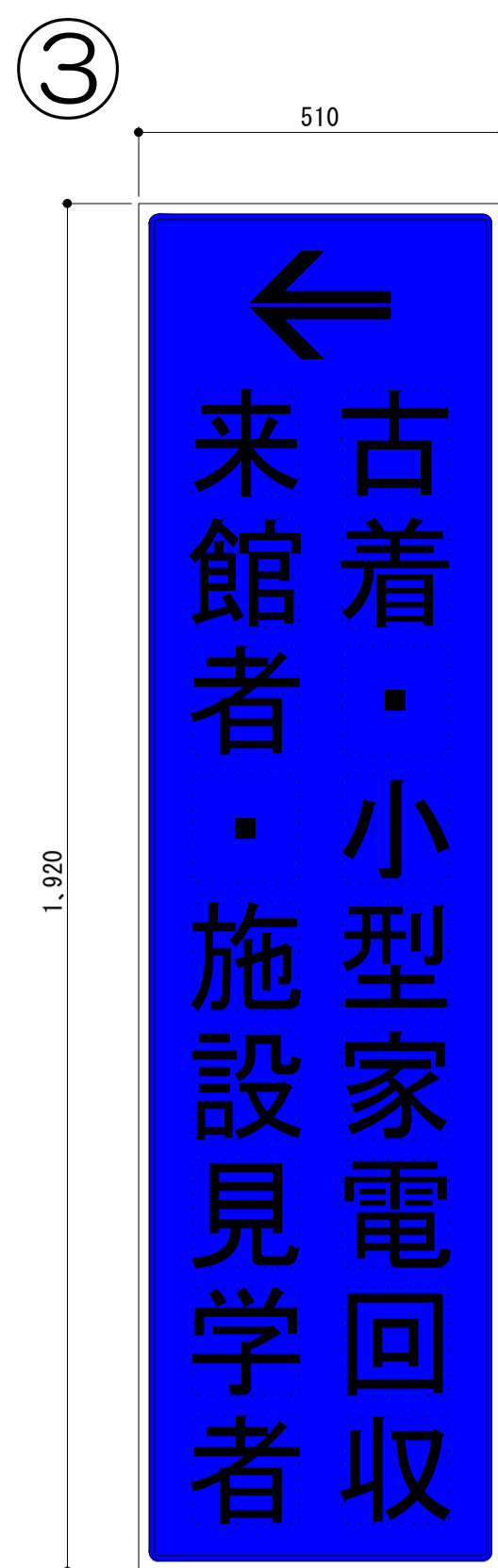
凡例		
記号	名称	摘要
	クロスゲート	W=6.0m H=1.8m
	A型バリケード	共通仮設費に含む
	交通誘導警備員	



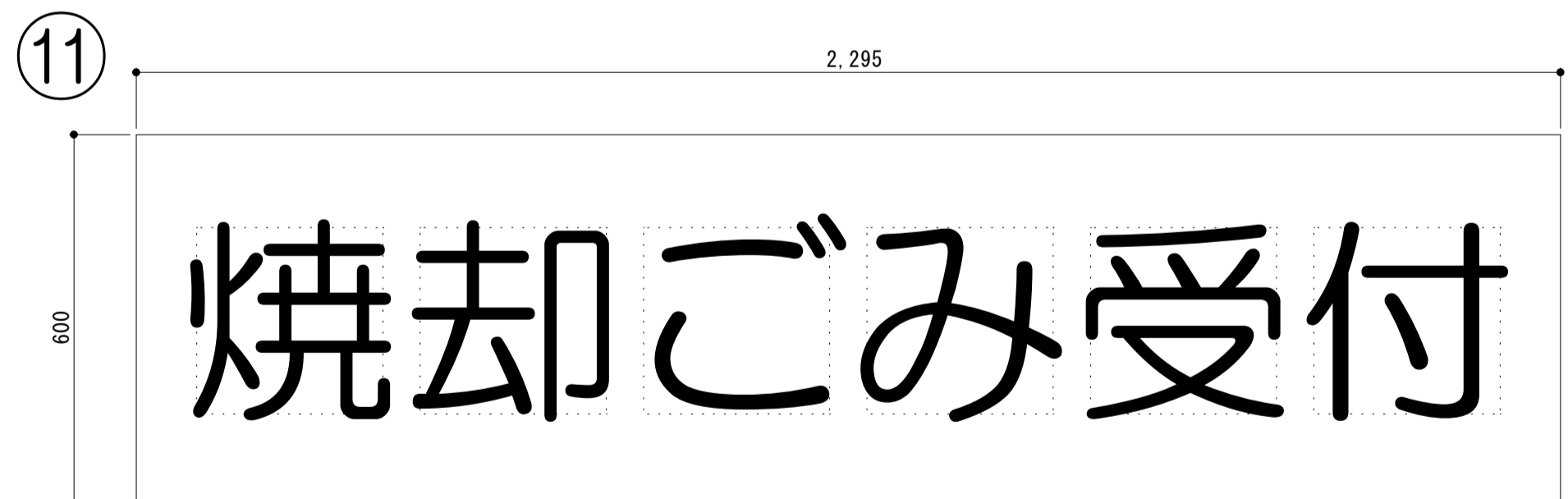


凡 例

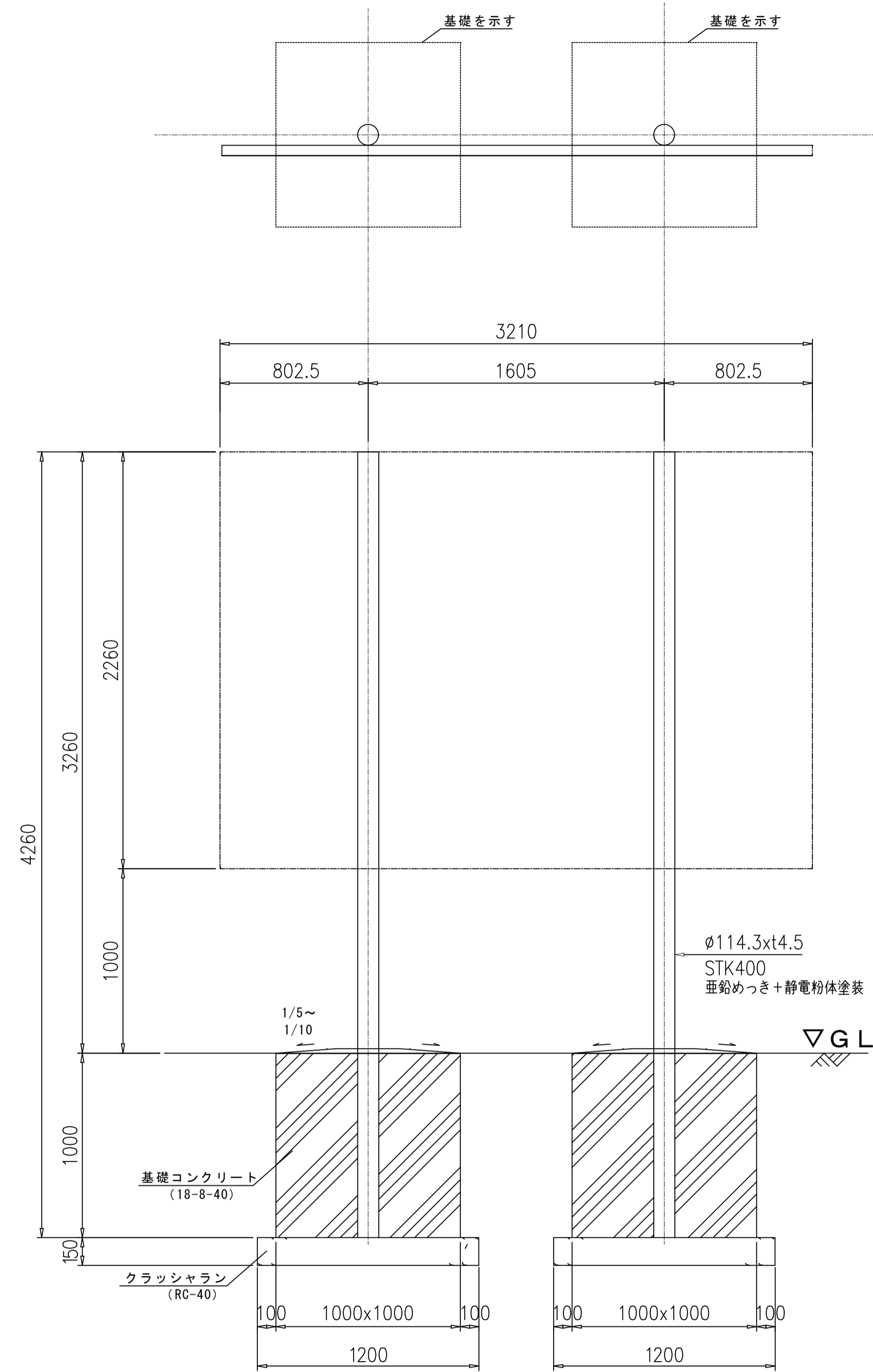
記号	名称	摘 要
①	案内標識	総合案内図 W3,210×H2,260 アルミ板t=2.0 高輝度反射シート貼
②	案内標識	総合案内図 W2,140×H1,505 アルミ板t=2.0 高輝度反射シート貼
③	案内標識	矢印 来館者・施設見学者 古着・小型家電回収 W510×H1,920 アルミ製t=2.0 高輝度反射シート貼
④ ⑤	案内標識	矢印 古紙回収 W345×H1,020 アルミ板t=2.0 高輝度反射シート貼
⑥	案内標識	矢印 古紙回収棟 W345×H1,005 アルミ板t=2.0 高輝度反射シート貼
⑦	案内標識	矢印 古紙回収棟 W345×H1,005 アルミ板t=2.0 高輝度反射シート貼
⑧	案内標識	矢印 出口 一方通行 W1,080×H495 アルミ複合板 カuttingシート文字
⑨	案内標識	矢印 一方通行 W1,080×H285 アルミ複合板 カuttingシート文字
⑩	案内標識	収集ありがとうございます W345×H2,265 アルミ板t=2.0 高輝度反射シート貼
⑪	案内標識	焼却ごみ受付 W2,295×H600 アルミ複合板 カuttingシート文字
⑫	案内標識	鶴岡市ごみ焼却施設 つるおがエコファイア W6,420×H600 アルミ複合板 カuttingシート文字



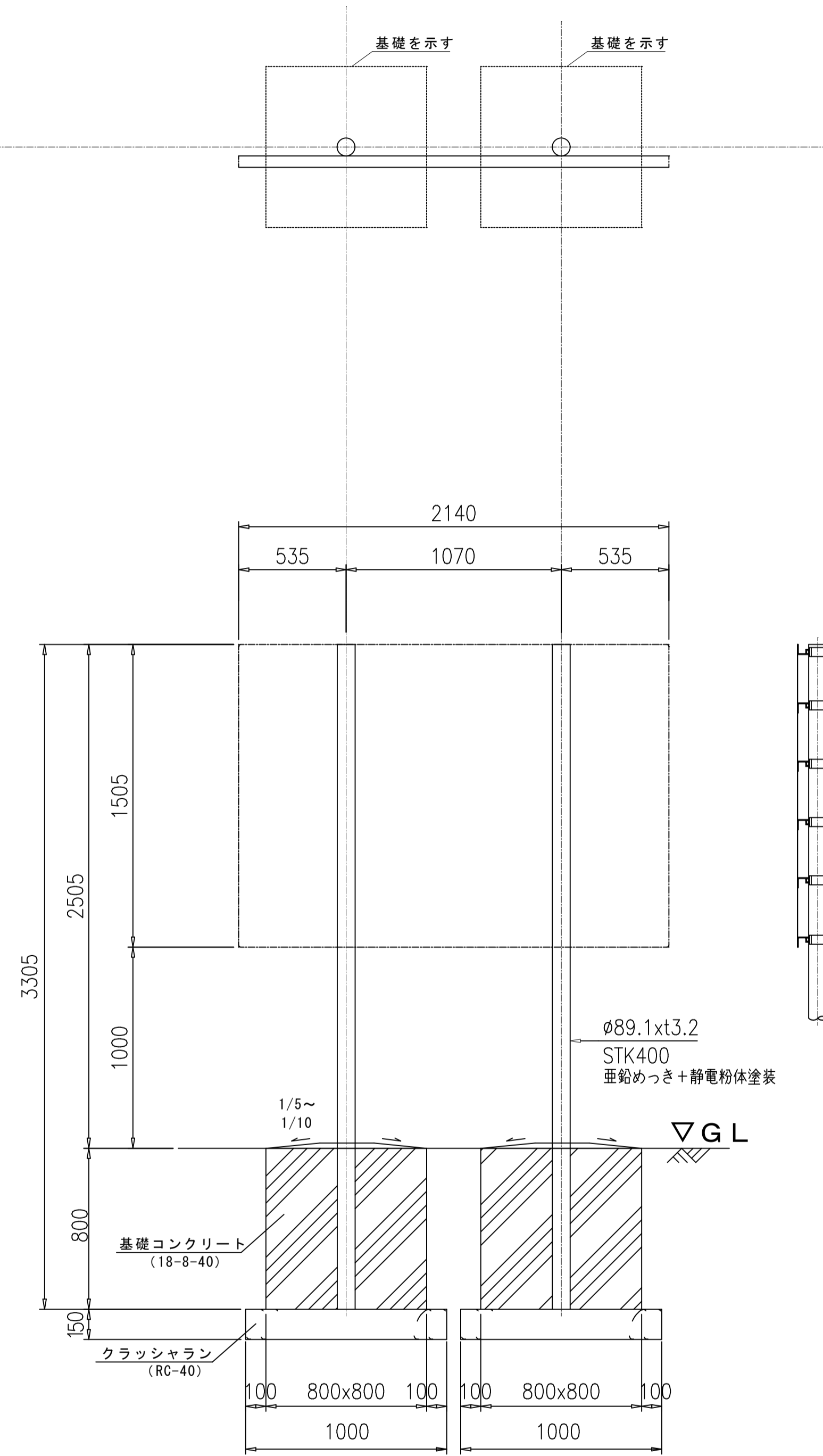
※標識① フォント：丸ゴシックナール体 文字サイズ：11.25 cm、15.0 cm
 ※標識② フォント：丸ゴシックナール体 文字サイズ：7.5 cm、10.0 cm
 ※標識③～⑩ フォント：丸ゴシックナール体 文字サイズ：15.0 cm
 ※標識⑪～⑫ フォント：丸ゴシックナール体 文字サイズ：22.5 cm、30.0 cm
 ※標識⑥、⑧、⑨、⑪、⑫はアルミ複合板 基礎無しビス止め
 ※標識①～⑩の複合板角はR加工とする



① 総合案内図 S=1:20

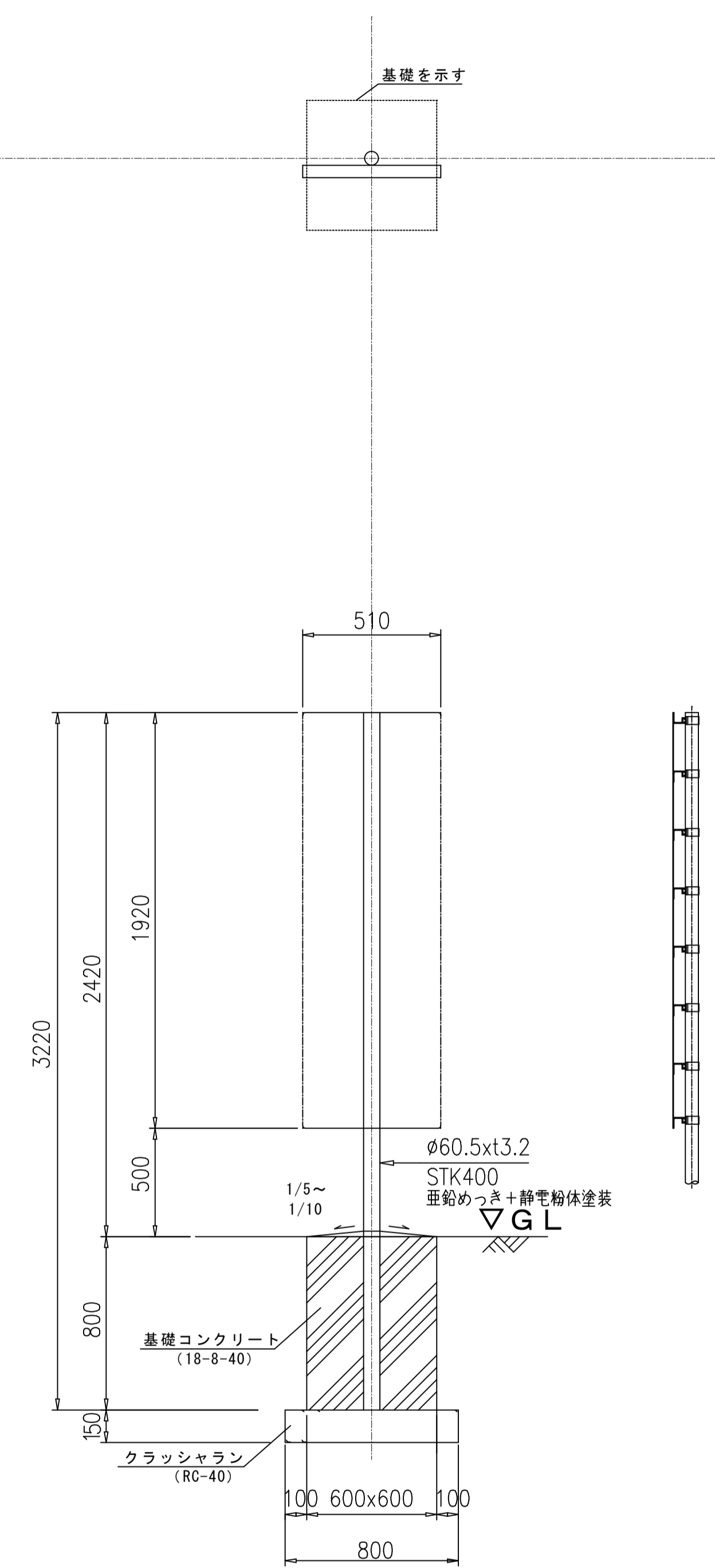


② 総合案内図 S=1:20



③ 案内標識 S=1:20

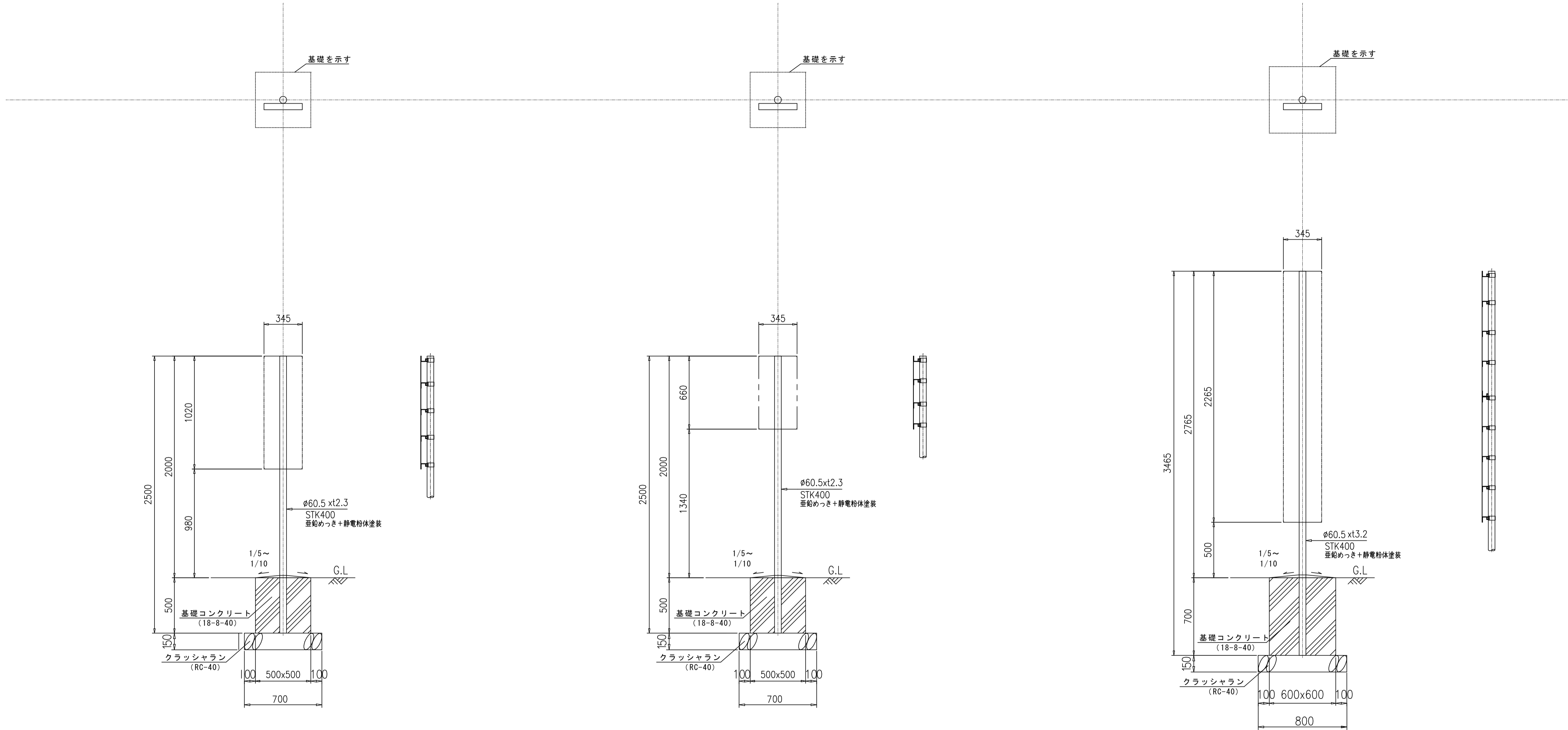
古着・小型家電回収
来館者・施設見学者



④ 案内標識 S=1:20
古紙回収

⑦ 案内標識 S=1:20
出口

⑩ 案内標識 S=1:20
収集ありがとうございます



排水設計基準

■最大雨水流出量の算出 (山形県開発許可技術基準 P8より)

$$Q = \frac{1}{360} \times C \times I \times A$$

C : 流出係数 (0.9 を採用)
 I : 降雨強度式 (10年確率)
 $= 1348 / (t^{0.73} + 7.3)$ (mm/h)
 $t = t_1 + t_2$
 t : 流達時間 (分)
 t₁ : 流入時間 (分) (7分 と仮定)
 t₂ : 流下時間 (分) = $L / (60 + V)$
 L : 排水管延長 (m)
 V : 管内平均流速 (m/sec) (1.5 m/sec と仮定)
 A : 流域面積 (m²)

上式において $t_2 = 0$ 分 (L = 0 m) の時 t が最大値になることより、その降雨強度を算出すると

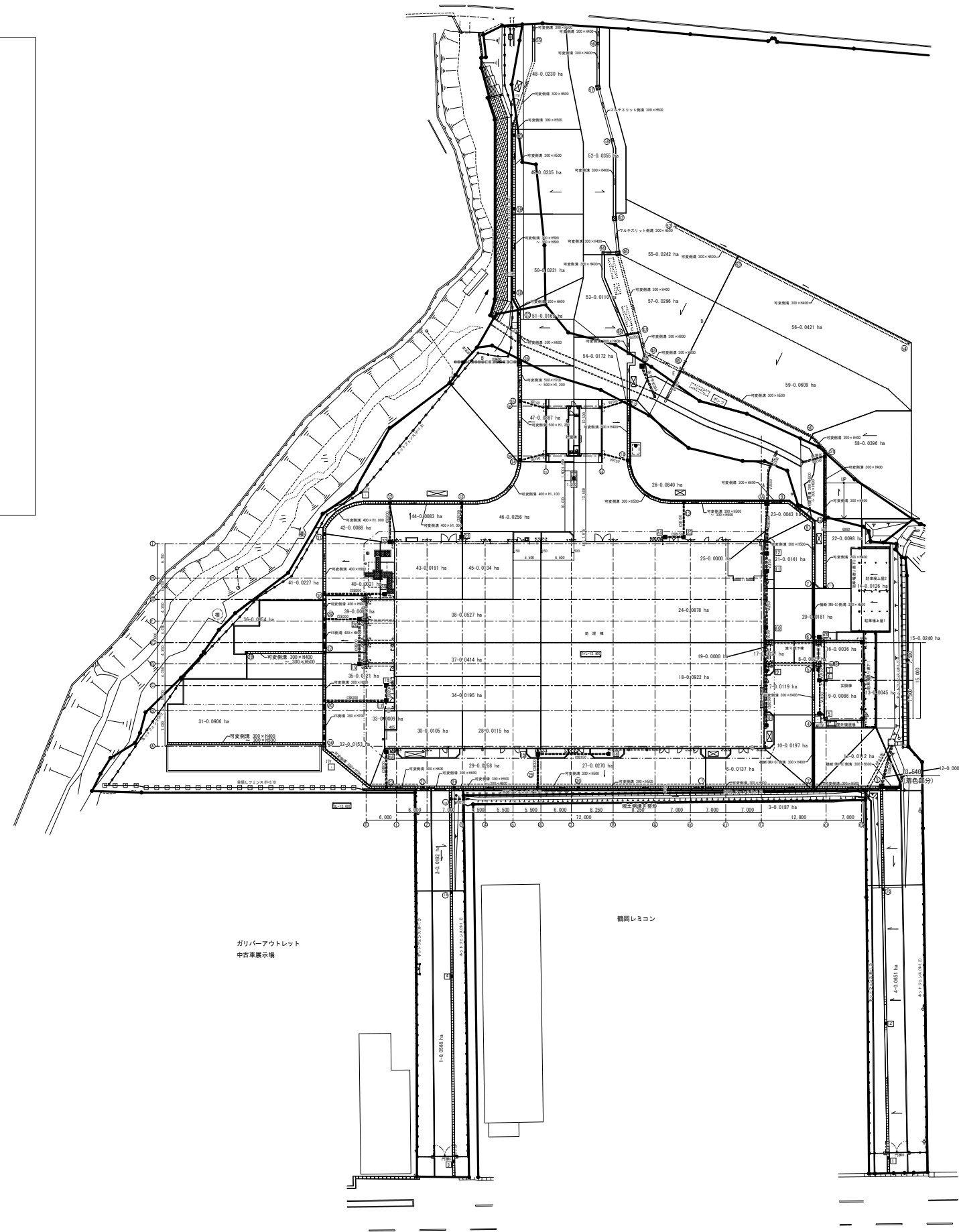
$$I = 1348 / (7^{0.7} + 7.3)$$

$$= 118 \text{ (mm/h)}$$

要求水準書においては時間最大雨量mm/hを満足するため上記数値を採用して設計をすすめる。

■建屋部分流域について

計算表中の「路線番号」は各流域の番号を示す。
 建屋に当たる箇所については、該当箇所から雨水が流入する排水管サイズの検討を行う。



雨水排水流域図

